

赤穂市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告書

令和8年3月

赤 穂 市

目 次

I	調査概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	対象者.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果のまとめ.....	2
III	調査結果.....	4
1	あなたのご家族や生活状況について.....	5
2	からだを動かすことについて.....	12
3	食べることについて.....	21
4	毎日の生活について.....	28
5	地域での活動について.....	41
6	就労について.....	52
7	たすけあいについて.....	55
8	健康について.....	59
9	認知症について.....	64
10	相談先や希望する暮らしについて.....	74
IV	生活機能評価等に関する分析.....	84
1	機能別リスク該当者割合の分析.....	84
	（1）運動器の機能低下.....	84
	（2）閉じこもり傾向.....	86
	（3）転倒リスク.....	88
	（4）口腔機能の低下.....	90
	（5）認知機能.....	92
	（6）うつ傾向.....	94
	（7）I A D L（手段的自立度）.....	96

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「第10期赤穂市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定にあたり、高齢者のみなさまの生活のご様子や、今後の生活についてのご希望などを把握し、地域の状況に適した施策を検討するために実施しました。

2 対象者

赤穂市内にお住まいの高齢者2,500人(65歳以上の方で介護認定を受けておられない方と要支援1、2の方の中から無作為に抽出した方)

3 調査期間

令和8年1月19日(月)～令和8年2月6日(金)

4 調査方法

配布：郵送

回収：郵送 及びWEB 回収

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,500件	2,085件	83.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(「n」=「number」の略)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果のまとめ

1 基本属性・世帯状況

世帯構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 39.0%で最も多く、次いで「1人暮らし」が 20.7%となっており、高齢者のみの世帯が約6割を占めています（問1）。

現在の介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている」人は 8.2%ですが、「必要だが受けていない」人が 8.5%見られ、潜在的な介護ニーズの存在がうかがえます（問2）。

介護が必要となった主な原因は、「高齢による衰弱」が 28.1%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 18.6%、「心臓病」が 13.5%と続いています（問3）。

性別・年齢別では、男性女性共に加齢に伴い衰弱の割合が高まる一方、女性ではそれに加えて転倒の要因が増加する傾向が見られます。

高齢者のみ世帯の増加を背景に、虚弱（フレイル）や転倒防止に向けた早期の介入が課題であると考えられます。

2 身体状態・運動状況

過去1年間の転倒経験については、「何度もある（12.2%）」と「1度ある（26.4%）」を合わせて約4割の人に経験があり（問10）、転倒に対して「とても不安である」「やや不安である」を合わせた不安を感じている人の割合 63.4%に達しています（問11）。

外出頻度は「週2～4回」が 43.5%と最も多いものの（問12）、昨年と比べて外出が「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”人が 31.6%見られます（問14）。

外出を控える理由は「足腰などの痛み」が 45.0%で最も多く、身体機能の低下が活動範囲を狭める要因となっていることがうかがえます（問16）。

移動手段は「自動車（自分で運転）」が 59.1%と依存度が高い一方、利用できなくなった際の代替手段として「自動車（人に乗せてもらう）」（39.4%）や「路線バス」（34.6%）への移行を希望する声が多く見られます（問17、18）。

また、BMIによる判定で「やせ」とされる人は 8.7%であり（問19）、口腔機能面では約3割の人が「固いものの食べにくさ」や「むせ」を自覚しています（問20、21）。

転倒不安の解消とともに、運転免許返納後を見据えた移動支援の充実、および口腔ケアを含む低栄養防止対策の推進が課題であると考えられます。

3 認知機能・こころの健康

認知機能に関しては、「物忘れが多い」と感じる人は47.0%にのぼります（問28）。また、「今日が何月何日かわからない時がある」とする人は28.3%であり、男女ともに年齢が上がるほどその割合が高まる傾向が見られます（問30）。

こころの健康状態については、この1か月間に「気分が沈んだり、ゆううつになったりした」人が39.2%（問52）、「物事に興味がわからない」人が26.3%見られます（問53）。

主観的健康感では74.3%が「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”と回答しているものの、要支援認定者では「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”とする割合が高まっており、身体状況の悪化が精神的な健康度を低下させている可能性がうかがえます（問50）。

認知機能低下の早期発見とともに、閉じこもり防止を通じた抑うつ傾向の改善が課題であると考えられます。

4 グループ活動・就労状況・地域での支え合い

地域活動の参加状況をみると、「自治会」が37.9%と一定の参加がある一方、「趣味関係」（26.3%）、「スポーツ関係」（24.7%）、「ボランティアグループ」（15.6%）、「老人クラブ」（10.4%）と、特定の活動への参加は限定的です（問40）。

就労については、55.3%が「引退した」とする一方で、27.8%には「働く意欲」があり、その理由は「健康維持」や「経済的理由」が半数を超えています（問43、44、45）。

支え合いの状況については、心配事の相談先として「配偶者（51.3%）」や「友人（45.6%）」が挙げられています（問46）。

看病・世話については、受ける側・する側ともに「配偶者」が半数を超えており、次いで「別居の子ども」となっています（問48、49）。

特定の地縁活動以外の社会参加が進んでいない現状があり、就労ニーズの充足や、家族以外にも頼れる地域での互助機能の強化が課題であると考えられます。

5 認知症施策・権利擁護制度

認知症に関する相談窓口を「知っている」者の割合は33.1%に留まり、約6割が「知らない」と回答しています（問57）。また、高齢者の生活を支える総合相談窓口である地域包括支援センターの認知度も48.6%と半数を超えていません。（問65）。

認知症施策で重点を置くべき取り組みとしては、「早期発見・早期診断の仕組み」（62.6%）が最も多く、次いで「施設・人材の確保」（56.2%）が挙げられています（問63）。

また、自身や家族が認知症になった際、近所に「知ってもらって協力をお願いしたい」とする人は41.2%に達しており（問60）、自宅での生活継続には「適切な介護サービスの利用（82.4%）」が不可欠であると認識されています（問61）。

相談窓口のさらなる周知とともに、地域全体で認知症を支える見守り体制の整備が課題であると考えられます。

Ⅲ 調査結果

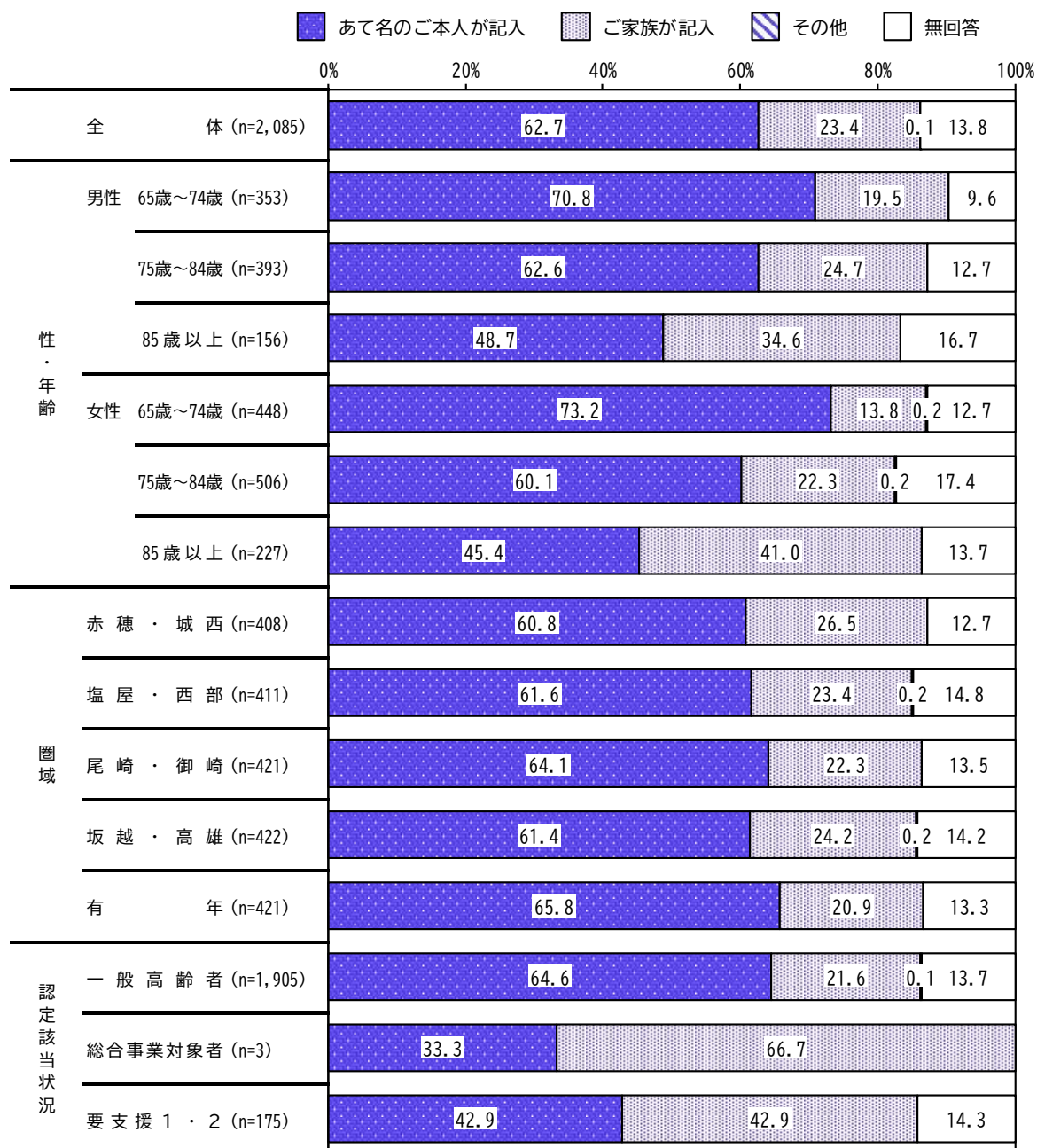
調査票を記入されたのはどなたですか。

「あて名のご本人が記入」が 62.7%、「ご家族が記入」が 23.4%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「ご家族が記入」が多くなっています。また、他の性・年齢に比べ、女性 65歳～74歳で「あて名のご本人が記入」が多くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「あて名のご本人が記入」が多くなっています。



1 あなたのご家族や生活状況について

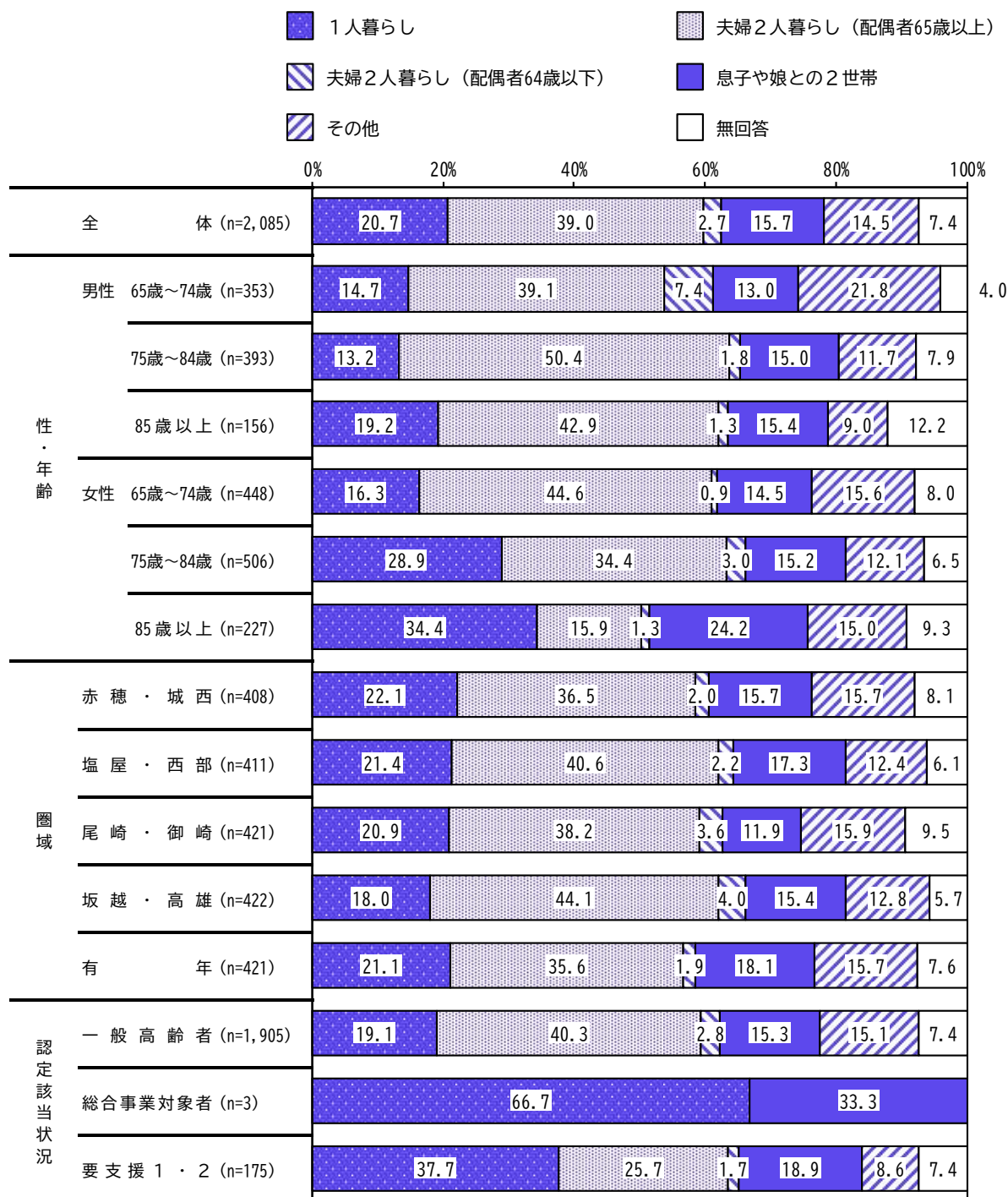
問1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 39.0%と最も多く、次いで「1人暮らし」が 20.7%、「息子や娘との2世帯」が 15.7%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「1人暮らし」「息子や娘との2世帯」の割合が高く、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が低くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄で「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が高く、要支援1・2で「1人暮らし」の割合が高くなっています。



問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つだけ○）

「介護・介助は必要ない」が80.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.5%、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が8.2%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、赤穂・城西で「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。

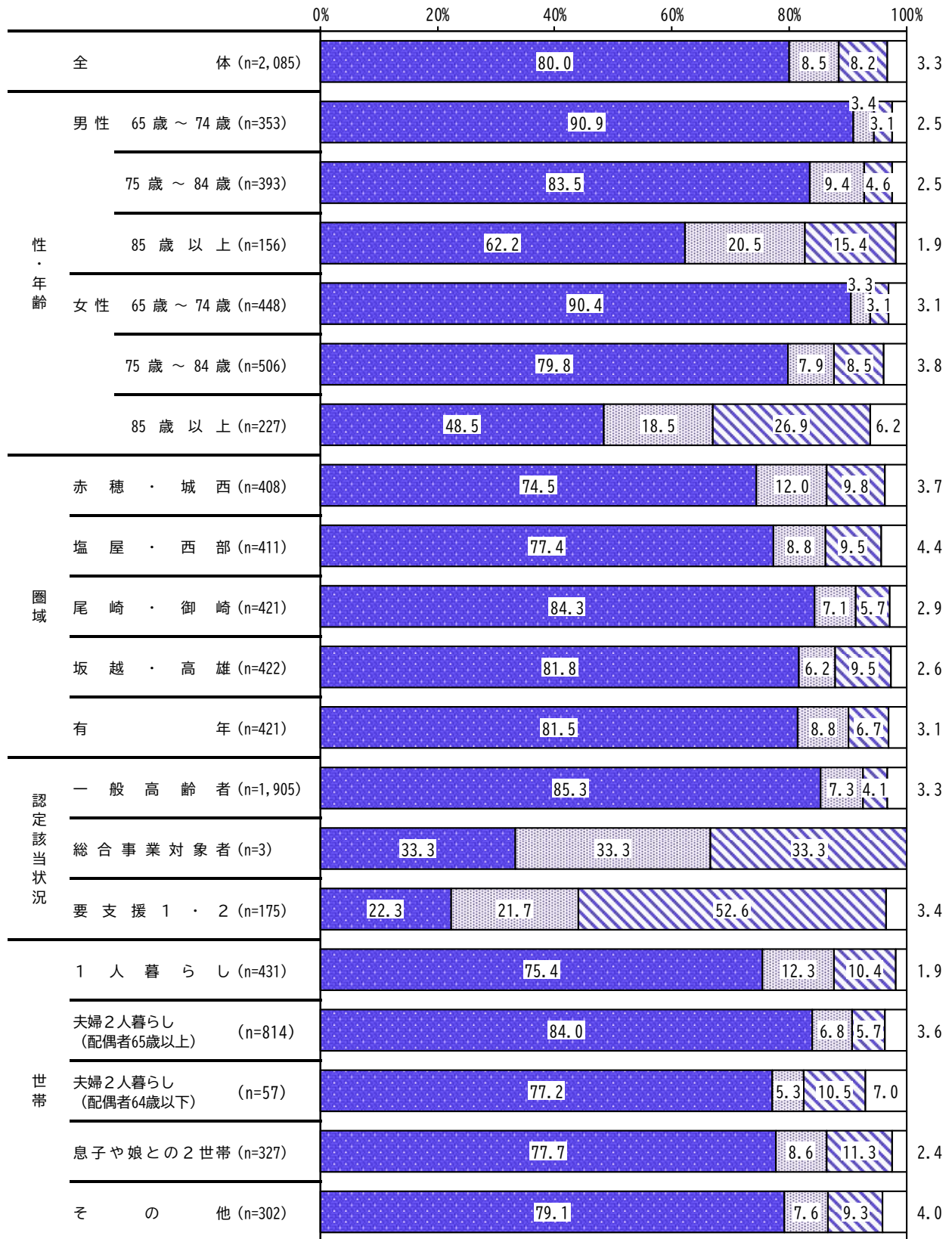
認定該当状況別にみると、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高く、要支援1・2で「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。

■ 介護・介助は必要ない

■ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

■ 現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

□ 無回答



【問2において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は「現在、何らかの介護・介助を受けている」と答えた方のみ】

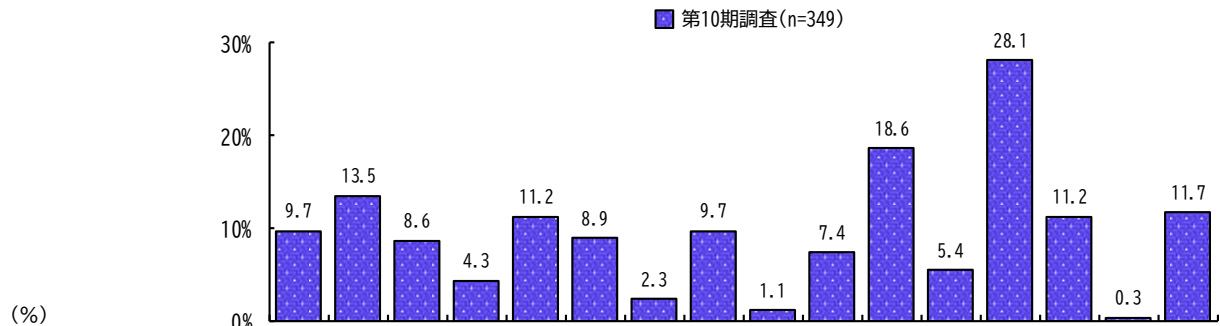
問3 「介護・介助が必要な方のみ」介護・介助が必要になった主な原因はなんですか
(いくつでも)

「高齢による衰弱」が28.1%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が18.6%、「心臓病」が13.5%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「心臓病」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高く、「がん（悪性新生物）」「視覚・聴覚障害」の割合が低くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、塩屋・西部で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「高齢による衰弱」、尾崎・御崎で「心臓病」、赤穂・城西で「糖尿病」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高く、要支援1・2で「骨折・転倒」「脊椎損傷」の割合が高くなっています。



区 分			n	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全 体			349	9.7	13.5	8.6	4.3	11.2	8.9	2.3	9.7	1.1	7.4	18.6	5.4	28.1	11.2	0.3	11.7
性・年齢	男性	65歳～74歳	23	13.0	26.1	8.7	4.3	0.0	13.0	0.0	17.4	0.0	4.3	17.4	4.3	8.7	4.3	0.0	21.7
		75歳～84歳	55	23.6	18.2	12.7	7.3	5.5	12.7	7.3	16.4	3.6	10.9	12.7	7.3	20.0	10.9	1.8	9.1
		85歳以上	56	5.4	25.0	8.9	5.4	5.4	10.7	0.0	12.5	1.8	10.7	14.3	5.4	41.1	8.9	0.0	10.7
	女性	65歳～74歳	29	3.4	0.0	13.8	3.4	27.6	3.4	3.4	6.9	0.0	10.3	13.8	3.4	13.8	13.8	0.0	17.2
		75歳～84歳	83	9.6	7.2	9.6	3.6	13.3	9.6	3.6	4.8	0.0	7.2	20.5	3.6	20.5	10.8	0.0	14.5
		85歳以上	103	5.8	10.7	3.9	2.9	13.6	5.8	0.0	7.8	1.0	3.9	24.3	6.8	39.8	13.6	0.0	7.8
圏域	赤穂・城西		89	11.2	14.6	10.1	5.6	11.2	5.6	1.1	15.7	1.1	4.5	19.1	6.7	30.3	9.0	0.0	7.9
	塩屋・西部		75	14.7	9.3	13.3	2.7	12.0	12.0	0.0	8.0	0.0	9.3	13.3	2.7	34.7	12.0	0.0	9.3
	尾崎・御崎		54	3.7	18.5	3.7	3.7	13.0	7.4	1.9	1.9	1.9	9.3	20.4	5.6	27.8	11.1	1.9	14.8
	坂越・高雄		66	12.1	16.7	10.6	4.5	6.1	9.1	4.5	7.6	1.5	6.1	18.2	7.6	18.2	12.1	0.0	12.1
	有年		65	4.6	9.2	3.1	4.6	13.8	10.8	4.6	12.3	1.5	9.2	23.1	4.6	27.7	12.3	0.0	16.9
認定該当状況	一般高齢者		217	10.1	12.4	8.8	5.5	9.7	11.1	2.8	11.5	1.8	9.2	13.4	2.8	29.0	10.1	0.5	12.4
	総合事業対象者		2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2		130	9.2	15.4	8.5	2.3	13.8	4.6	1.5	6.9	0.0	4.6	27.7	10.0	25.4	13.1	0.0	10.8

【問2において「現在、何らかの介護・介助を受けている」と答えた方のみ】

問4 【介護・介助が必要な方のみ】主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

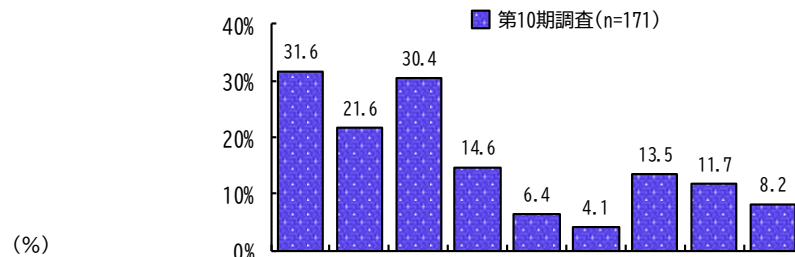
「配偶者（夫・妻）」の割合が31.6%と最も高く、次いで「娘」の割合が30.4%、「息子」の割合が21.6%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「息子」「娘」「子の配偶者（息子の妻・娘の夫）」の割合が高く、「配偶者（夫・妻）」の割合が低くなっています。

圏域にみると、赤穂・城西で「配偶者（夫・妻）」「娘」「孫」、塩屋・西部で「子の配偶者（息子の妻・娘の夫）」、有年で「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。

認定該当状況にみると、一般高齢者で「配偶者（夫・妻）」の割合が高く、要支援1・2で「娘」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

世帯類型別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「配偶者（夫・妻）」、息子や娘との2世帯で「息子」「娘」「子の配偶者（息子の妻・娘の夫）」、1人暮らしで「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。



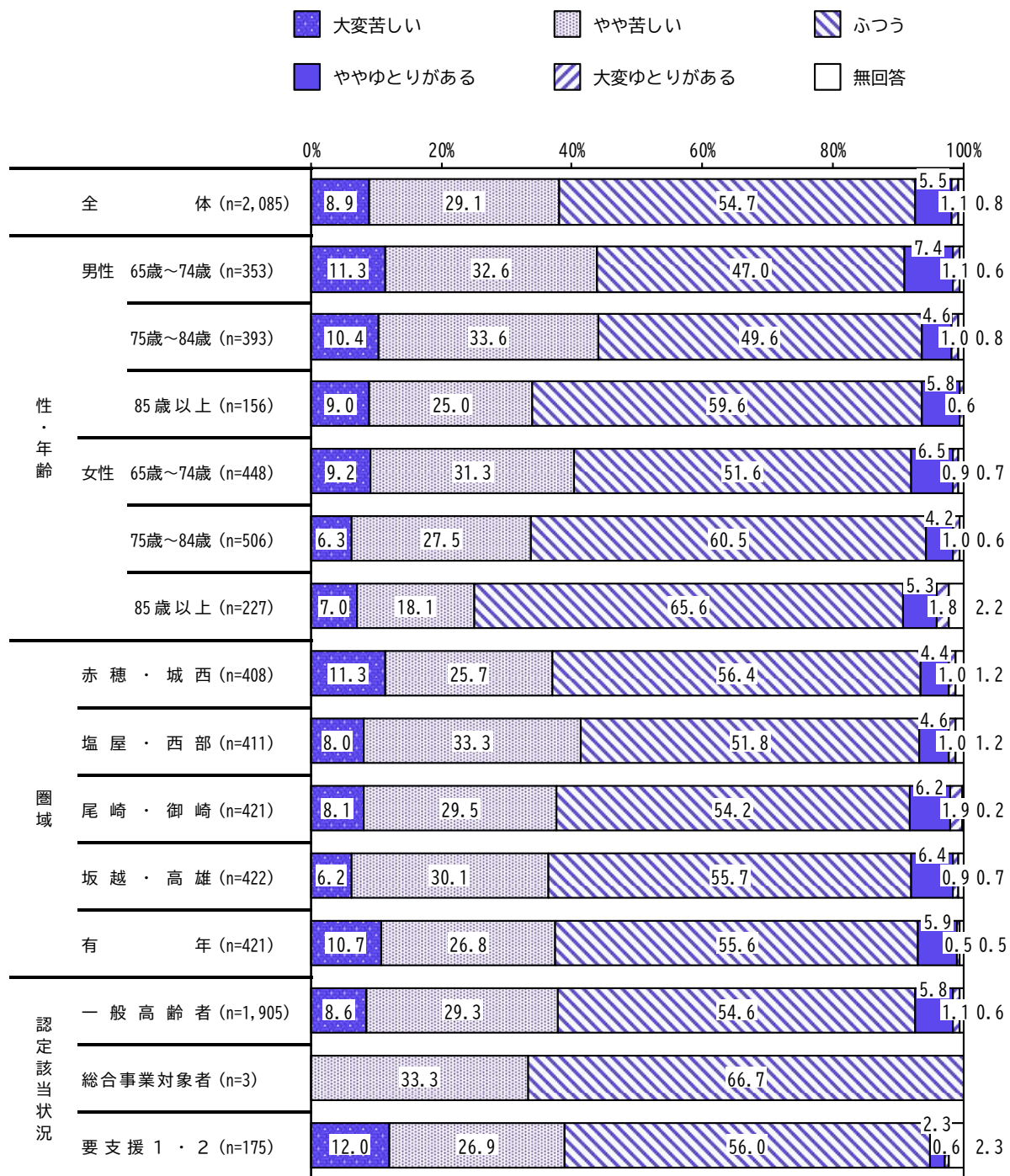
区 分		n	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者（息子の妻・娘の夫）	孫	兄弟姉妹	ル介パ（介護サービスのヘルパー）	その他	無回答
全 体		171	31.6	21.6	30.4	14.6	6.4	4.1	13.5	11.7	8.2
性・年齢	男性 65歳～74歳	11	36.4	18.2	9.1	9.1	0.0	27.3	0.0	27.3	0.0
	75歳～84歳	18	61.1	5.6	38.9	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	11.1
	85歳以上	24	50.0	33.3	37.5	8.3	8.3	0.0	12.5	4.2	12.5
	女性 65歳～74歳	14	42.9	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1	7.1
	75歳～84歳	43	32.6	23.3	20.9	11.6	7.0	2.3	20.9	11.6	14.0
	85歳以上	61	11.5	24.6	39.3	26.2	9.8	4.9	11.5	11.5	3.3
圏 域	赤穂・城西	40	42.5	22.5	37.5	12.5	12.5	2.5	5.0	10.0	7.5
	塩屋・西部	39	30.8	17.9	25.6	23.1	7.7	5.1	17.9	15.4	5.1
	尾崎・御崎	24	33.3	20.8	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3
	坂越・高雄	40	30.0	22.5	32.5	12.5	0.0	2.5	12.5	2.5	10.0
	有年	28	17.9	25.0	21.4	7.1	10.7	10.7	17.9	25.0	10.7
認 定 該 当 状 況	一般高齢者	78	42.3	21.8	26.9	16.7	6.4	3.8	9.0	15.4	5.1
	総合事業対象者	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2	92	22.8	21.7	33.7	12.0	6.5	4.3	17.4	8.7	10.9
世 帯	1人暮らし	45	2.2	15.6	35.6	8.9	6.7	6.7	24.4	17.8	13.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	46	76.1	10.9	28.3	10.9	2.2	0.0	8.7	0.0	6.5
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	6	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子や娘との2世帯	37	16.2	35.1	40.5	35.1	8.1	0.0	16.2	5.4	5.4
	その他	28	21.4	25.0	14.3	7.1	14.3	14.3	3.6	35.7	3.6

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つだけ○）

「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”が38.0%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”が6.6%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど“苦しい”の割合が高くなっています。

圏域別、認定該当状況別では、大きな差はみられません。



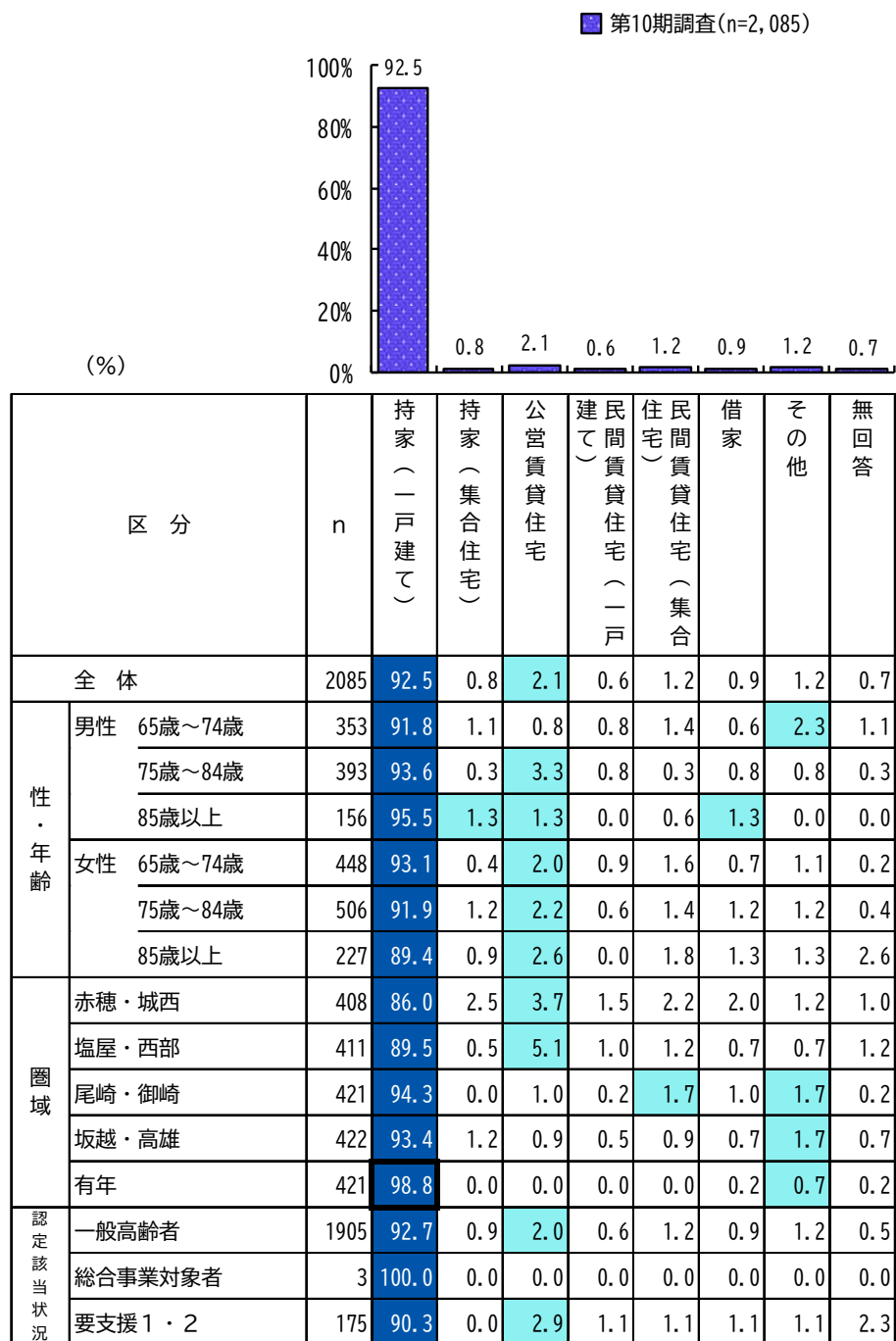
問6 お住まいは持家、又は賃貸住宅のどちらですか（1つだけ○）

「持家（一戸建て）」が92.5%と最も多くなっています。

性・年齢別にみると、大きな差はみられません。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「持家（一戸建て）」の割合が高くなっています。

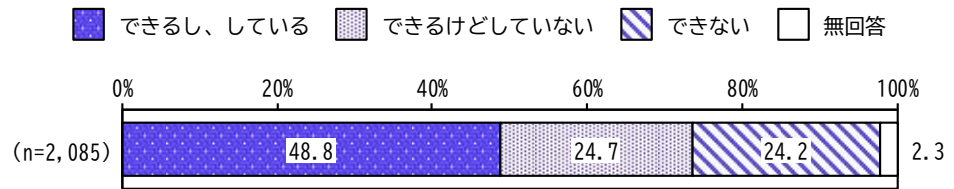
認定該当状況別では、大きな差はみられません。



2 からだを動かすことについて

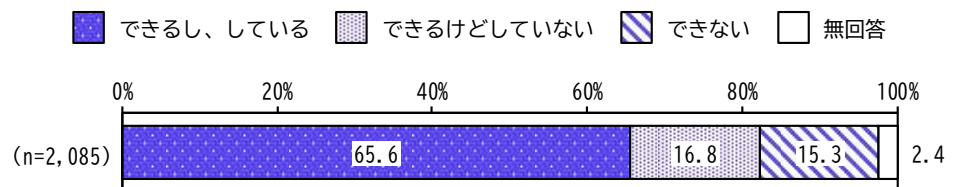
問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つだけ○）

「できるし、している」が48.8%、「できるけどしていない」が24.7%、「できない」が24.2%となっています。



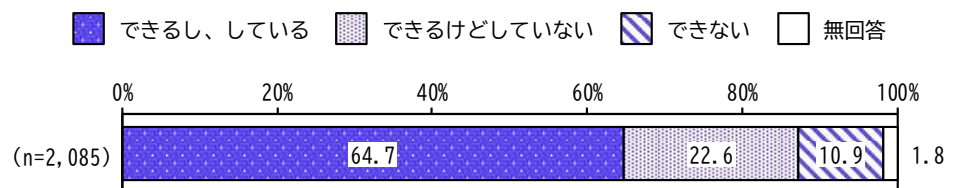
問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つだけ○）

「できるし、している」が65.6%、「できるけどしていない」が16.8%、「できない」が15.3%となっています。



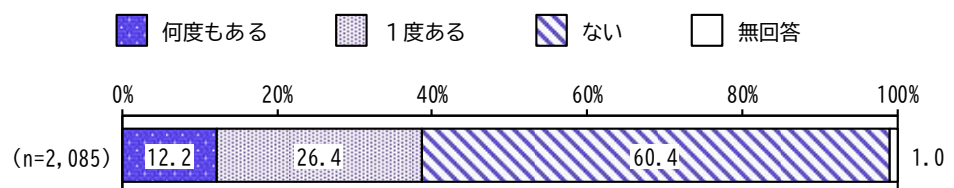
問9 15分位続けて歩いていますか（1つだけ○）

「できるし、している」が64.7%、「できるけどしていない」が22.6%、「できない」が10.9%となっています。



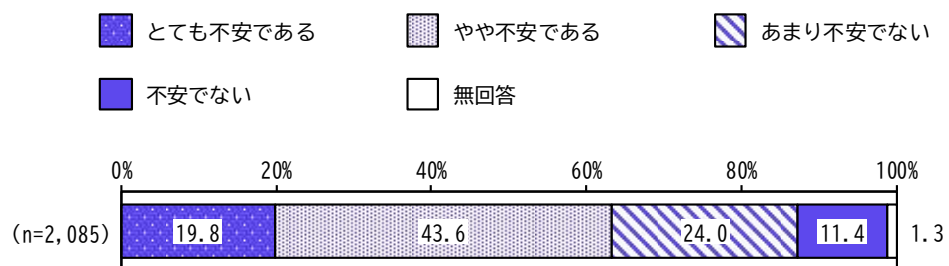
問10 過去1年間に転んだ経験はありますか（1つだけ○）

「ない」が60.4%、「1度ある」が26.4%、「何度もある」が12.2%となっています。



問 11 転倒に対する不安は大きいですか（1つだけ○）

「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”が63.4%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた“不安でない”が35.4%となっています。



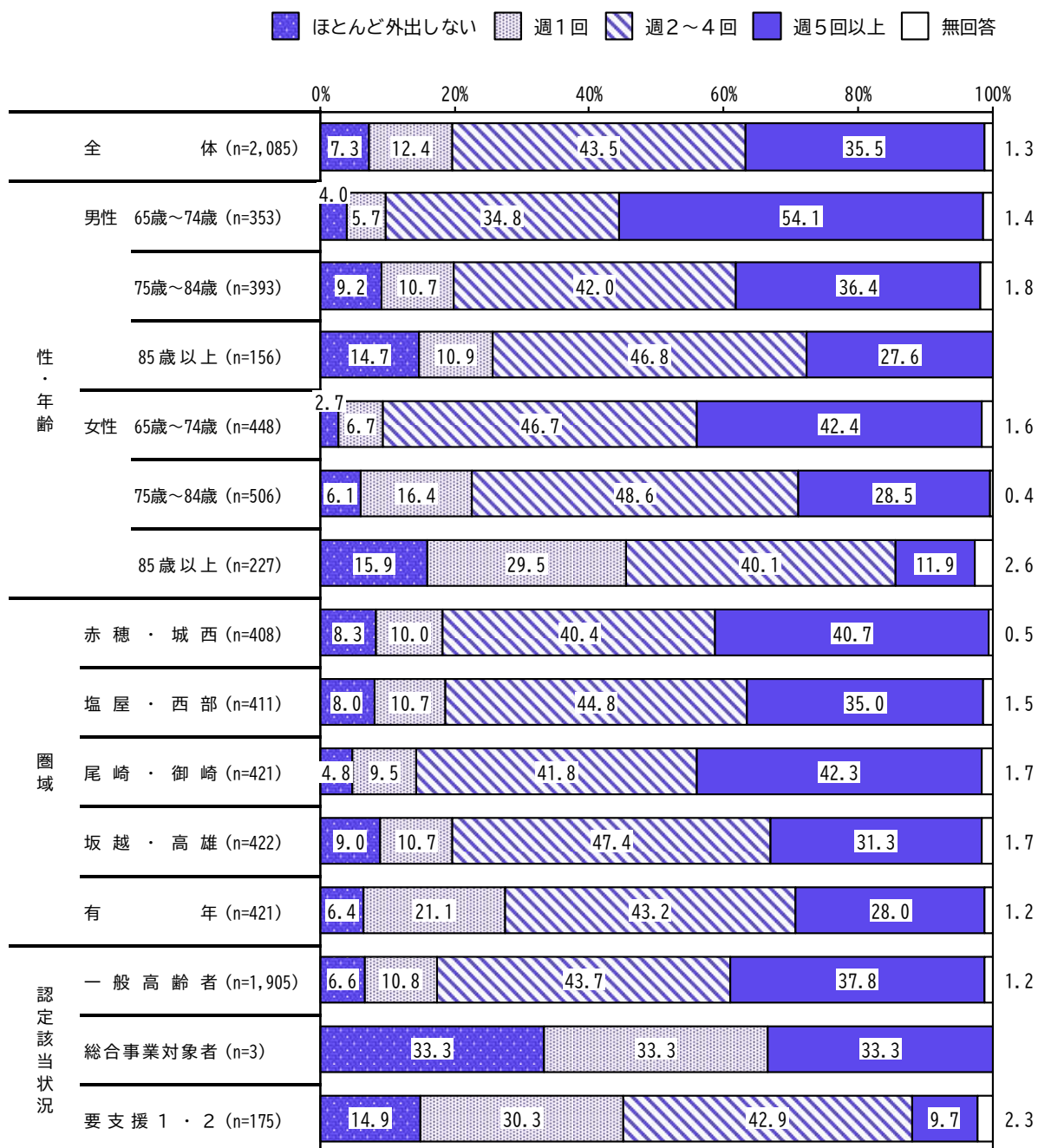
問12 週に1回以上は外出していますか（1つだけ○）

「週2～4回」が43.5%と最も多く、次いで「週5回以上」が35.5%、「週1回」が12.4%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「週5回以上」が少なくなるなど高齢になるにつれ外出の回数が減る傾向がみられます。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「週1回」、赤穂・城西、尾崎・御崎で「週5回以上」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「週5回以上」の割合が高く、要支援1・2で「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。



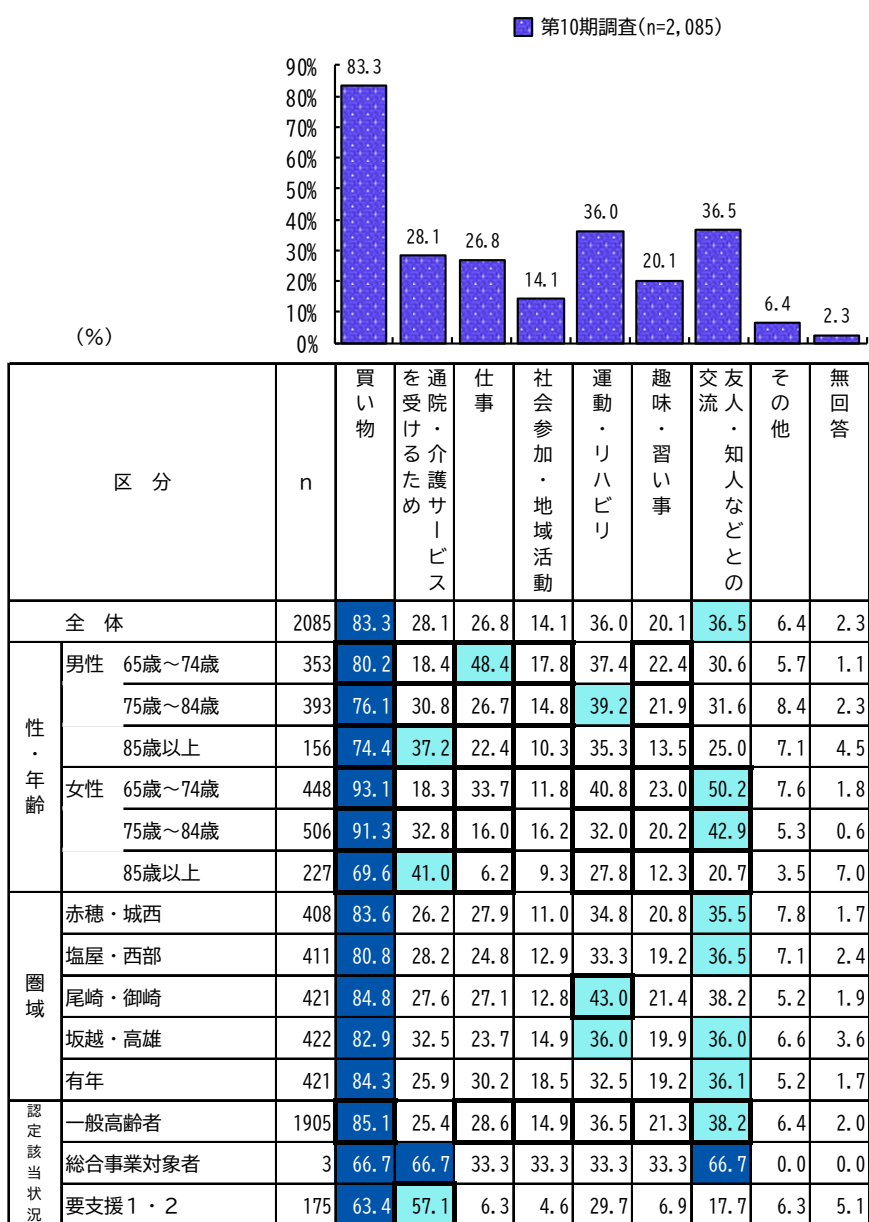
問13 外出の目的は何ですか（いくつでも）

「買い物」が83.3%と最も多く、次いで「友人・知人などとの交流」が36.5%、「運動・リハビリ」が36.0%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「通院・介護サービスを受けるため」の割合が低く、男性では「買い物」「仕事」「社会参加・地域活動」「趣味・習い事」の割合が高く、女性では「買い物」「仕事」「運動・リハビリ」「趣味・習い事」「友人・知人などとの交流」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、尾崎・御崎で「運動・リハビリ」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「買い物」「仕事」「社会参加・地域活動」「運動・リハビリ」「趣味・習い事」「友人・知人などとの交流」の割合が高く、要支援1・2で「通院・介護サービスを受けるため」の割合が高くなっています。



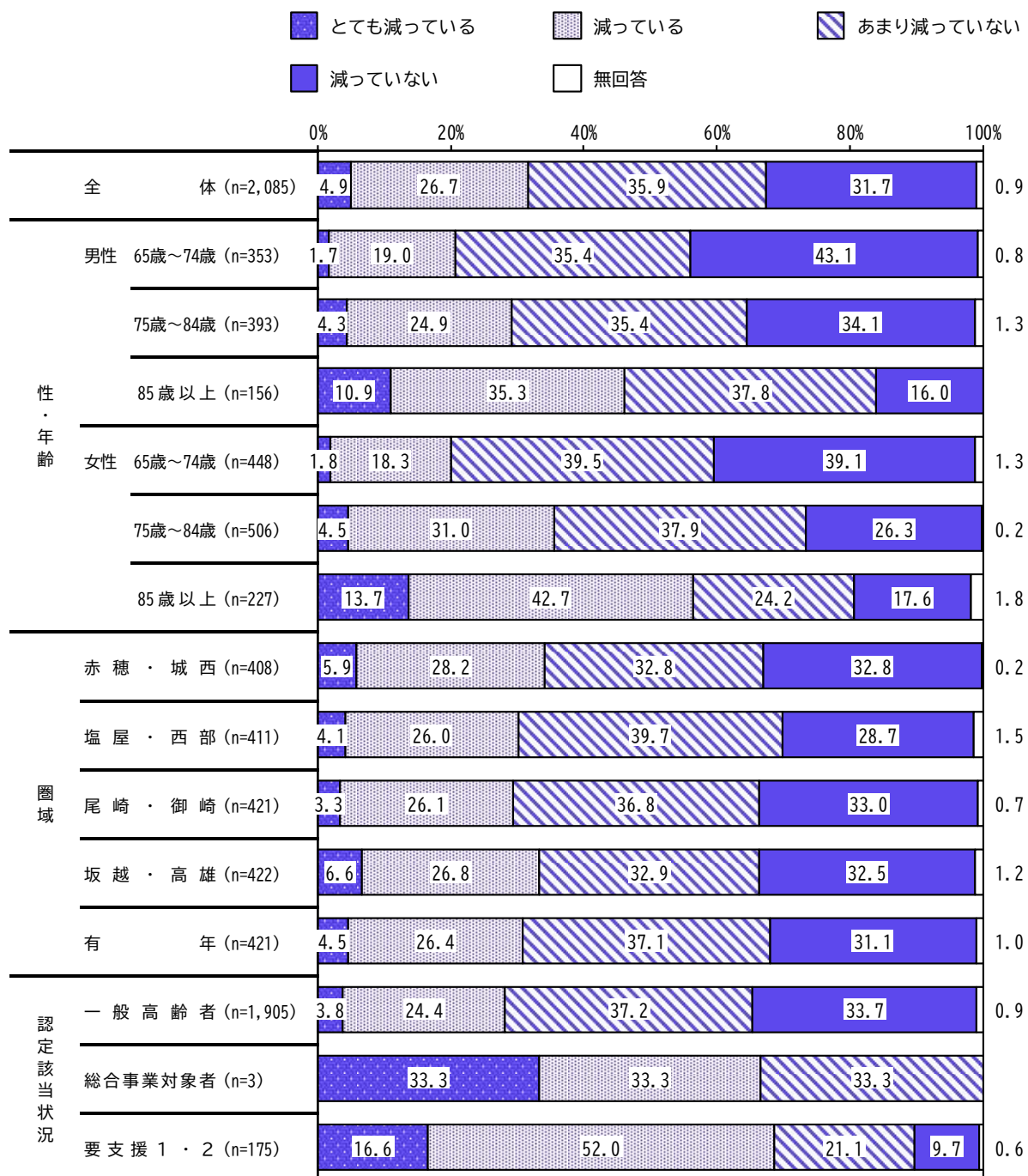
問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つだけ○）

「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”が 31.6%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”が 67.6%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“減っている”の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、要支援 1・2 で“減っている”の割合が高くなっています。



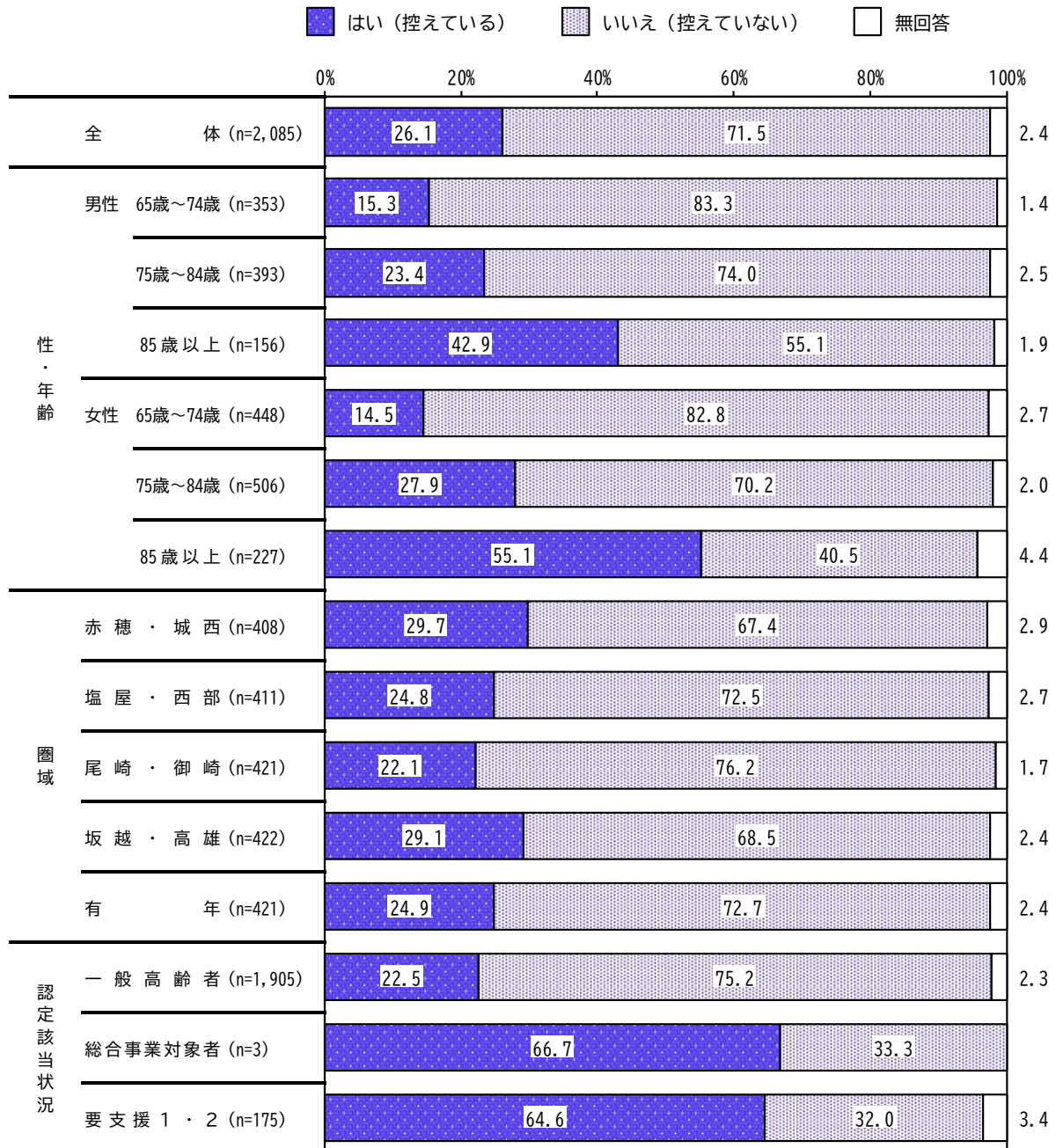
問 15 外出を控えていますか（１つだけ○）

「はい（控えている）」が26.1%、「いいえ（控えていない）」が71.5%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい（控えている）」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「いいえ（控えていない）」の割合が高くなっています。



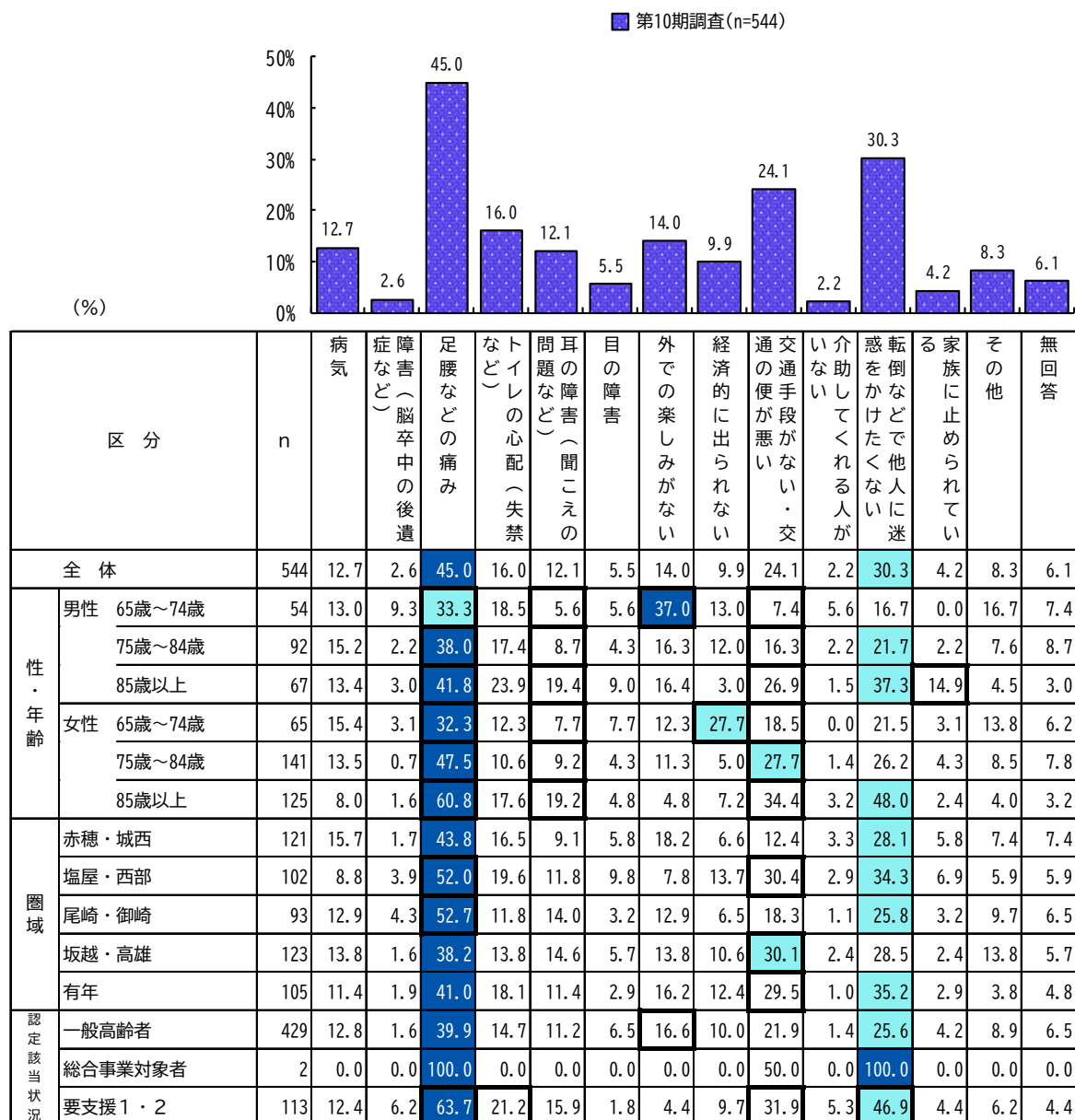
問 16 【外出を控えている方のみ】外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「足腰などの痛み」の割合が 45.0%と最も多く、次いで「転倒などで他人に迷惑をかけたくない」が 30.3%、「交通手段がない・交通の便が悪い」が 24.1%となっています。

性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど「足腰などの痛み」「耳の障害（聞こえの問題など）」「交通手段がない・交通の便が悪い」の割合が高くなっています。また、男性の 65 歳～74 歳で「外での楽しみがない」男性の 85 歳以上で「家族に止められている」女性の 65 歳～74 歳で「経済的に出られない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、塩屋・西部、尾崎・御崎で「足腰などの痛み」、塩屋・西部、坂越・高雄、有年で「交通手段がない・交通の便が悪い」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「外での楽しみがない」の割合が高く、要支援 1・2 で「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「交通手段がない・交通の便が悪い」「転倒などで他人に迷惑をかけたくない」の割合が高くなっています。



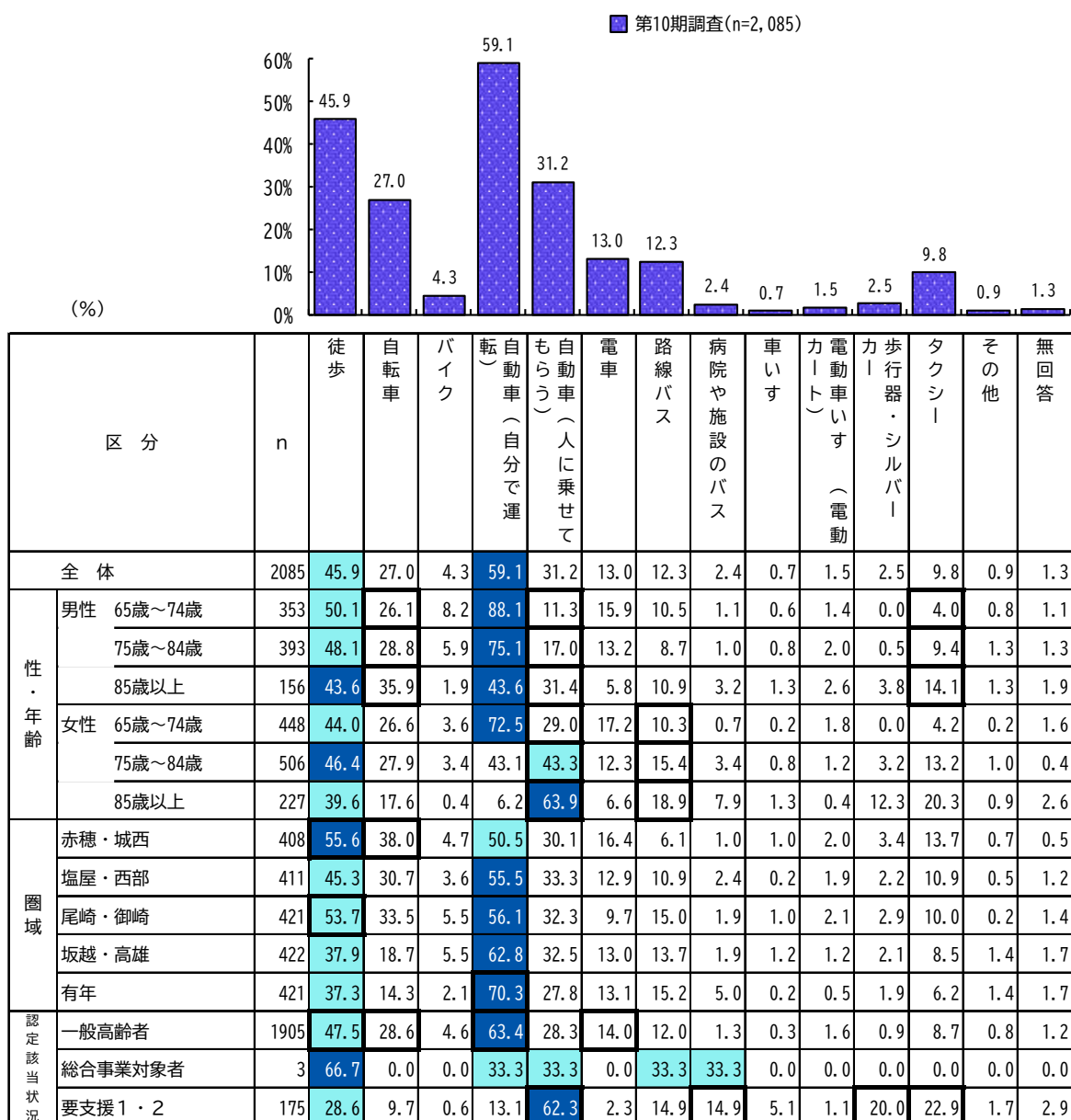
問 17 外出する際の移動手段はなんですか（いくつでも）

「自動車（自分で運転）」が59.1%と最も多く、次いで「徒歩」が45.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が31.2%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「自転車」「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」の割合が、女性では「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、赤穂・城西、尾崎・御崎で「徒歩」、赤穂・城西で「自転車」、有年で「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高く、要支援1・2で「自動車（人に乗せてもらう）」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。



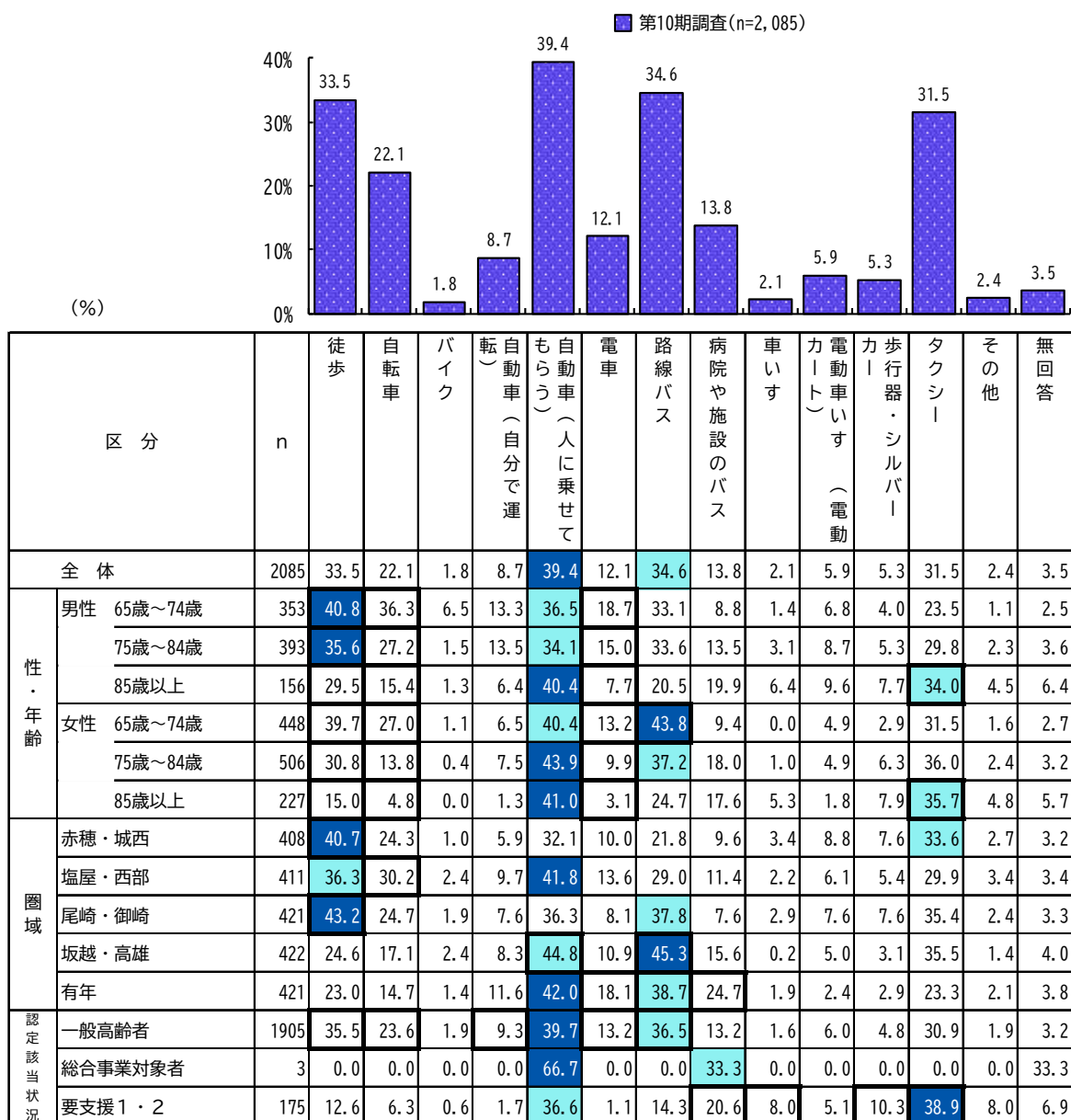
問 18 現在、利用している移動手段が利用できなくなった場合、次に利用したいものは何ですか（いくつでも）

「自動車（人に乗せてもらう）」が 39.4%と最も多く、次いで「路線バス」が 34.6%、「徒歩」が 33.5%となっています。

性・年齢別にみると、男女とも年齢が下がるほど、「徒歩」「自転車」「電車」の割合が高くなっています。また、女性の 65 歳～74 歳で「路線バス」、男女とも 85 歳以上で「タクシー」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、赤穂・城西、尾崎・御崎で「徒歩」、塩屋・西部で「自転車」、坂越・高雄で「路線バス」「自動車（人に乗せてもらう）」、有年で「電車」「病院や施設のバス」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」「路線バス」の割合が高く、要支援 1・2 で「病院や施設のバス」「車いす」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。

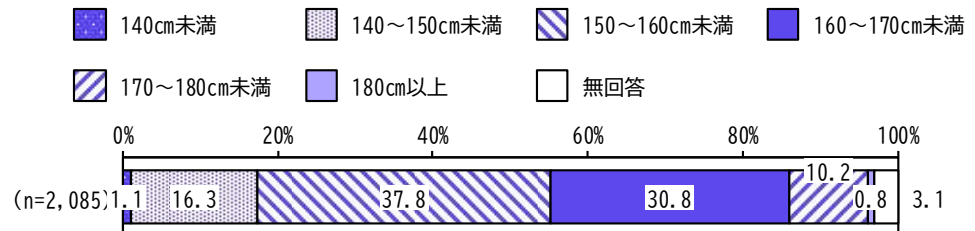


3 食べることについて

問 19 身長・体重を教えてください（数字を記入・小数点以下は省略）

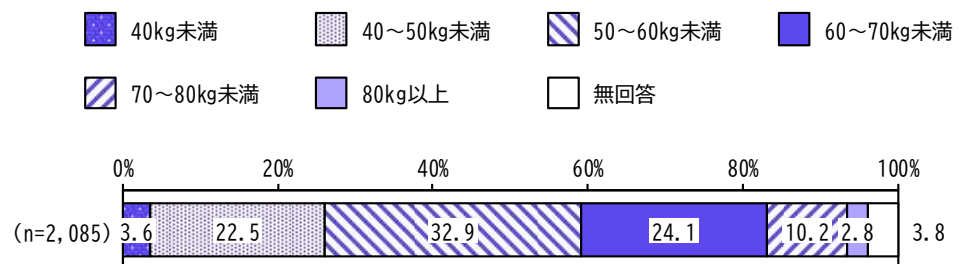
身長

「150～160cm 未満」が 37.8%と最も多く、次いで「160～170cm 未満」が 30.8%、「140～150cm 未満」が 16.3%となっています。



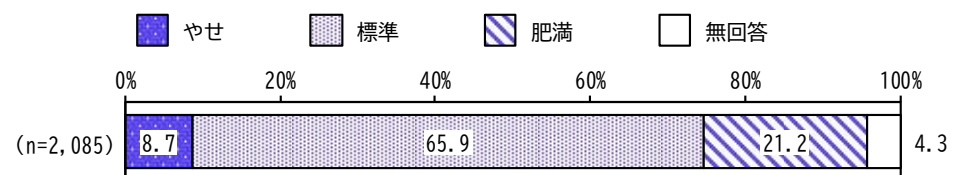
体重

「50～60kg 未満」が 32.9%と最も多く、次いで「60～70kg 未満」が 24.1%、「40～50kg 未満」が 22.5%となっています。



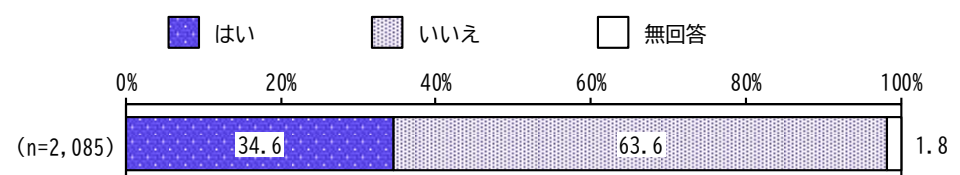
BMI

「やせ」が 8.7%、「標準」が 65.9%、「肥満」が 21.2%となっています。



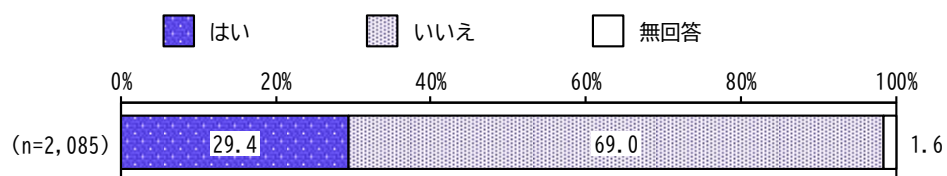
問 20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」が 34.6%、「いいえ」が 63.6%となっています。



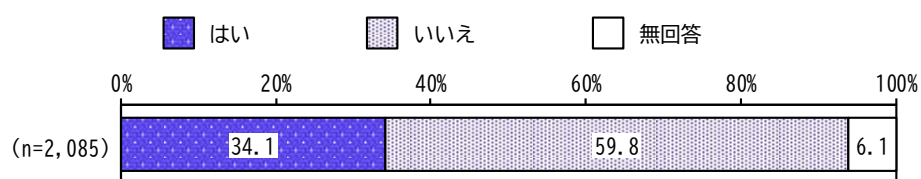
問 21 お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が29.4%、「いいえ」が69.0%となっています。



問 22 口の渇きが気になりますか

「はい」が34.1%、「いいえ」が59.8%となっています。



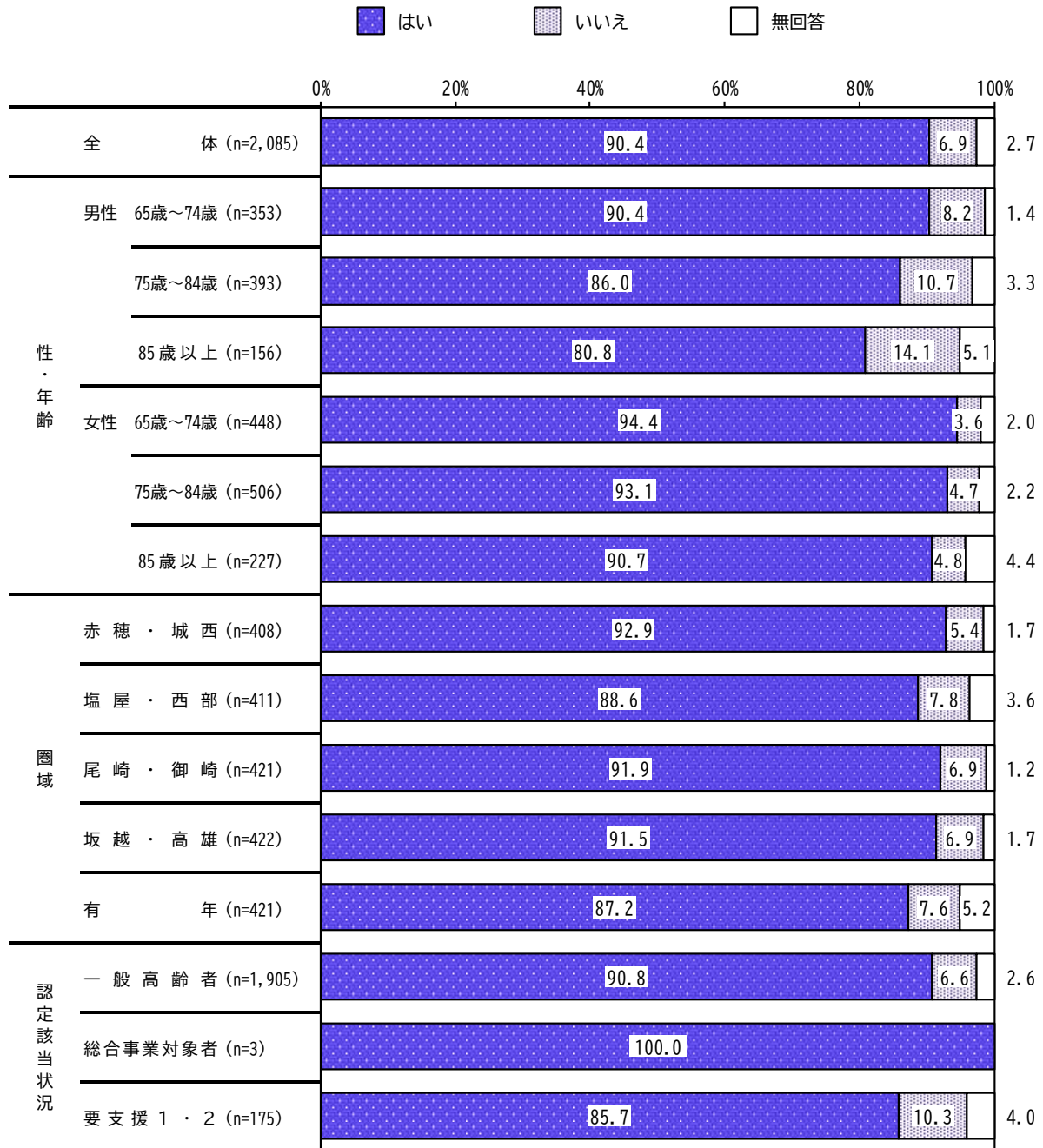
問 23 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」が90.4%、「いいえ」が6.9%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



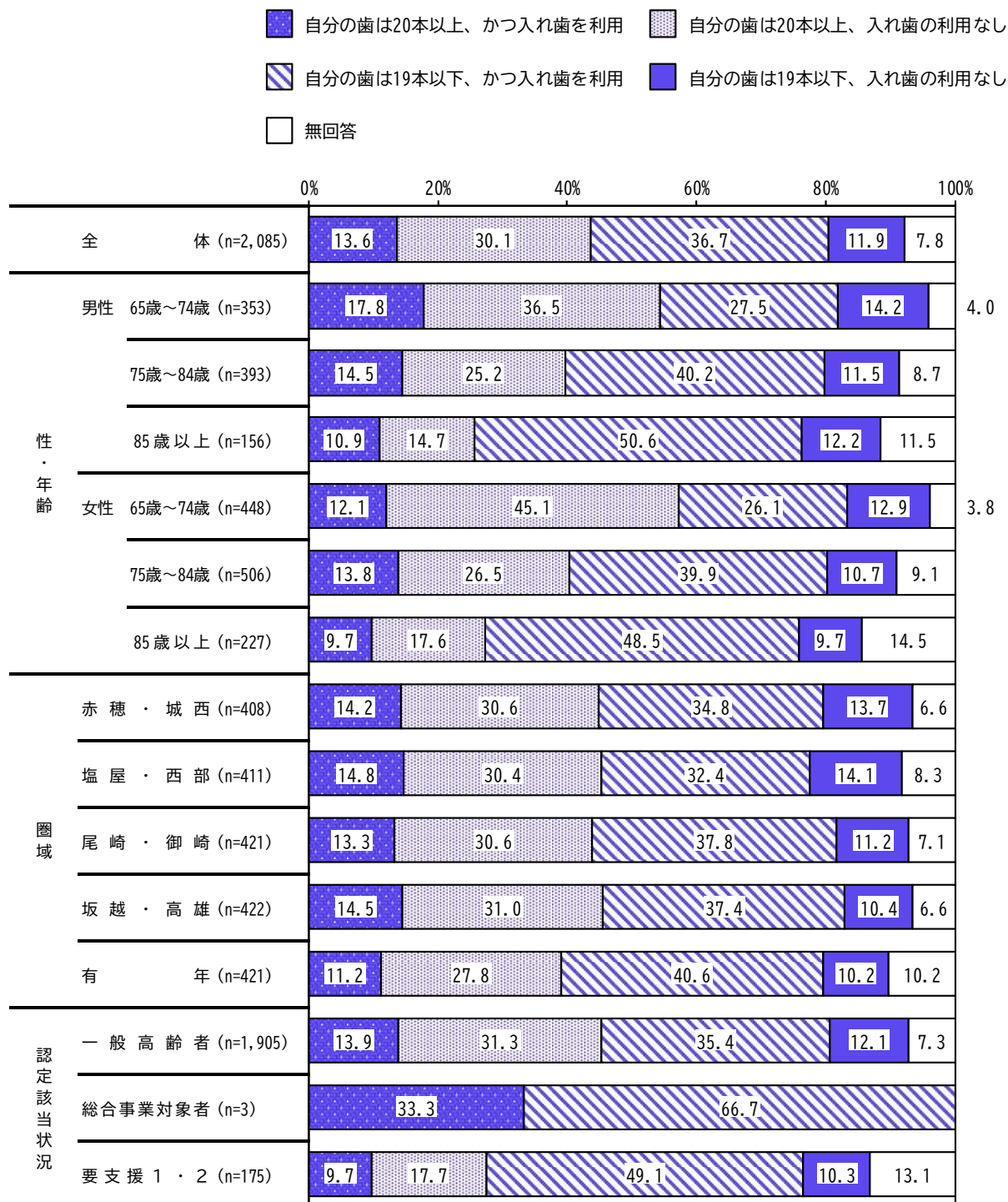
問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つだけ○）

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.7%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 30.1%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.6%となっています。

性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど「自分の歯は 20 本以上」が少なくなる傾向がみられます。

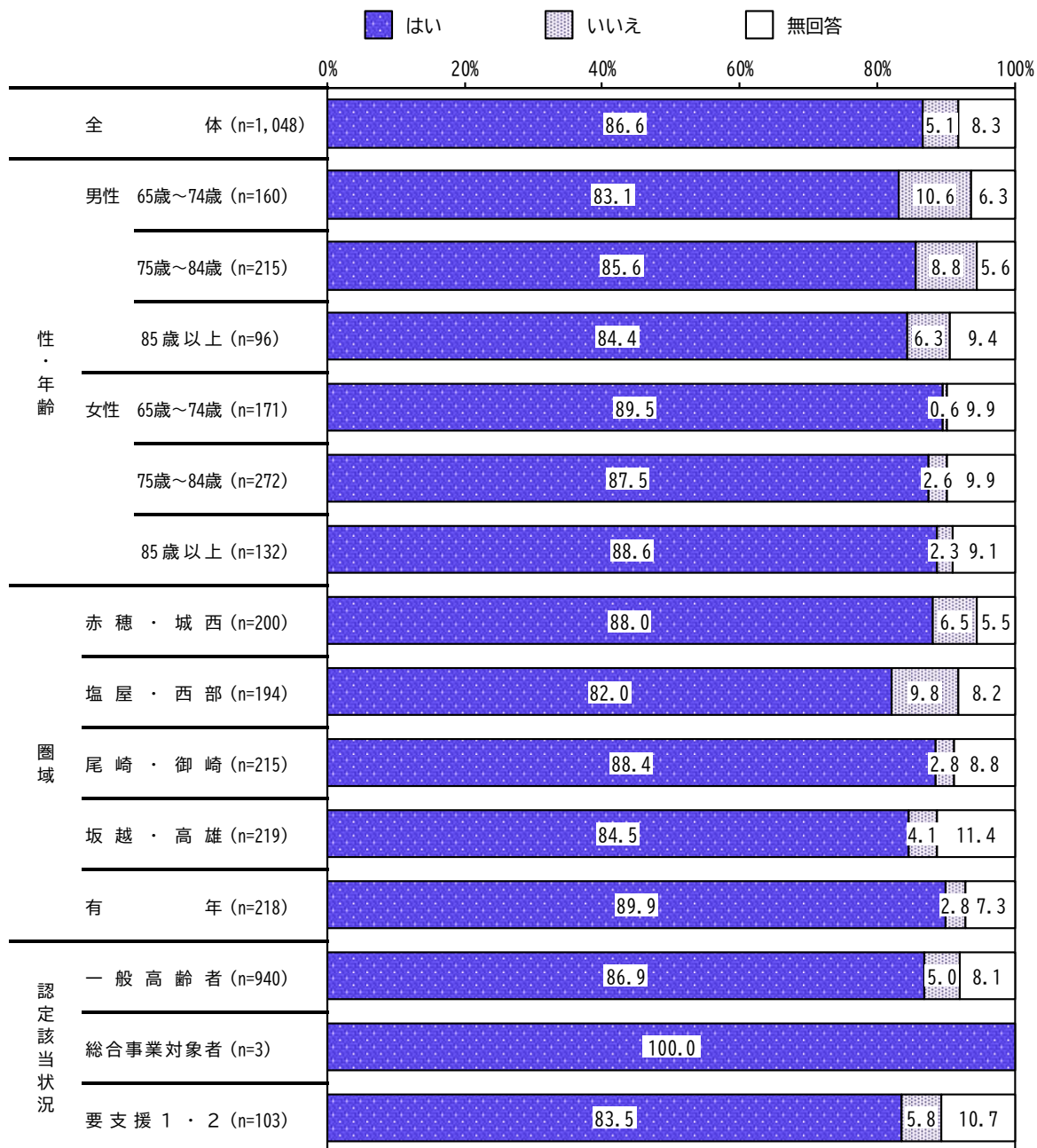
圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が高く、要支援 1・2 で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が高くなっています。



問 25 〔入れ歯を利用している方のみ〕 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」が86.6%、「いいえ」が5.1%となっています。
 性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。
 圏域別、認定該当状況別では、大きな差はみられません。



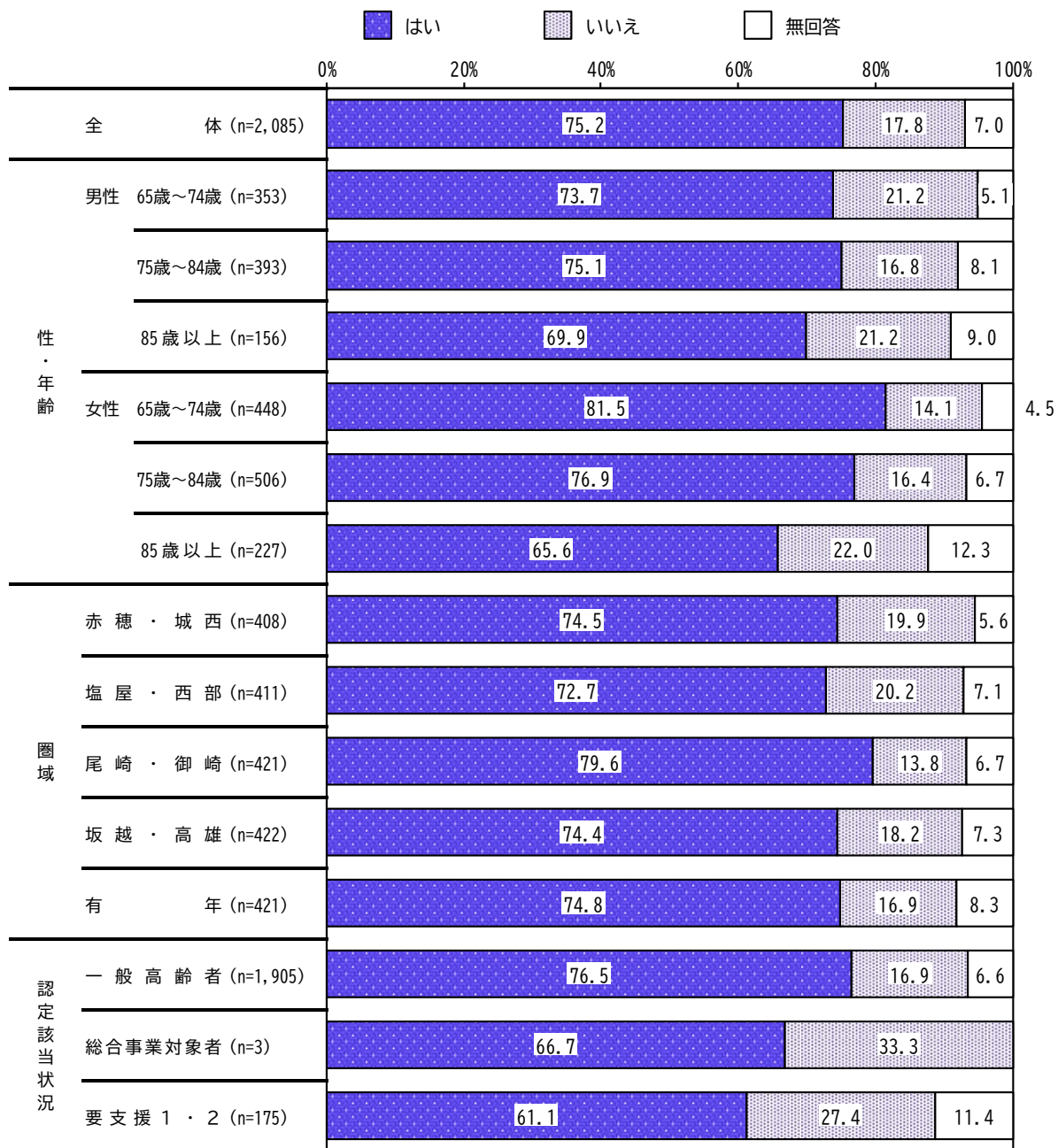
問 26 噛み合わせは良いですか

「はい」が75.2%、「いいえ」が17.8%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



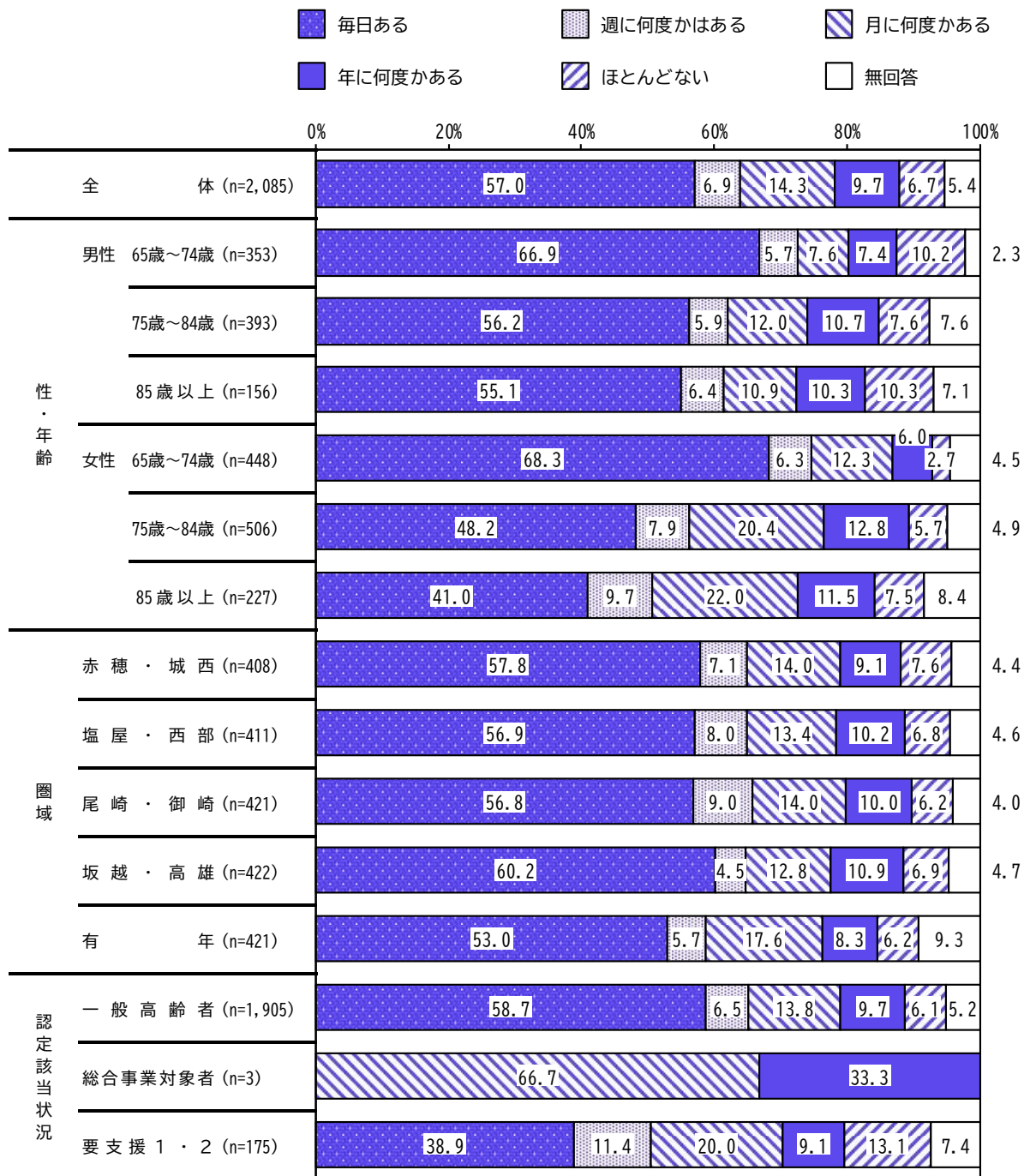
問 27 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つだけ○）

「毎日ある」が57.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」が14.3%となっています。

性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど「毎日ある」の割合が低くなっており、特に85歳以上の女性では41.0%となっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

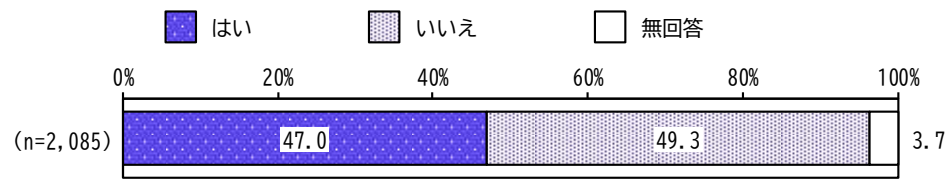
認定該当状況別にみると、一般高齢者で「毎日ある」の割合が高く、要支援1・2で「月に何度かある」「ほとんどない」の割合が高くなっています。



4 毎日の生活について

問 28 物忘れが多いと感じますか

「はい」が47.0%、「いいえ」が49.3%となっています。



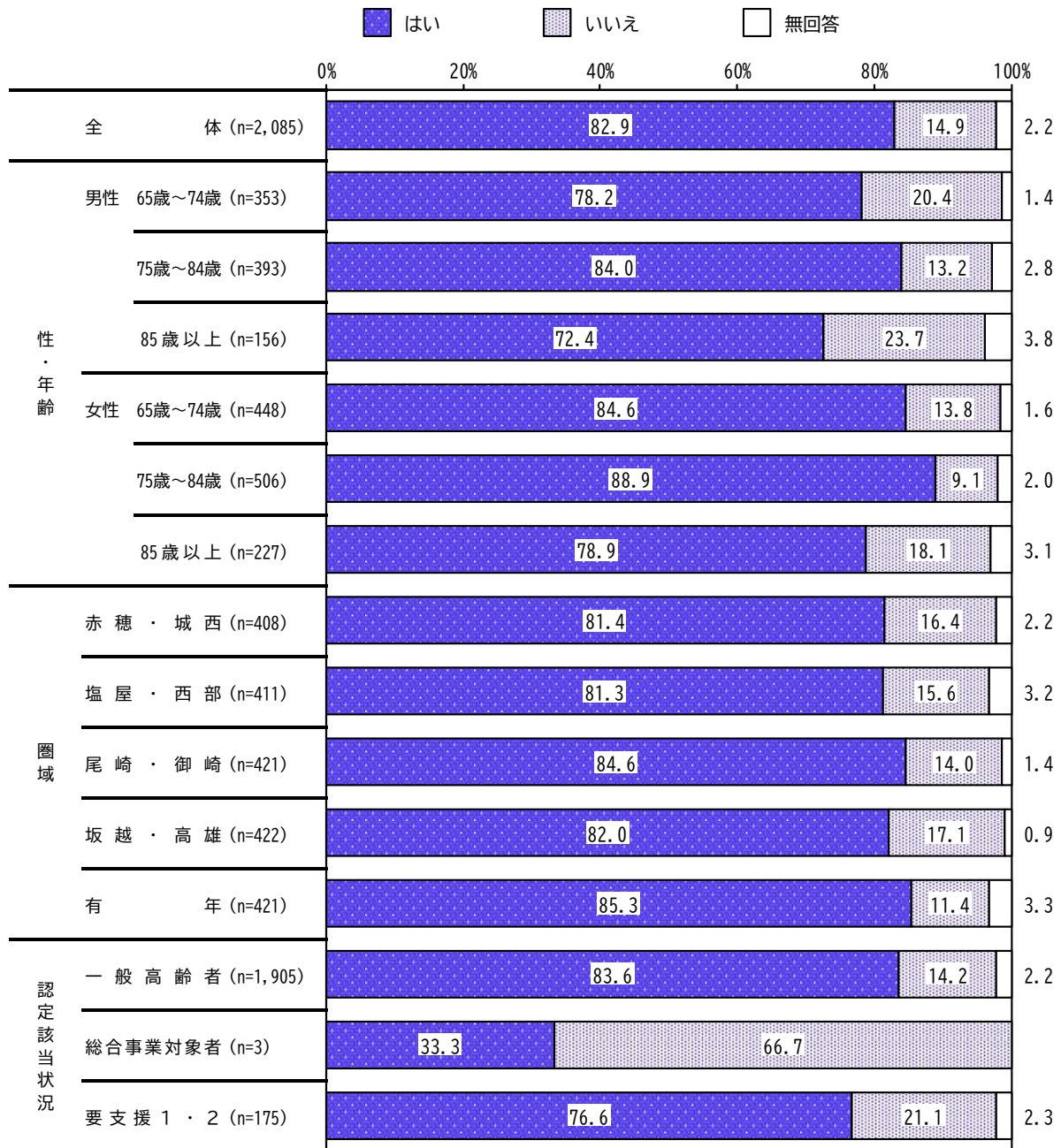
問 29 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」が82.9%、「いいえ」が14.9%となっています。

性・年齢別にみると、他の性・年齢に比べ、男性 85 歳以上で「はい」の割合が低くなっています。

圏域別にみると、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



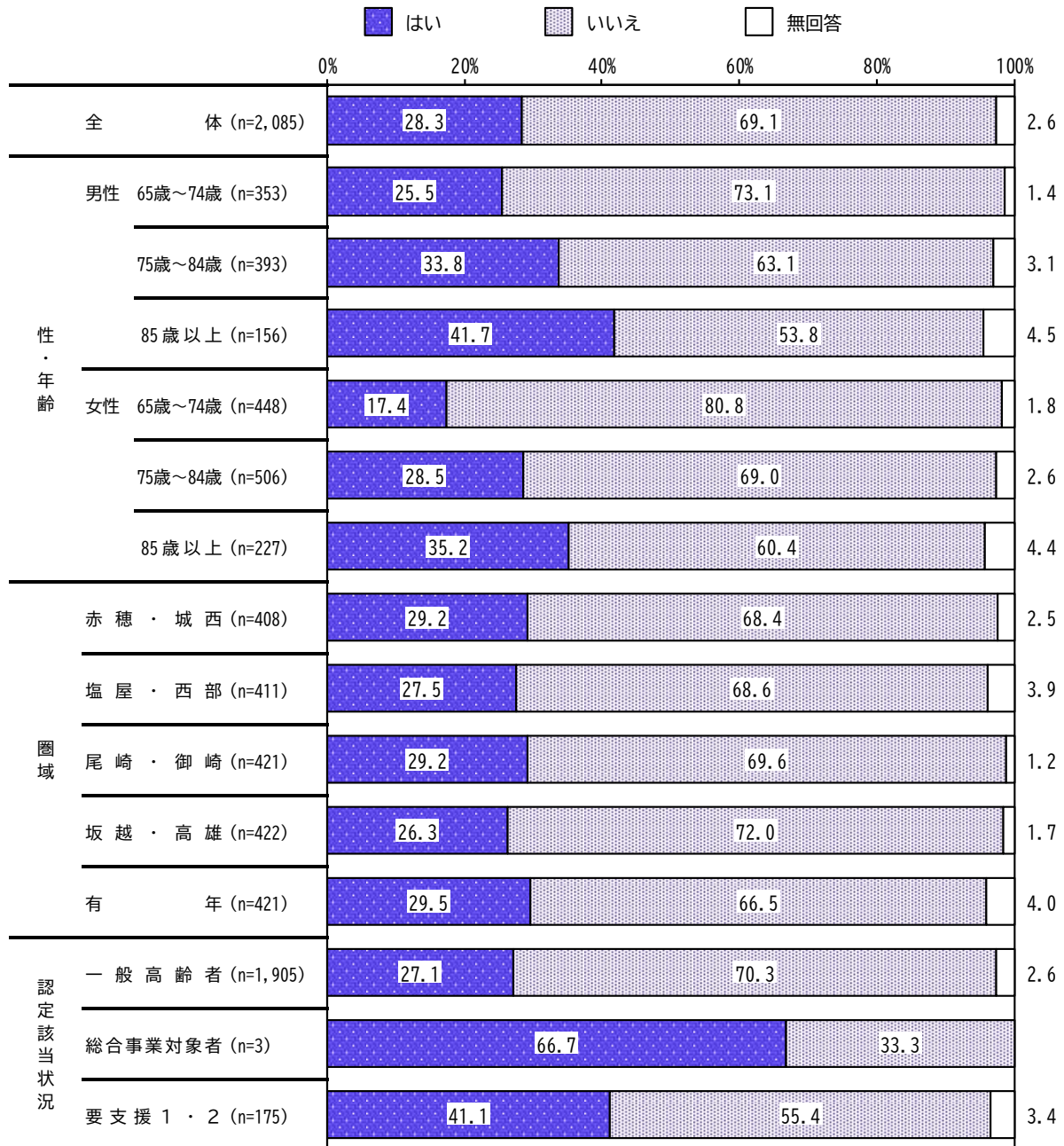
問 30 今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」が28.3%、「いいえ」が69.1%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、他の性・年齢に比べ、女性 65歳～74歳で「いいえ」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



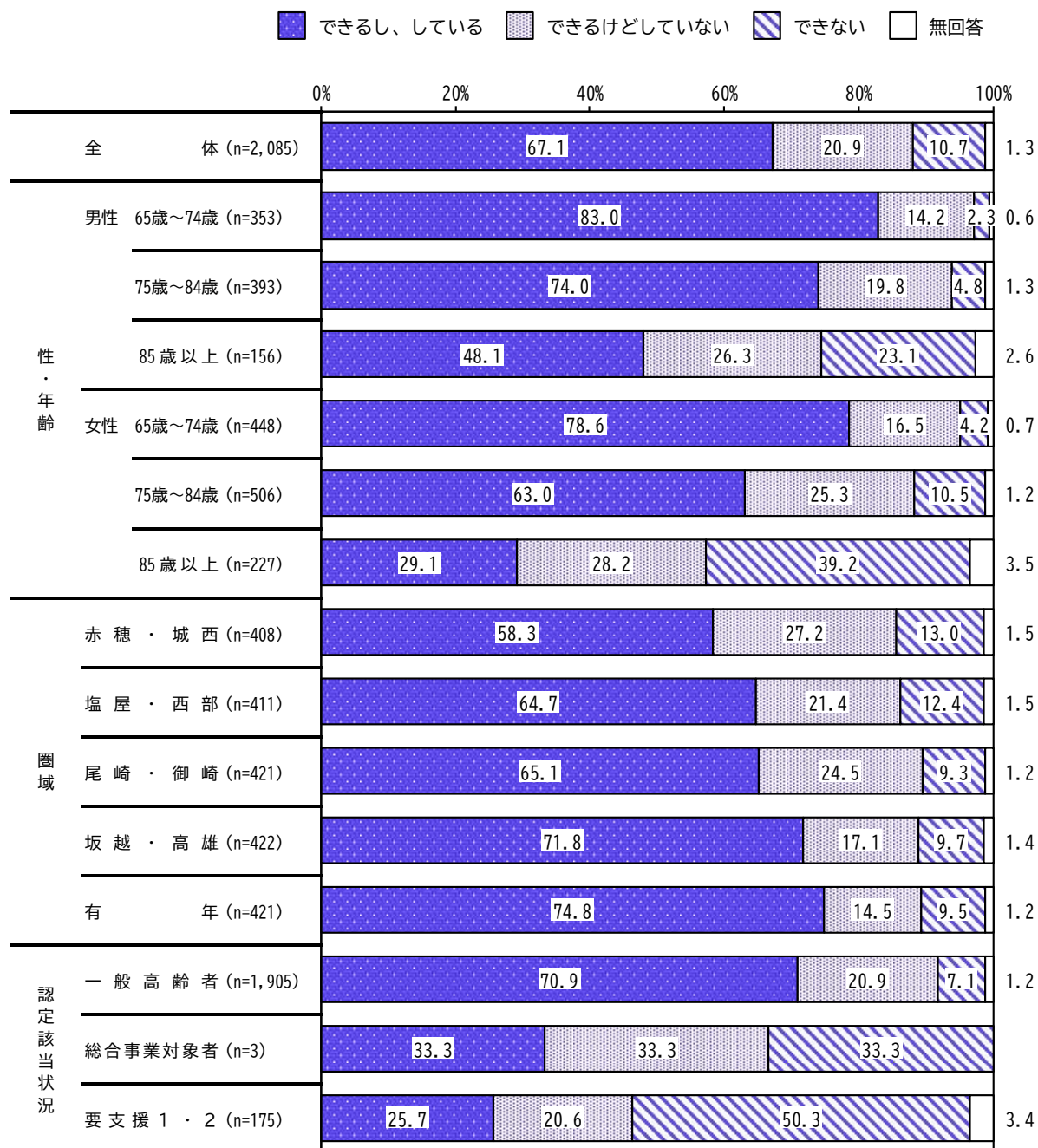
問 31 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つだけ○）

「できるし、している」が67.1%、「できるけどしていない」が20.9%、「できない」が10.7%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「できるし、している」、赤穂・城西で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援1・2で「できない」の割合が高くなっています。



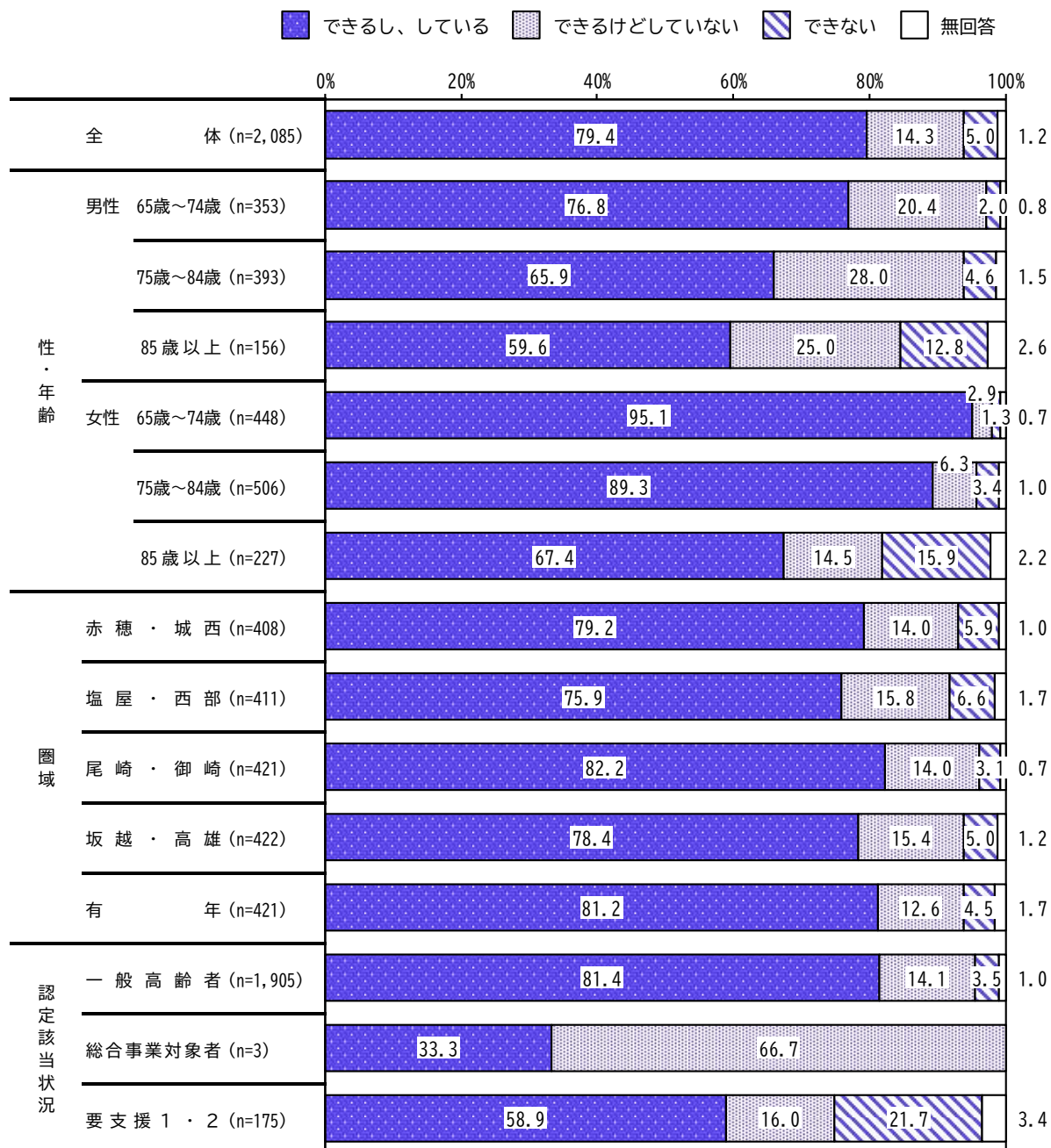
問 32 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つだけ○）

「できるし、している」が79.4%、「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が5.0%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけど、していない」「できない」の割合が高くなっています。女性では75～84歳と比較して85歳以上で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。



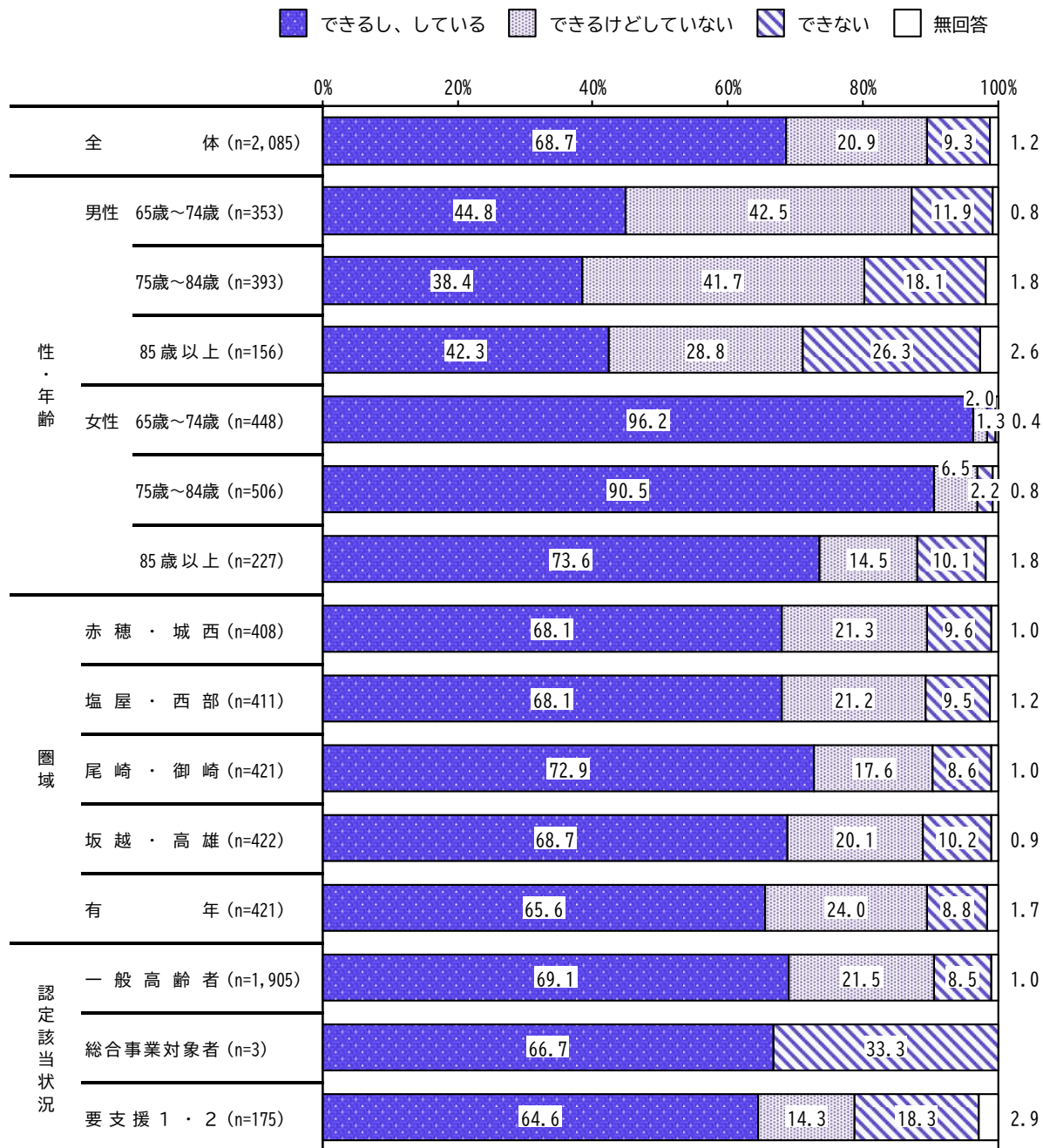
問 33 自分で食事の用意をしていますか（１つだけ○）

「できるし、している」が 68.7%、「できるけどしていない」が 20.9%、「できない」が 9.3%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「できない」の割合が、女性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「できるけどしていない」の割合が高く、要支援１・２で「できない」の割合が高くなっています。



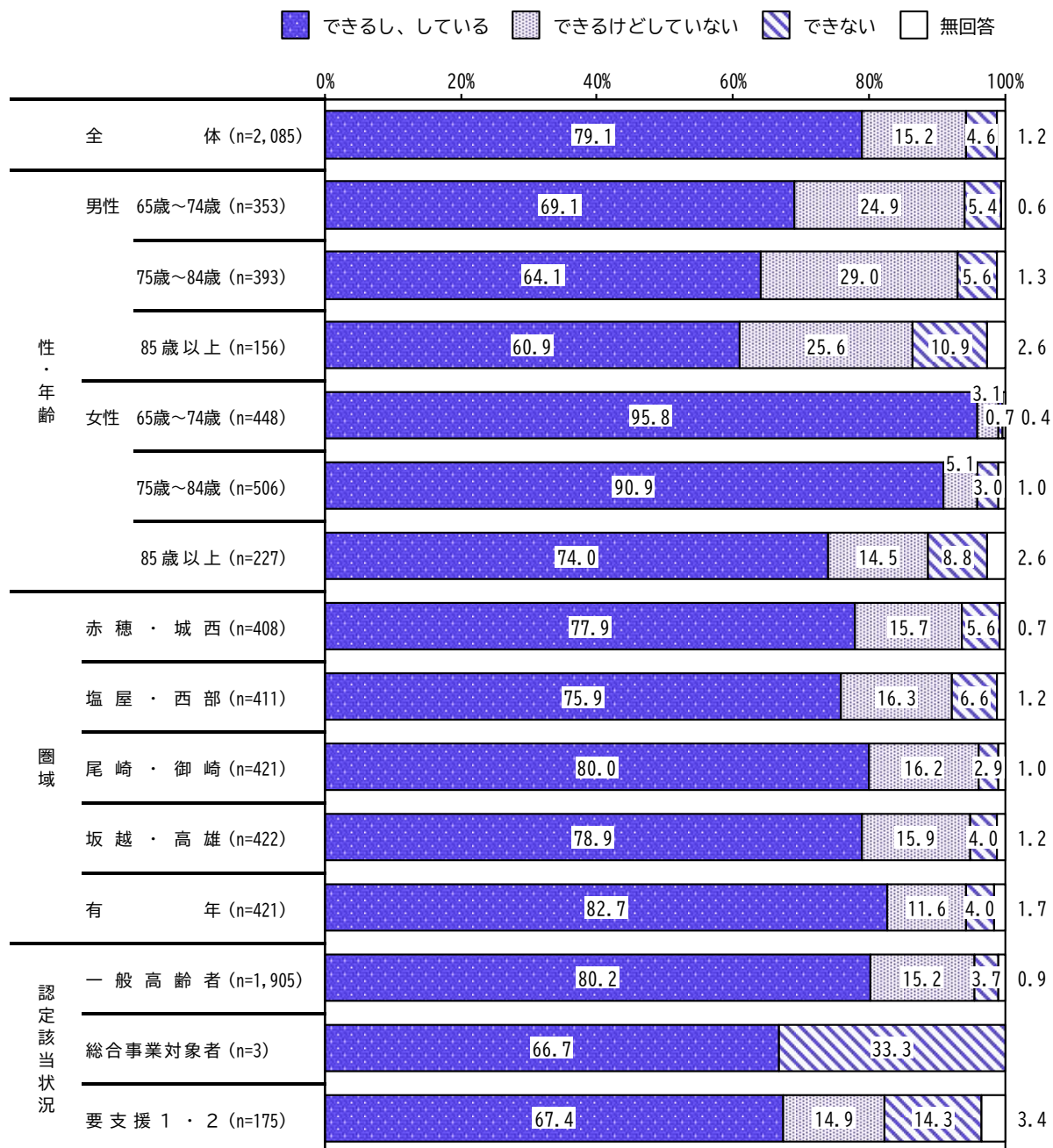
問 34 自分で請求書の支払いをしていますか（1つだけ○）

「できるし、している」が79.1%、「できるけどしていない」が15.2%、「できない」が4.6%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できない」の割合が高くなっています。男性では「できない」の割合が高く、どの年代でも女性と比較して「できるけどしていない」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。



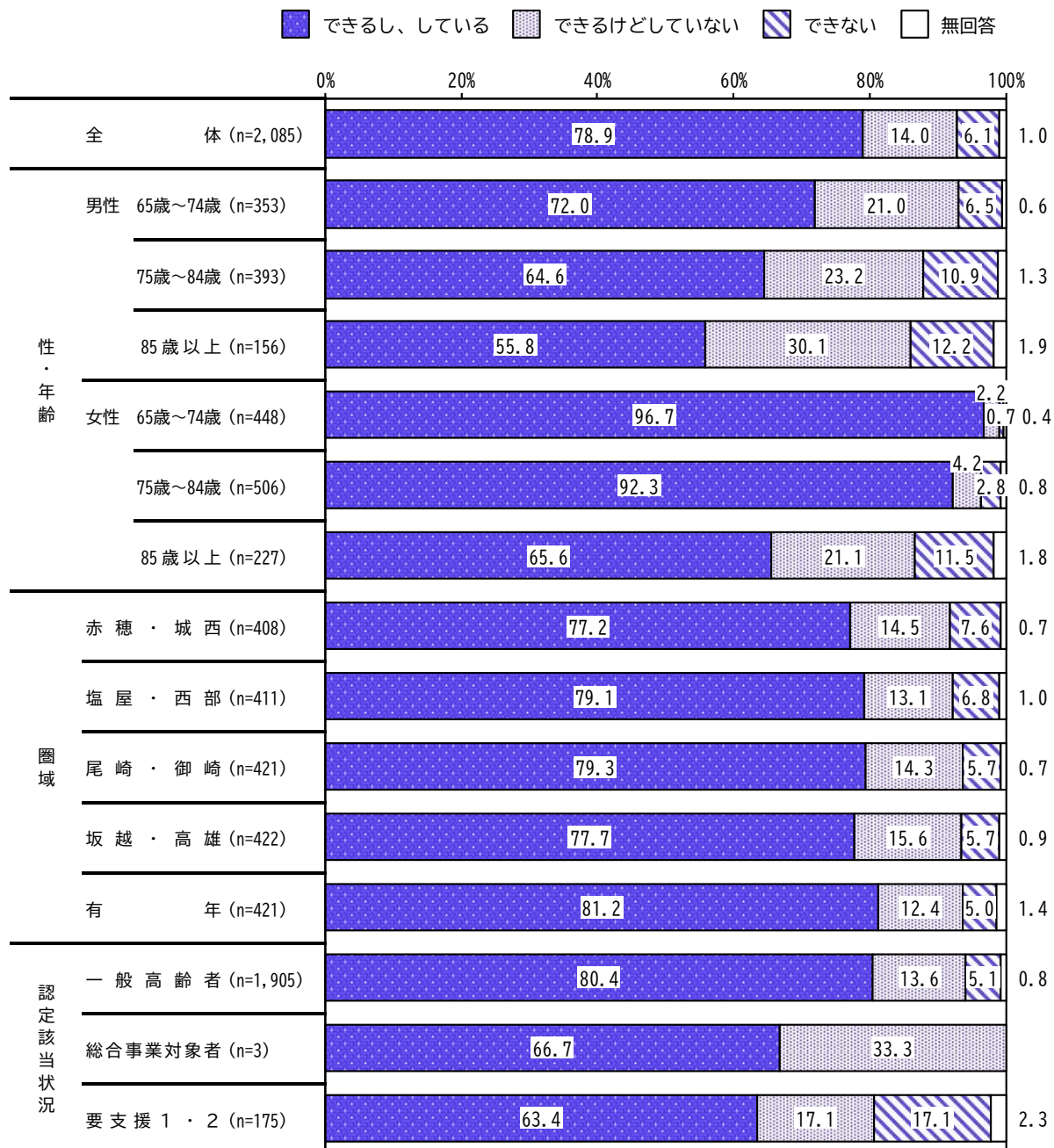
問 35 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つだけ○）

「できるし、している」が78.9%、「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が6.1%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。



問 36 生きがいがありますか（１つだけ○）

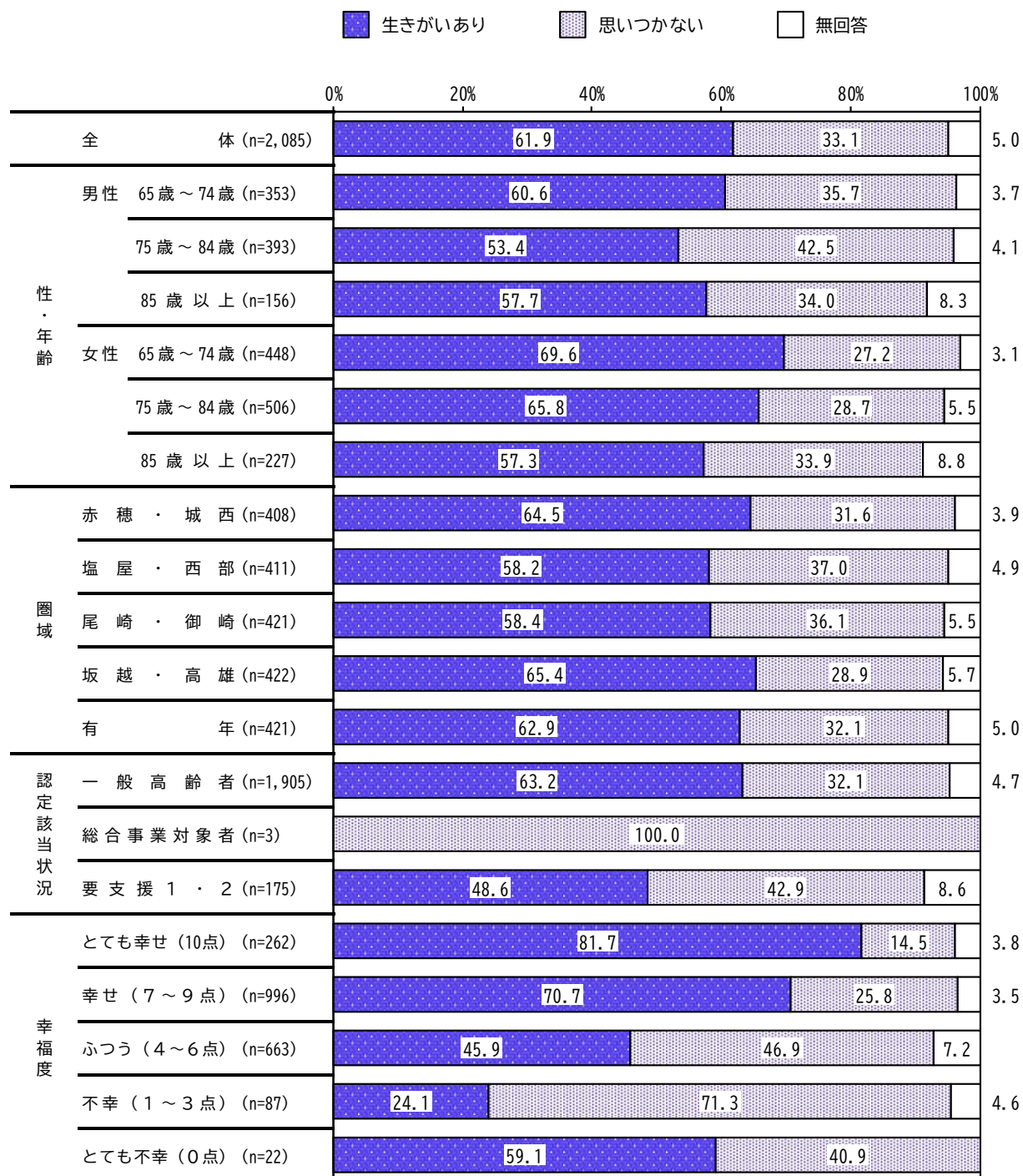
「生きがいあり」が 61.9%、「思いつかない」が 33.1%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「思いつかない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「生きがいあり」の割合が高くなっています。

幸福度別にみると、とても幸せ（10 点）から不幸（１～３点）まで幸福度が下がるほど「思いつかない」の割合が高くなっています。

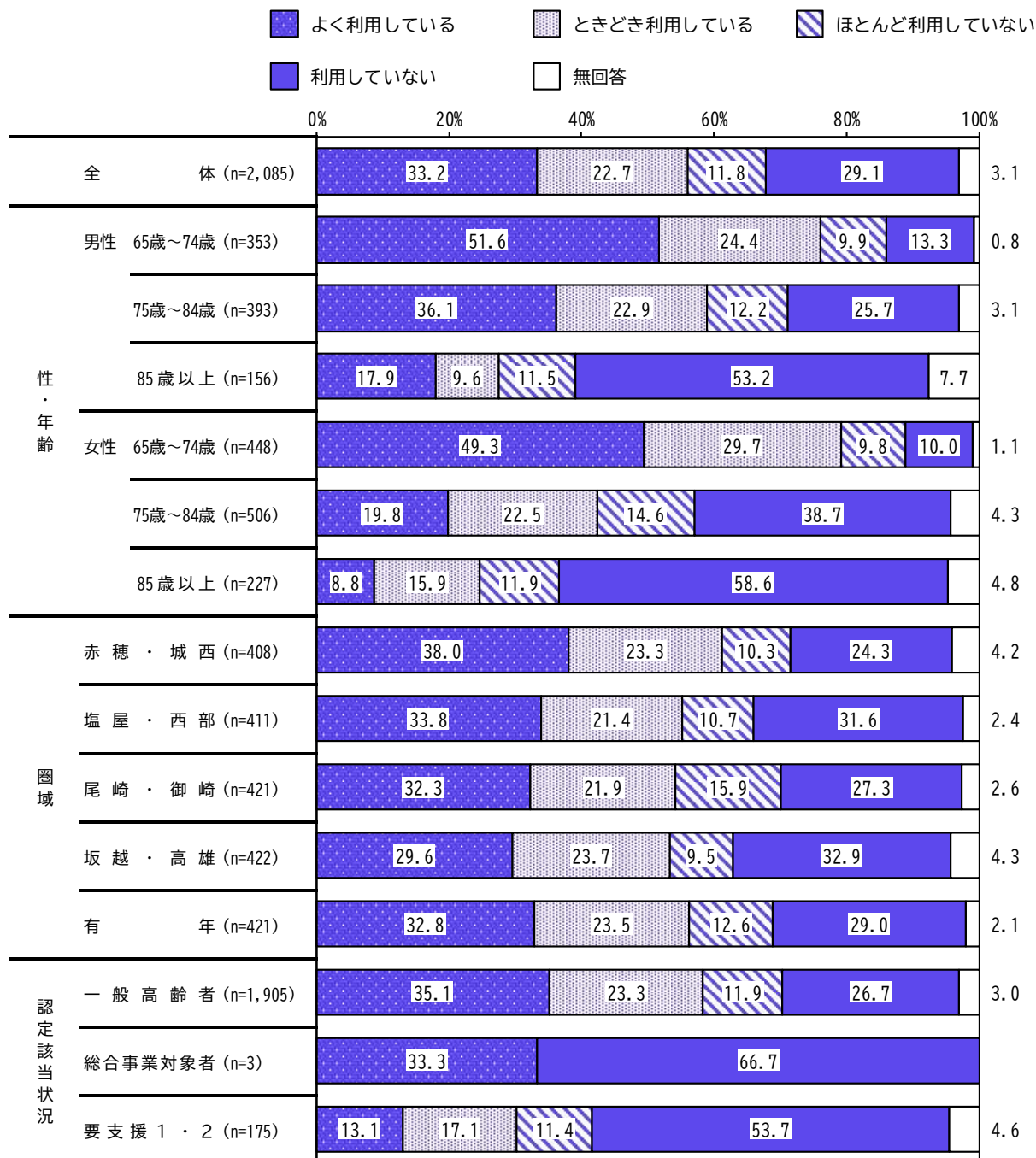


問 37 普段からパソコンやスマホを使って、知りたい情報を集めたり、買い物などをしたりしていますか（1つだけ○）

「よく利用している」「ときどき利用している」を合わせた“利用している”が 55.9%、「ほとんど利用していない」「利用していない」を合わせた“利用していない”が 40.9%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“利用していない”の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、男女とも 65 歳～74 歳で「よく利用している」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、赤穂・城西で“利用している”の割合が高くなっています。認定該当状況別にみると、一般高齢者で“利用している”の割合が高くなっています。

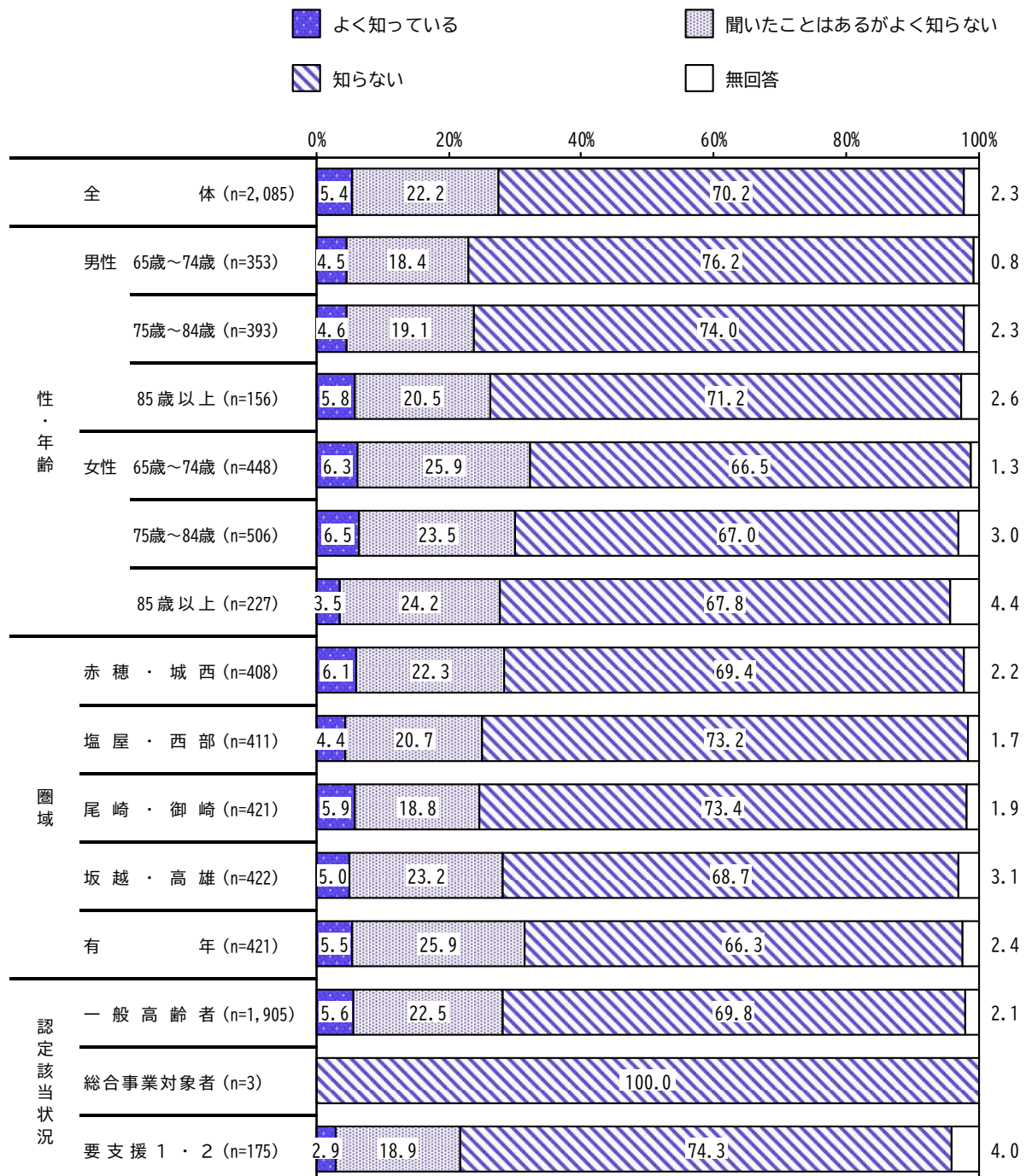


問 38 あなたは、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>） について、知っていますか（1つだけ○）

「よく知っている」が5.4%、「聞いたことはあるがよく知らない」が22.2%、「知らない」が70.2%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。

圏域別、認定該当状況別では、大きな差はみられません。



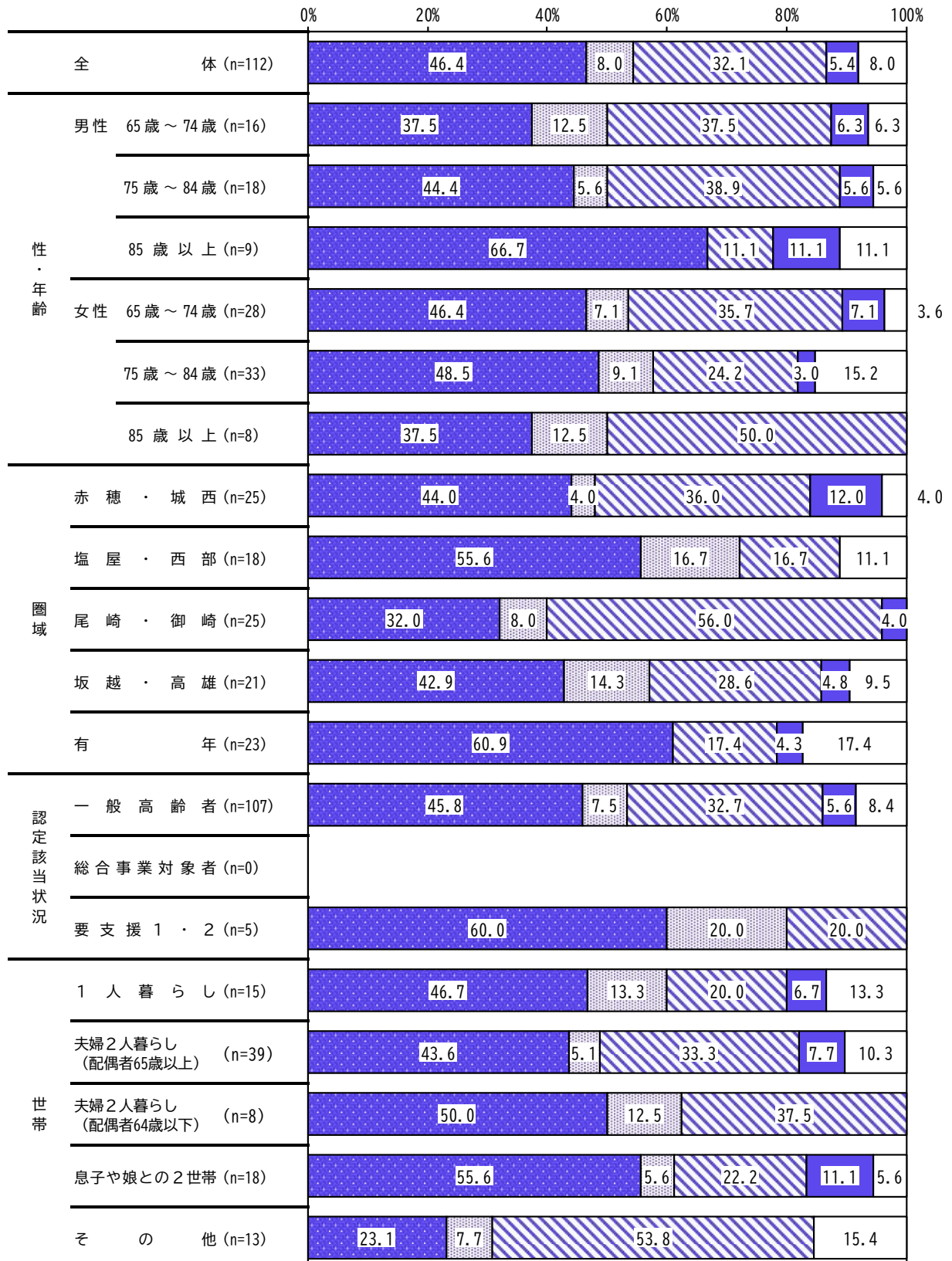
問 39 周囲の人と「もしものとき」のための話し合い（人生会議<ACP>）を実施していますか
（1つだけ○）

「時々話し合いをしている」が 46.4%と最も多く、次いで「必要性は感じるが、まだ話し合ったことはない」が 32.1%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「時々話し合いをしている」の割合が高く、女性では「以前話し合いをしたことがある」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「時々話し合いをしている」、尾崎・御崎で「必要性は感じるが、まだ話し合ったことはない」の割合が高くなっています。

- 時々話し合いをしている
- 以前話し合いをしたことがある
- 必要性は感じるが、まだ話し合ったことはない
- 話し合いはしていない、又は必要性を感じない
- 無回答



5 地域での活動について

問 40 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか①～⑧それぞれの、あてはまる番号に1つだけ○をしてください

『⑧ 収入のある仕事』で「週4回以上」が、『② スポーツ関係のグループやクラブ』で「週2～3回」が、『⑤ 介護予防のための通いの場（いきいき百歳体操／ふれあい・いきいきサロンなど）』で「週1回」が、『③ 趣味関係のグループ』で「月1～3回」が、『⑦ 自治会』で「年に数回」が、『⑥ 老人クラブ』で「参加していない」が高くなっています。

(%)

区 分	n	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
① ボランティアのグループ	2085	1.8	1.4	1.9	5.2	5.4	60.7	23.6
② スポーツ関係のグループやクラブ	2085	3.9	7.6	5.0	5.6	2.6	54.9	20.4
③ 趣味関係のグループ	2085	1.8	3.8	5.1	11.2	4.4	53.0	20.7
④ 学習・教養サークル	2085	0.9	1.4	1.3	6.8	2.9	62.2	24.6
⑤ 介護予防のための通いの場 （いきいき百歳体操／ふれあい・いきいきサロンなど）	2085	1.8	2.5	5.9	5.0	1.6	62.6	20.5
⑥ 老人クラブ	2085	0.9	1.5	1.4	3.1	3.4	66.2	23.4
⑦ 自治会	2085	1.1	1.2	0.9	6.3	28.4	42.4	19.7
⑧ 収入のある仕事	2085	9.3	4.9	1.7	2.8	2.6	56.5	22.2

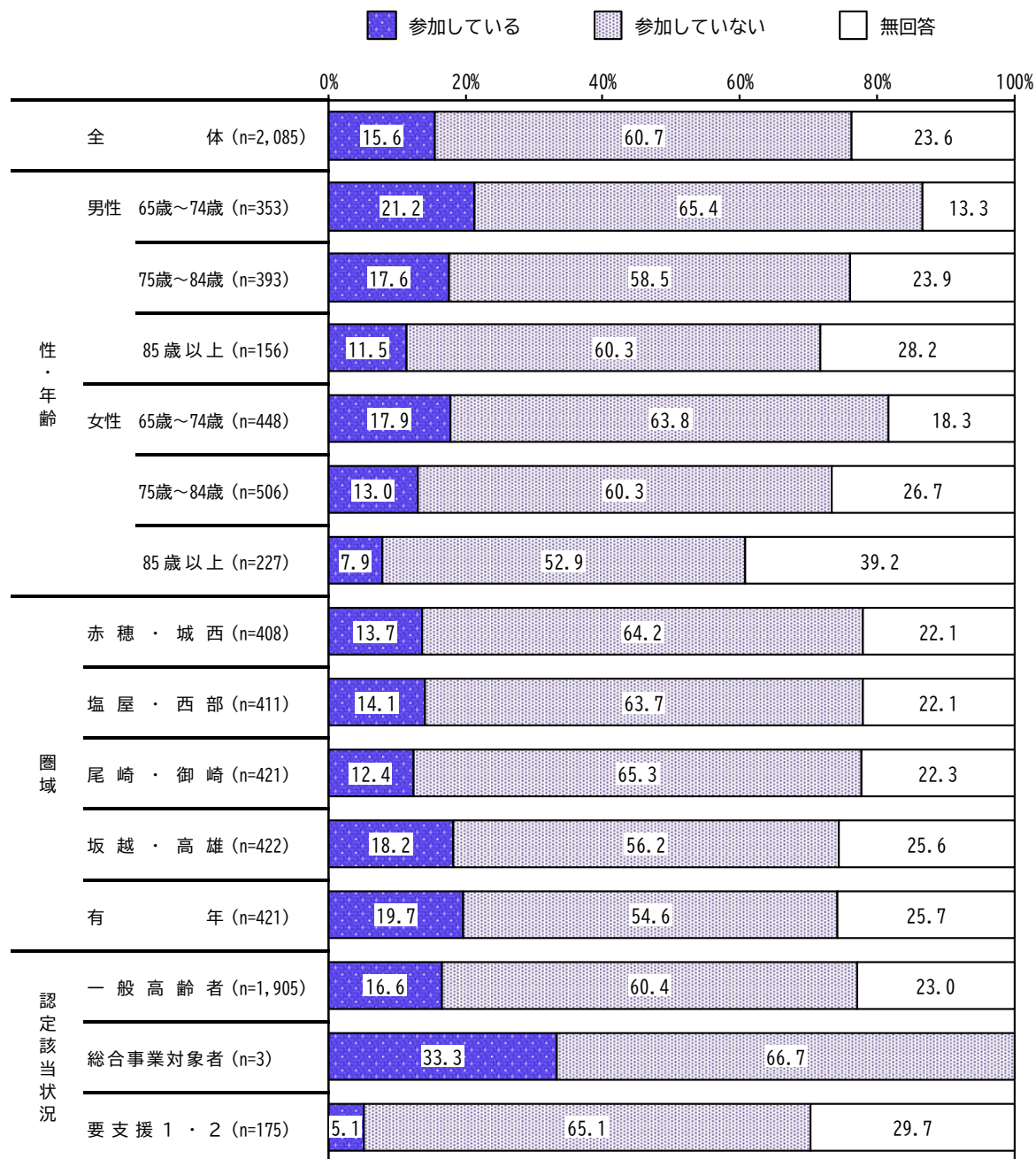
① ボランティアのグループ

「参加している」が15.6%、「参加していない」が60.7%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加している」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄、有年で「参加している」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。



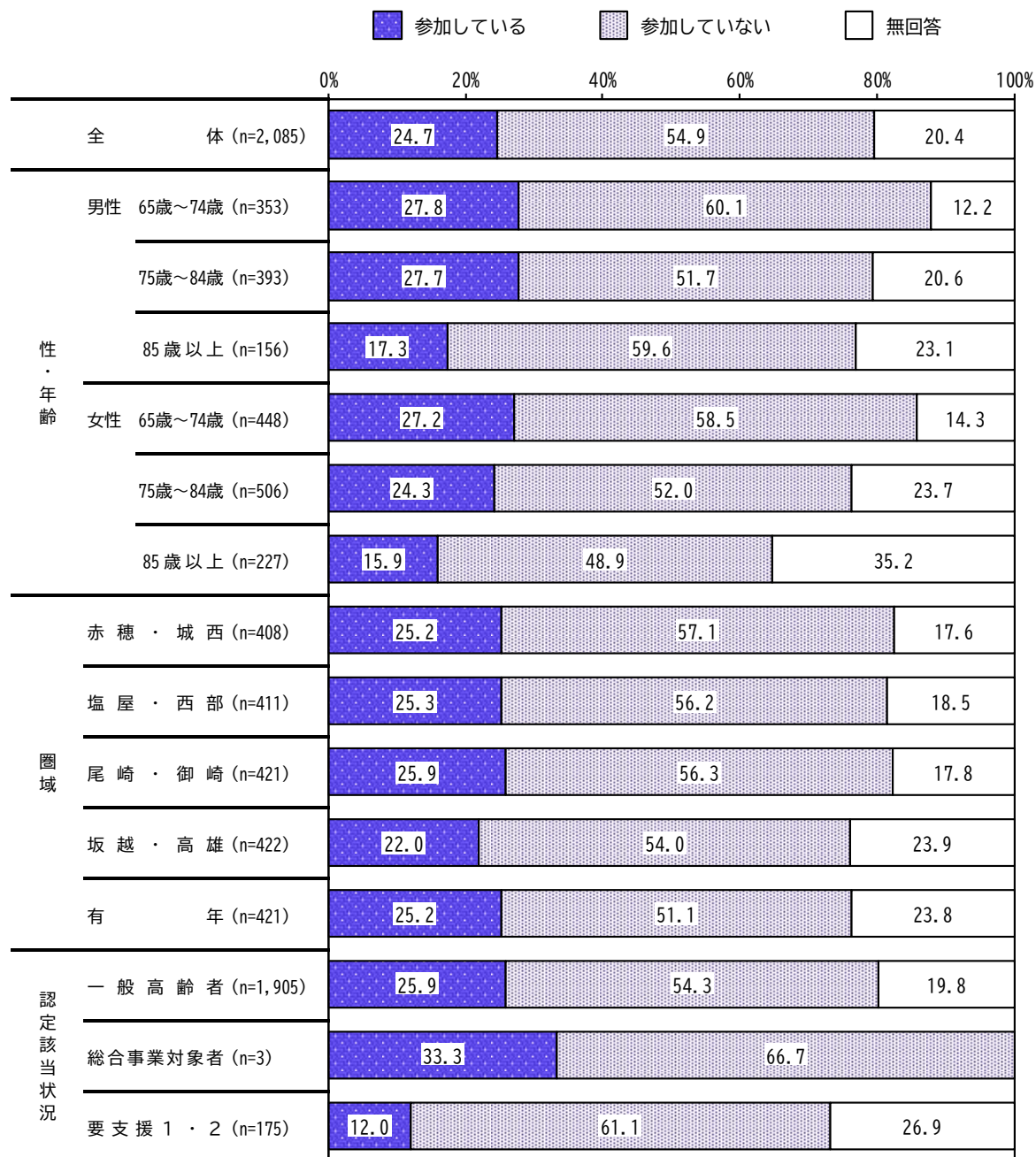
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加している」が24.7%、「参加していない」が54.9%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど、「参加している」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。

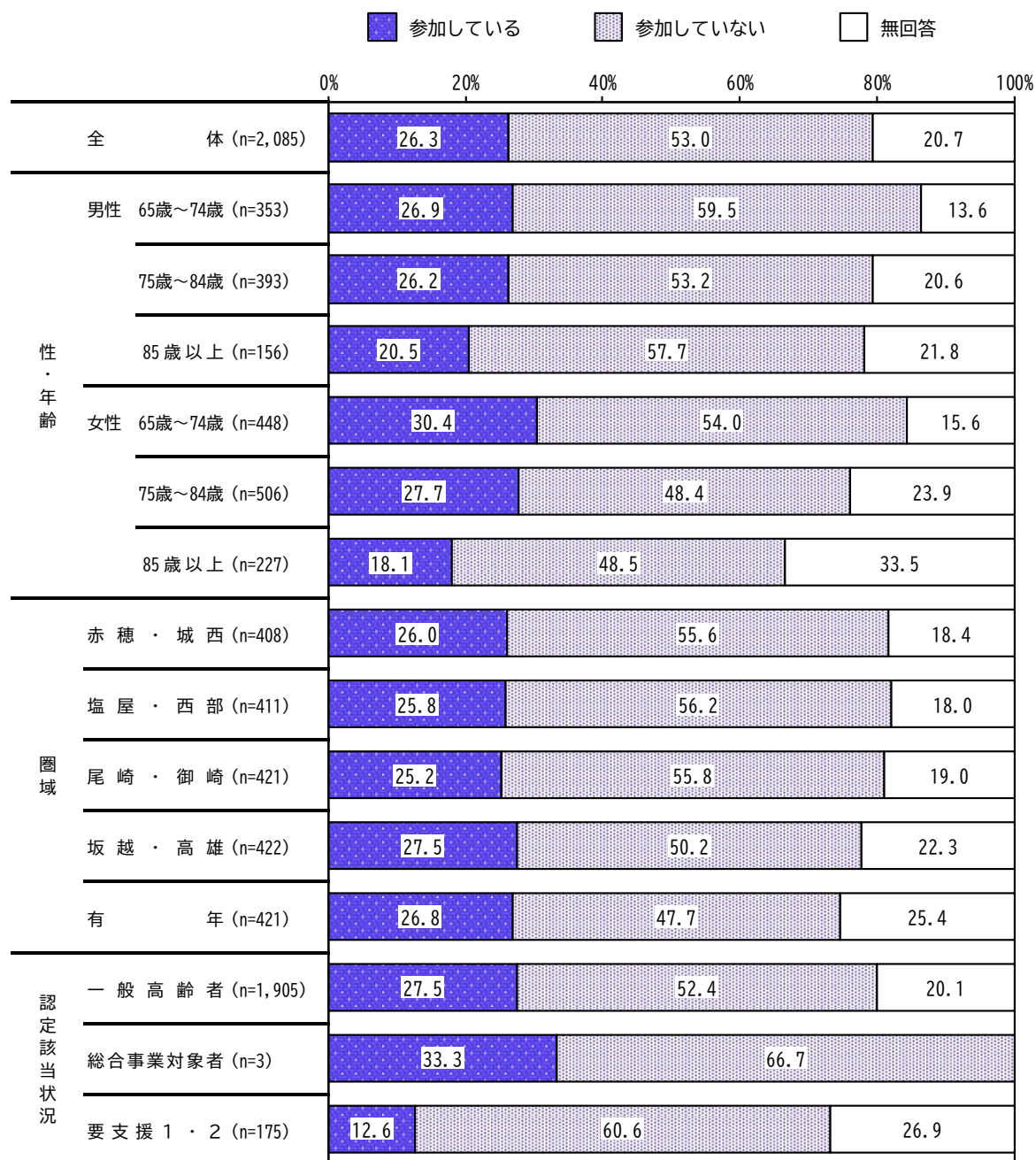


③ 趣味関係のグループ

「参加している」が26.3%、「参加していない」が53.0%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加している」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。

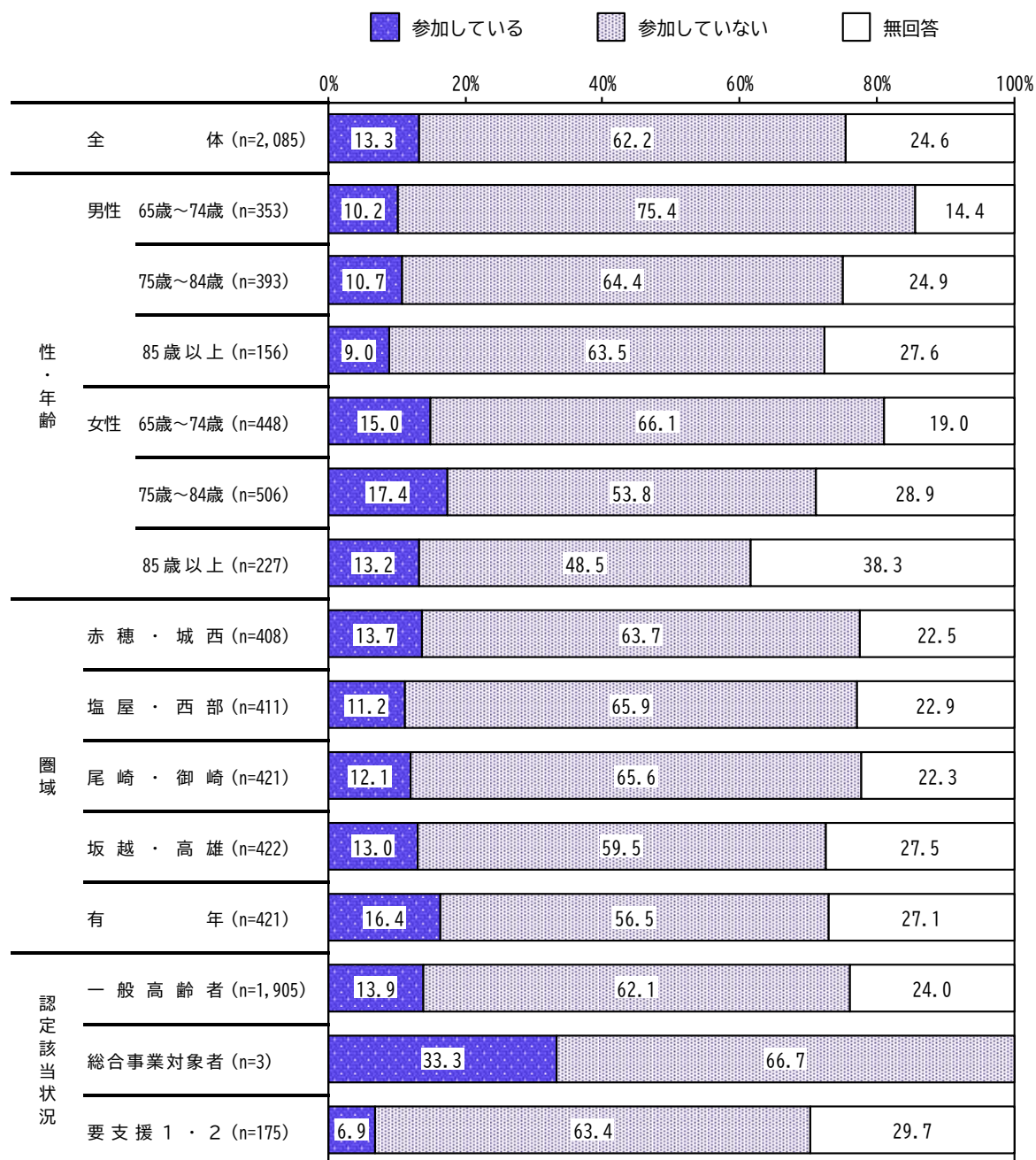


④ 学習・教養サークル

「参加している」が13.3%、「参加していない」が62.2%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。



⑤ 介護予防のための通いの場（いきいき百歳体操／ふれあい・いきいきサロンなど）

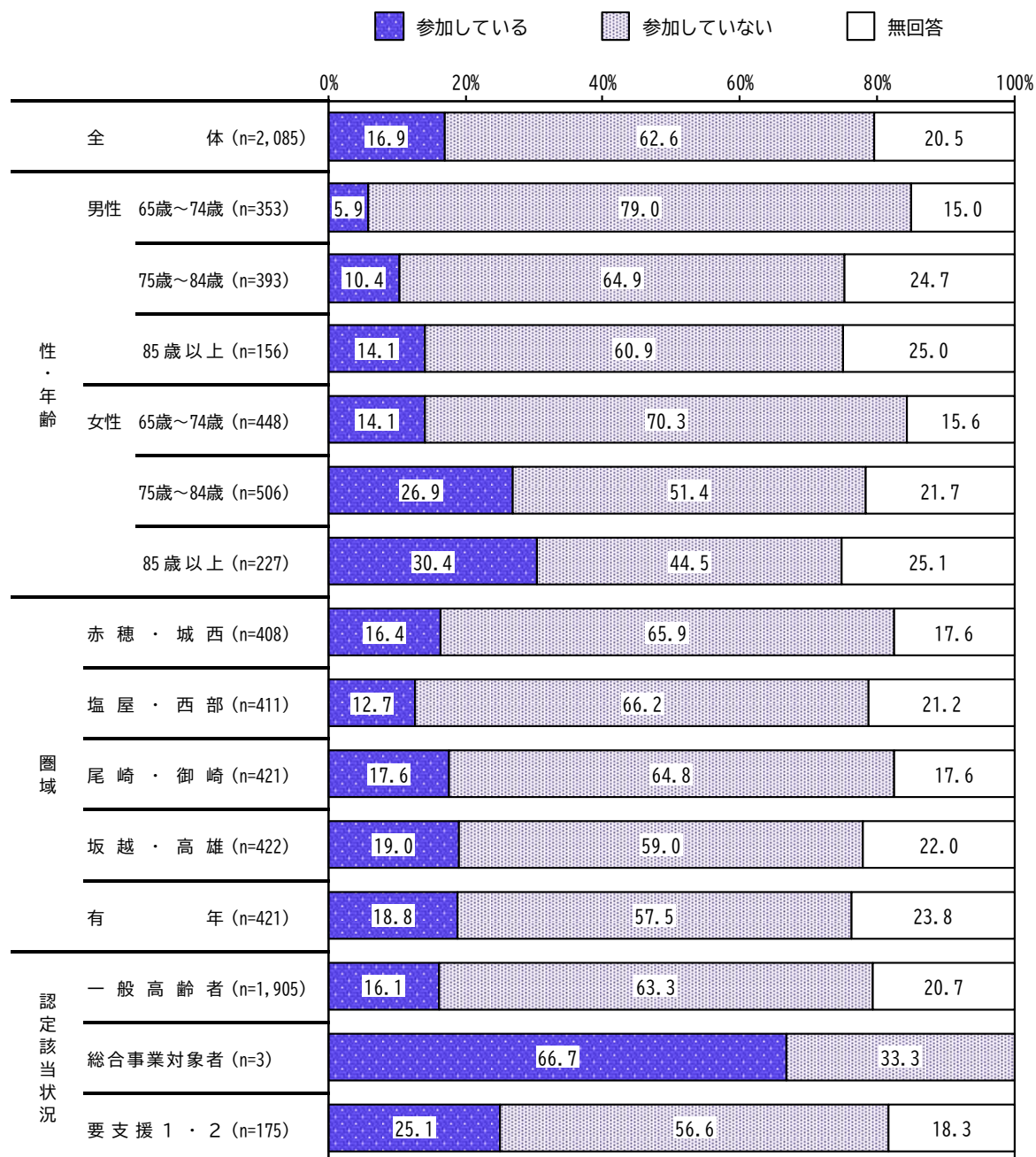
「参加している」が16.9%、「参加していない」が62.6%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「参加している」の割合が高くなっています。

他の性・年齢に比べ、男性 65歳～74歳で「参加していない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、塩屋・西部で「参加している」の割合が低くなっています。

認定該当状況別にみると、要支援1・2で「参加している」の割合が高くなっています。



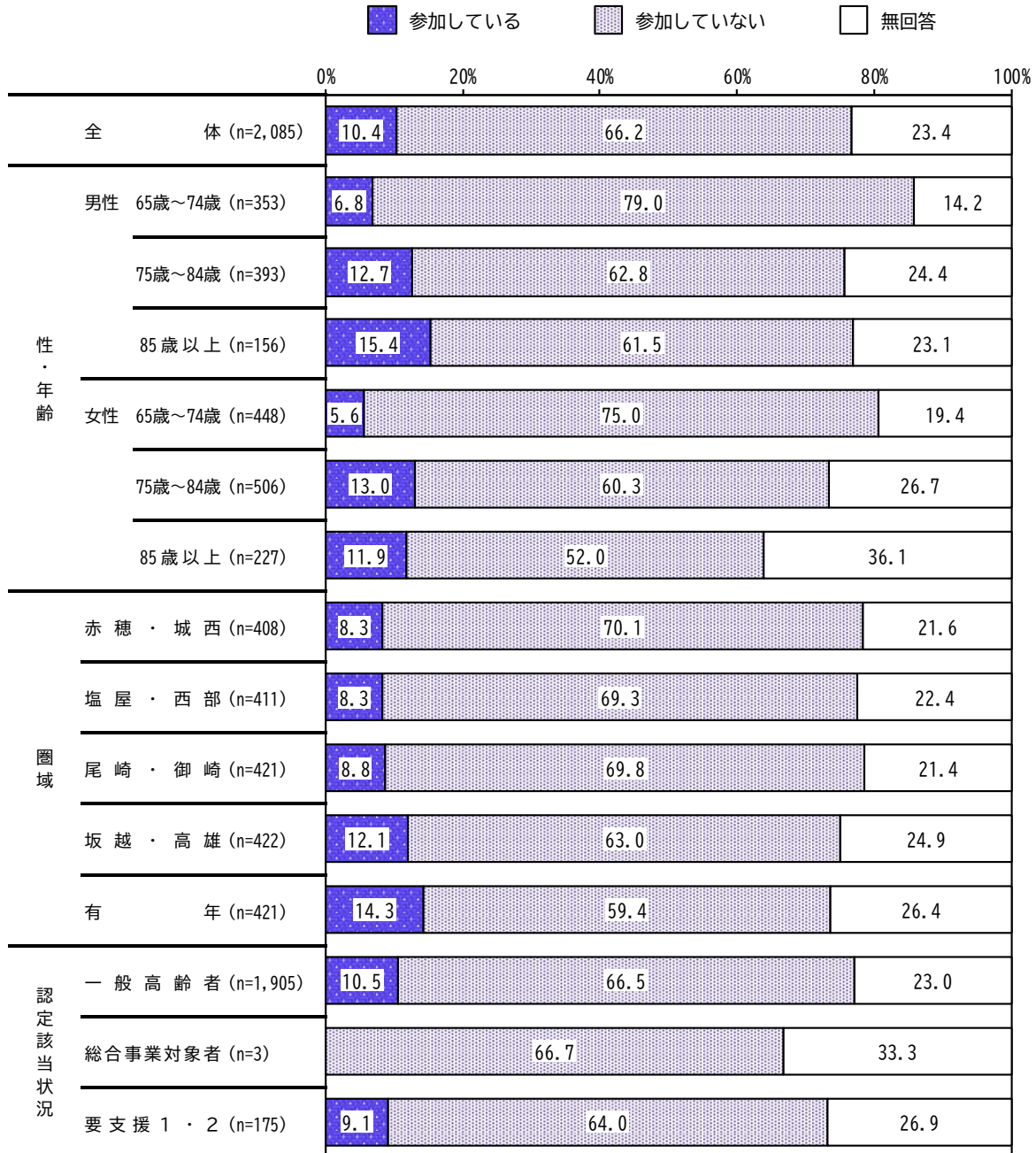
⑥ 老人クラブ

「参加している」が10.4%、「参加していない」が66.2%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「参加している」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「参加している」の割合が高くなっています。

認定該当状況別では、大きな差はみられません。



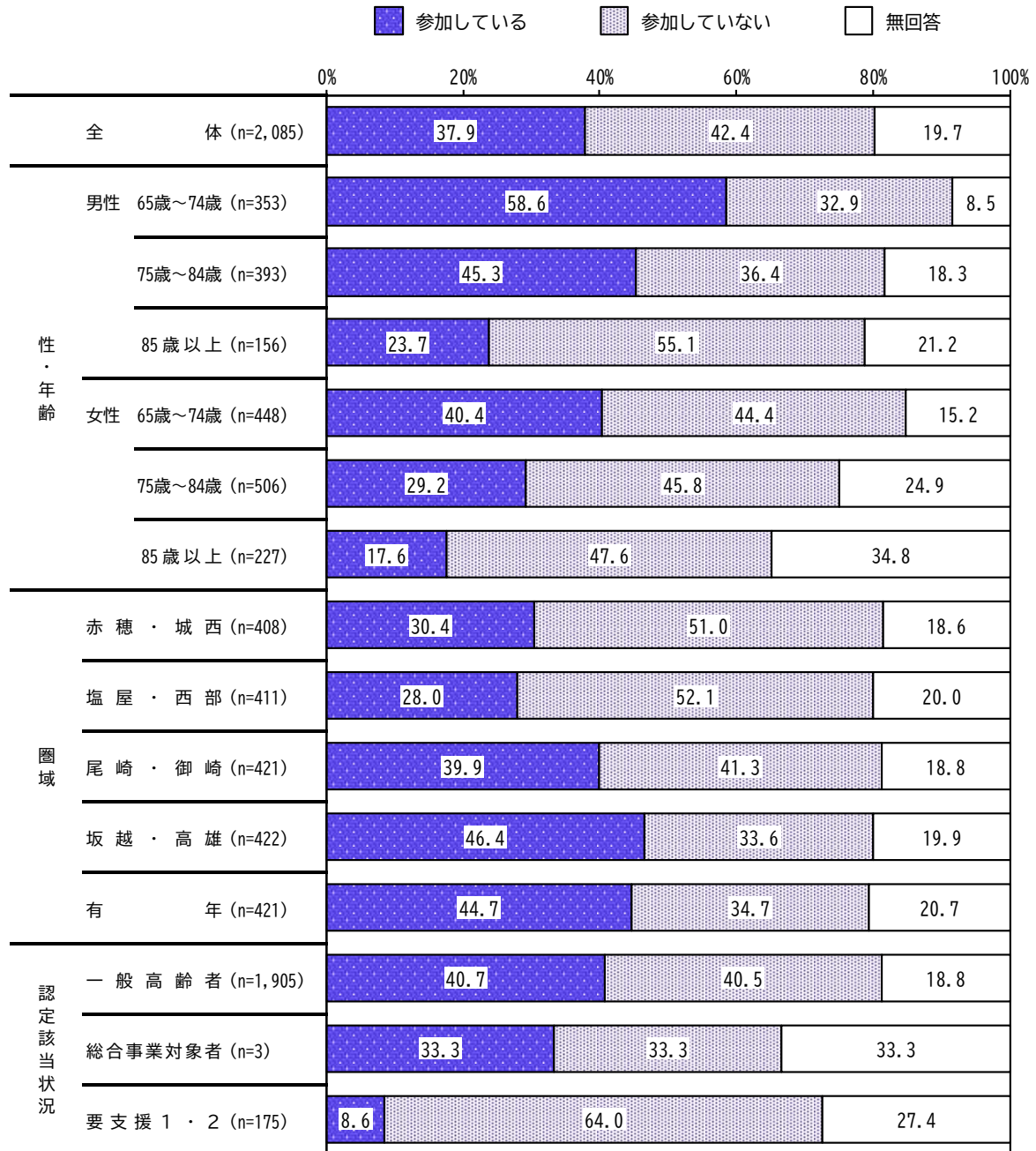
⑦ 自治会

「参加している」が37.9%、「参加していない」が42.4%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄、有年で「参加している」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。



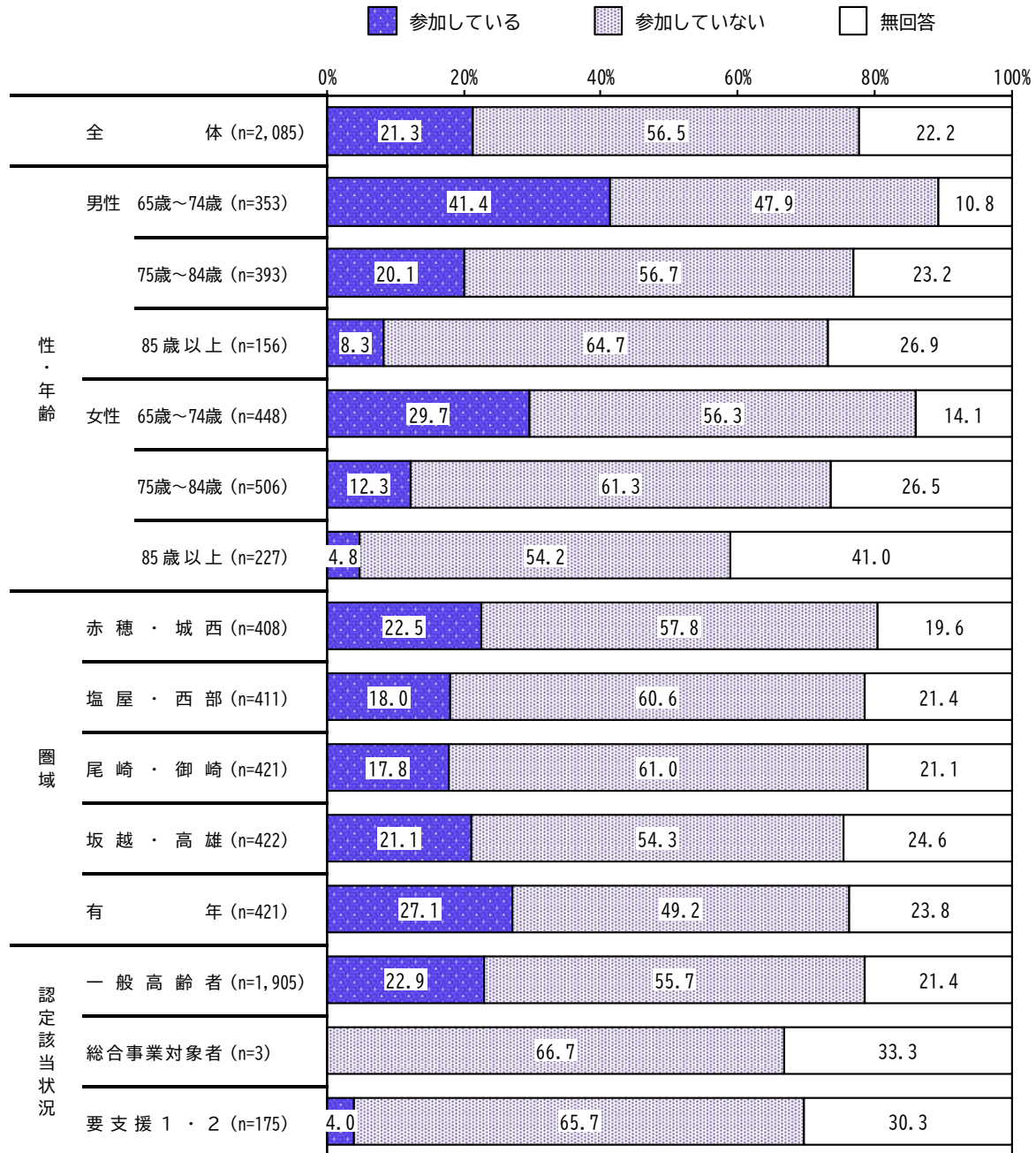
⑧ 収入のある仕事

「参加している」が21.3%、「参加していない」が56.5%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加している」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「参加している」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加している」の割合が高くなっています。



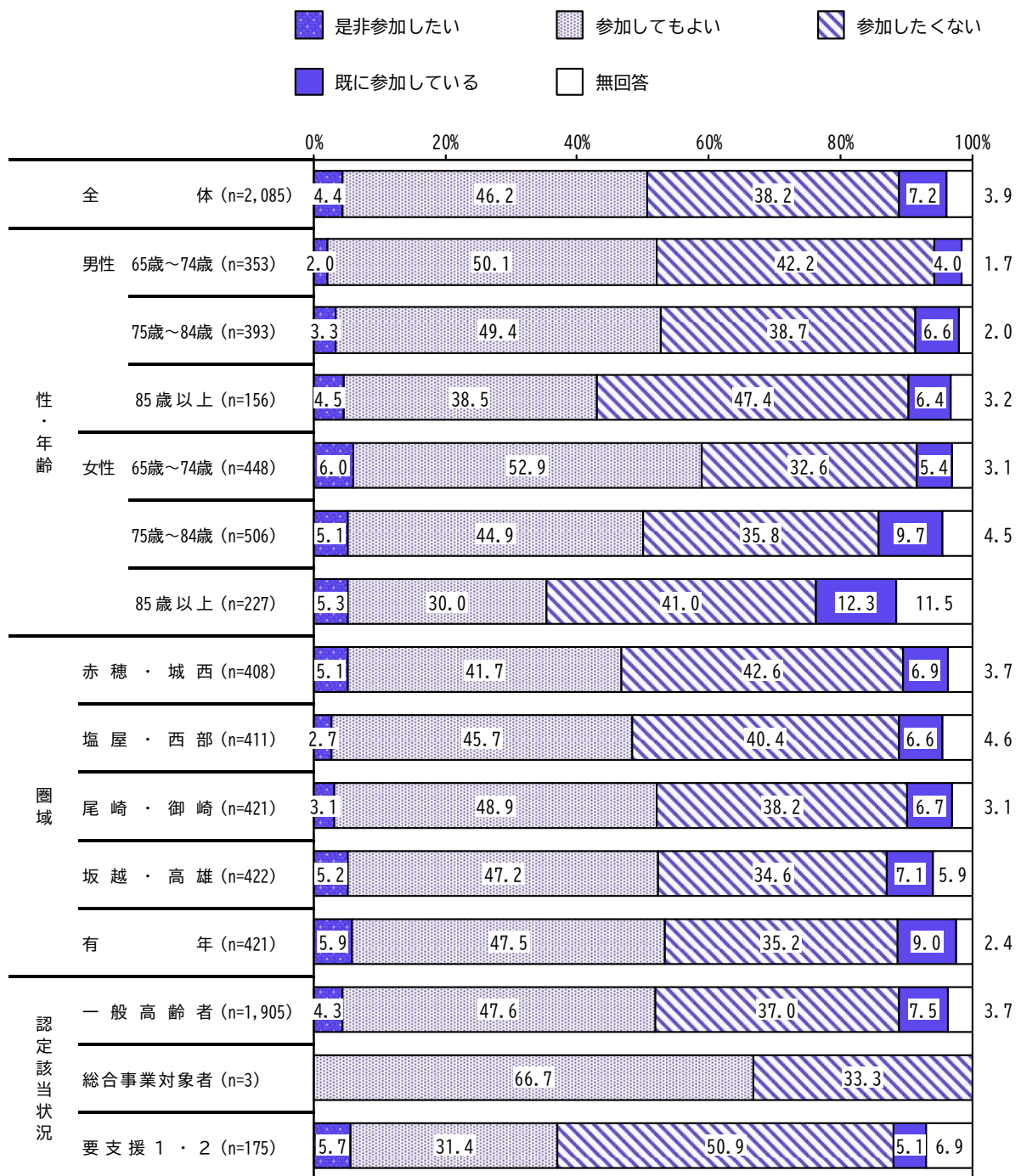
問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（１つだけ○）

「参加してもよい」が 46.2%と最も多く、次いで「参加したくない」が 38.2%、「既に参加している」が 7.2%となっています。

性・年齢別にみると、男女とも年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高く、要支援１・２で「参加したくない」の割合が高くなっています。



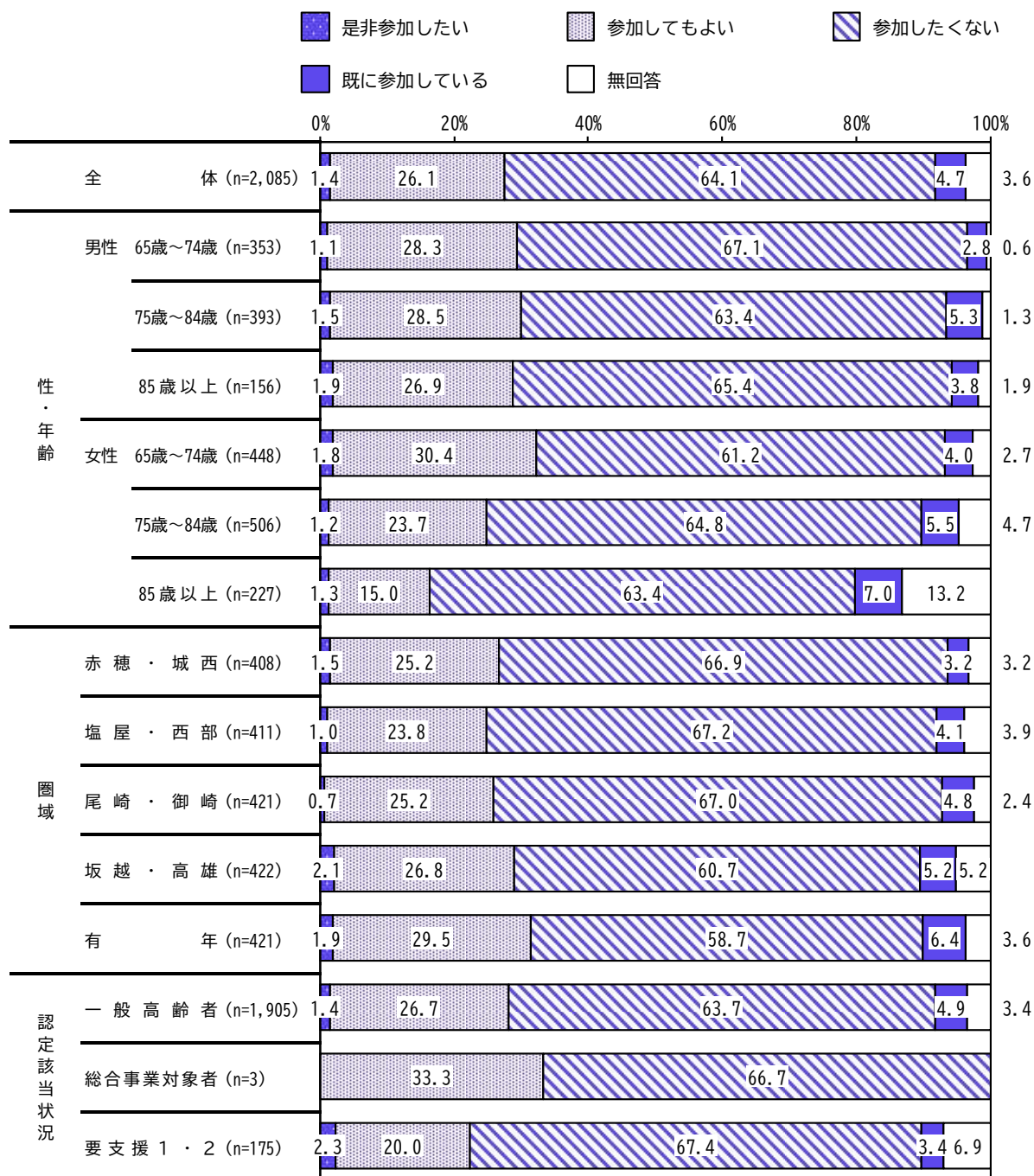
問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つだけ○）

「参加したくない」が 64.1%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 26.1%、「既に参加している」が 4.7%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「参加したくない」の割合が低くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。



6 就労について

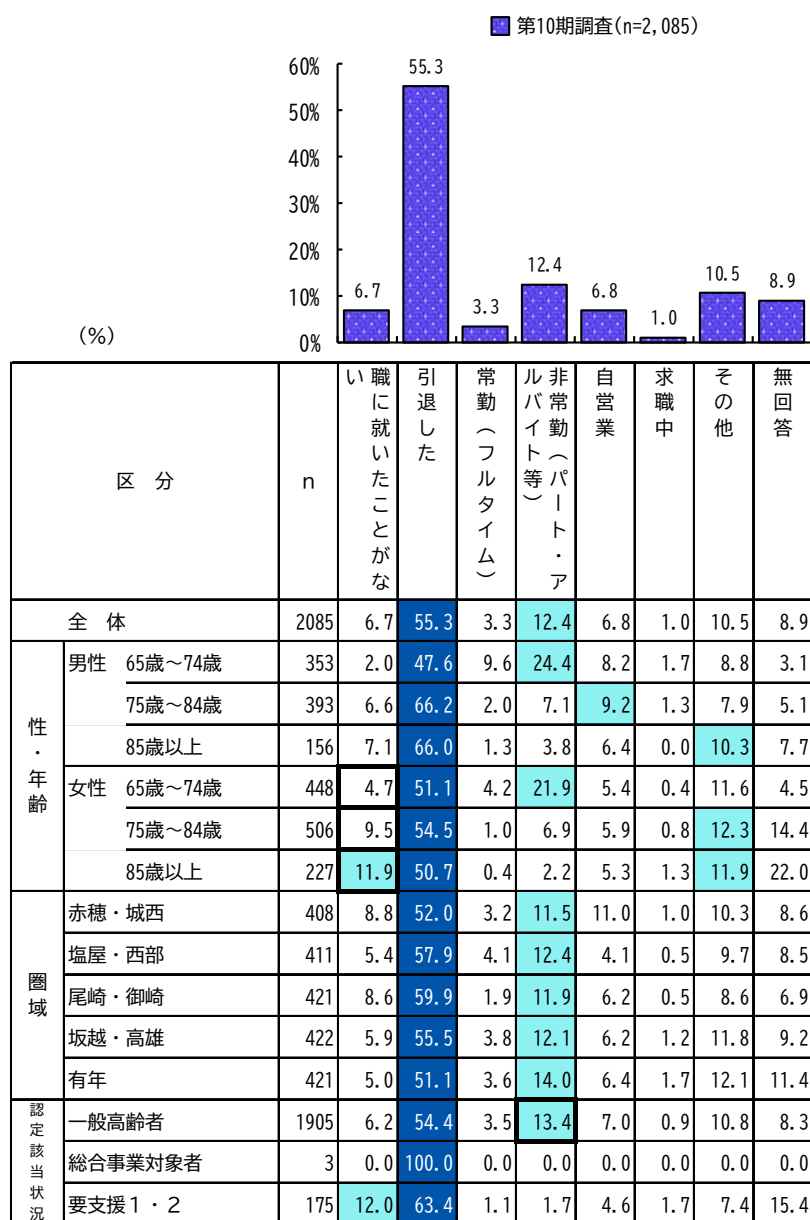
問 43 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

「引退した」が55.3%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が12.4%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「職に就いたことがない」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が高くなっています。



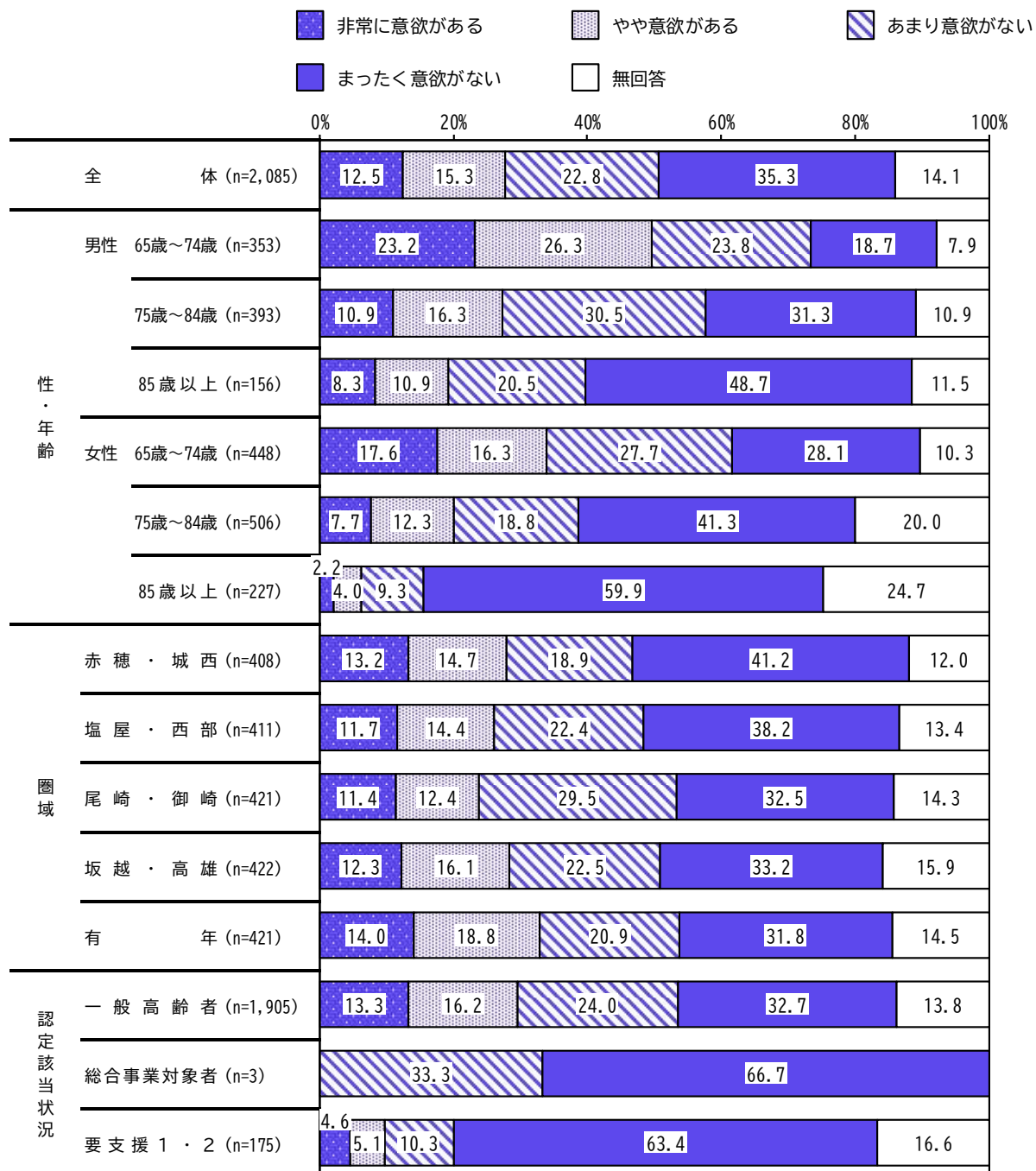
問 44 あなたは今後も働く意欲がありますか （1つだけ○）

「非常に意欲がある」「やや意欲がある」を合わせた“意欲がある”が27.8%、「あまり意欲がない」「まったく意欲がない」を合わせた“意欲がない”が58.1%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“意欲がない”の割合が高くなっています。また、他の性・年齢に比べ、男性 65歳～74歳で「非常に意欲がある」「やや意欲がある」、女性 85歳以上で「まったく意欲がない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で“意欲がある”の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で“意欲がある”の割合が高くなっています。



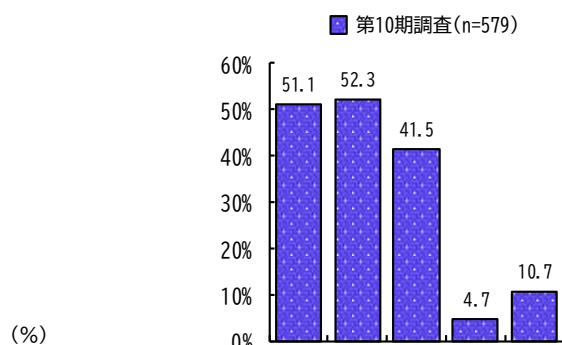
問 45 今後も働きたい理由は何ですか (いくつでも)

「生活費などの経済的理由」が 51.1%、「健康維持のため」が 52.3%、「社会とのつながりや生きがい」が 41.5%となっています。

性・年齢別にみると、男女とも 65 歳～74 歳で「生活費などの経済的理由」が最も多く、女性の 65 歳～74 歳、75 歳～84 歳で「社会とのつながりや生きがい」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、赤穂・城西で「生活費などの経済的理由」、坂越・高雄で「社会とのつながりや生きがい」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「生活費などの経済的理由」「健康維持のため」「社会とのつながりや生きがい」の割合が高くなっています。



区 分			n	理 由 生 活 費 な ど の 経 済 的	健 康 維 持 の た め	生 活 と の つ な が り や 生 き が い	そ の 他	無 回 答
全 体			579	51.1	52.3	41.5	4.7	10.7
性・年齢	男性	65歳～74歳	175	72.0	59.4	42.3	3.4	2.9
		75歳～84歳	107	33.6	59.8	32.7	4.7	11.2
		85歳以上	30	26.7	53.3	33.3	6.7	26.7
	女性	65歳～74歳	152	53.9	49.3	50.0	6.6	8.6
		75歳～84歳	101	39.6	37.6	42.6	4.0	17.8
		85歳以上	14	28.6	42.9	14.3	0.0	42.9
圏域	赤穂・城西		114	57.9	51.8	35.1	3.5	9.6
	塩屋・西部		107	55.1	50.5	44.9	5.6	5.6
	尾崎・御崎		100	50.0	52.0	43.0	1.0	14.0
	坂越・高雄		120	43.3	50.8	48.3	3.3	12.5
	有年		138	50.0	55.8	37.0	8.7	11.6
認定該当状況	一般高齢者		562	51.4	53.0	42.0	4.8	10.1
	総合事業対象者		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2		17	41.2	29.4	23.5	0.0	29.4

7 たすけあいについて

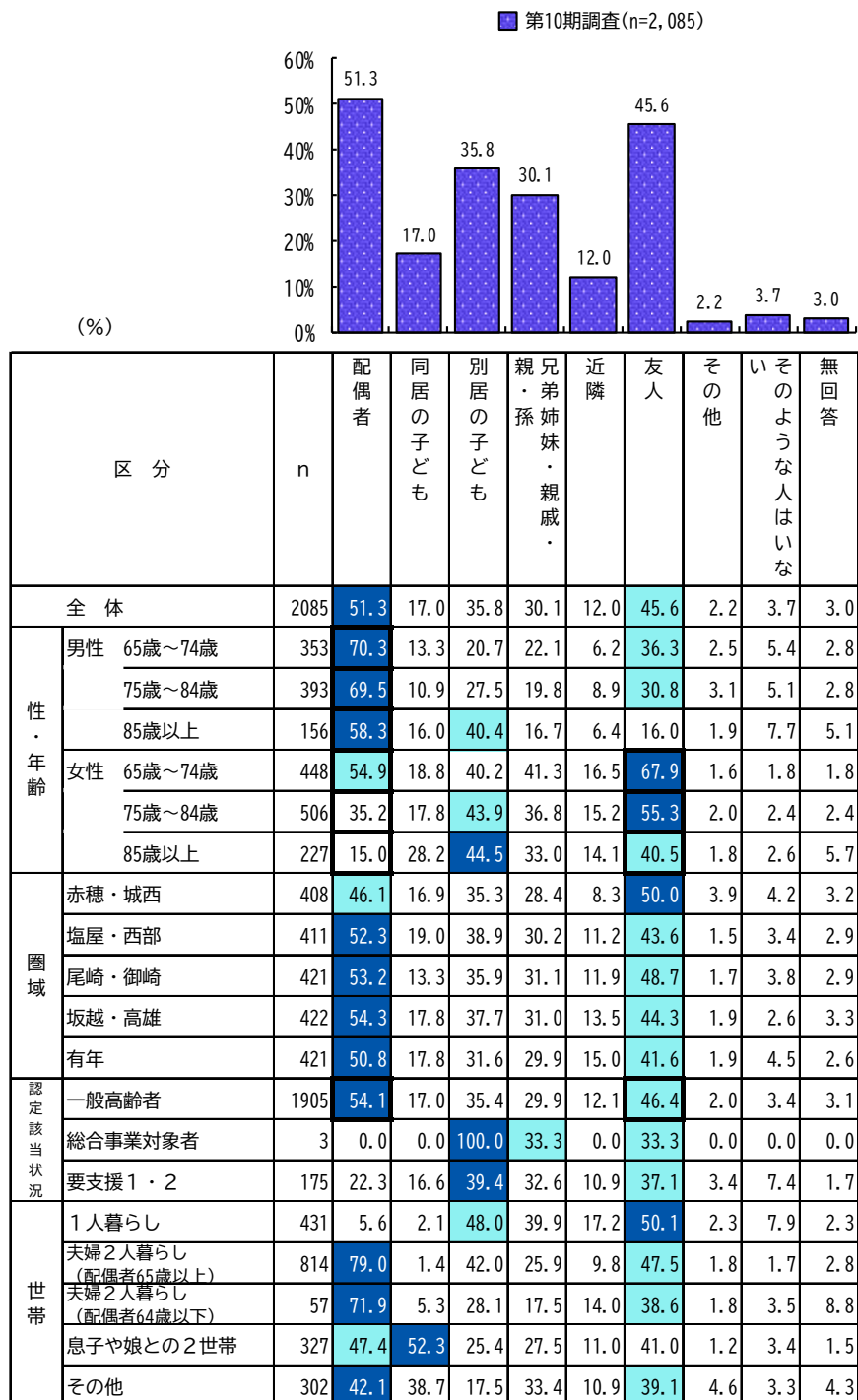
問 46 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が 51.3%と最も多く、次いで「友人」が 45.6%、「別居の子ども」が 35.8%となっています。

どの年齢においても、男性では女性に比べて「配偶者」が多く他の項目が少なくなっています。一方で、女性は男性に比べて「配偶者」が少なく身内以外にも「友人」が多くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。



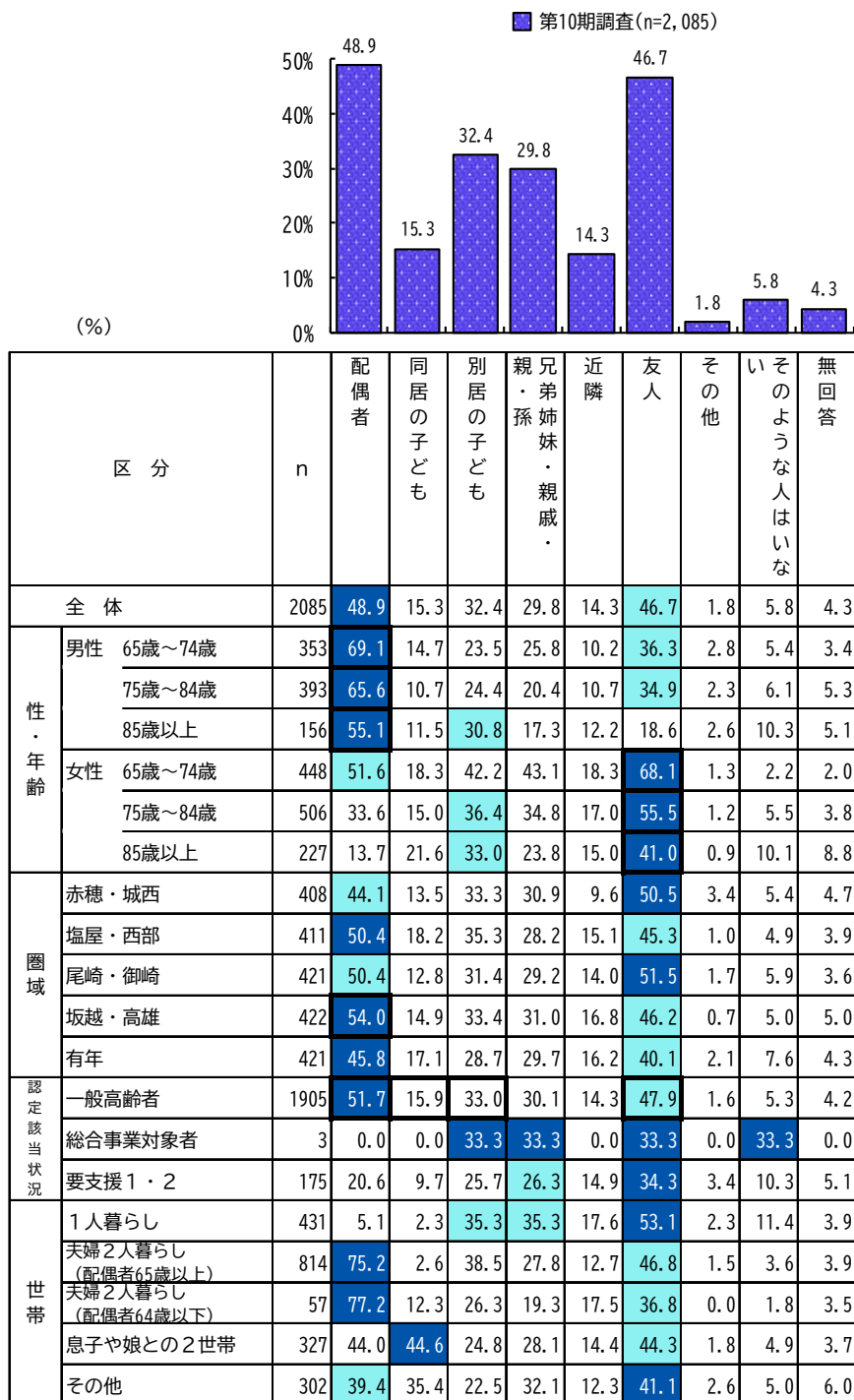
問 47 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」が48.9%と最も多く、次いで「友人」が46.7%、「別居の子ども」が32.4%となっています。

どの年齢においても、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も多くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄で「配偶者」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「友人」の割合が高くなっています。



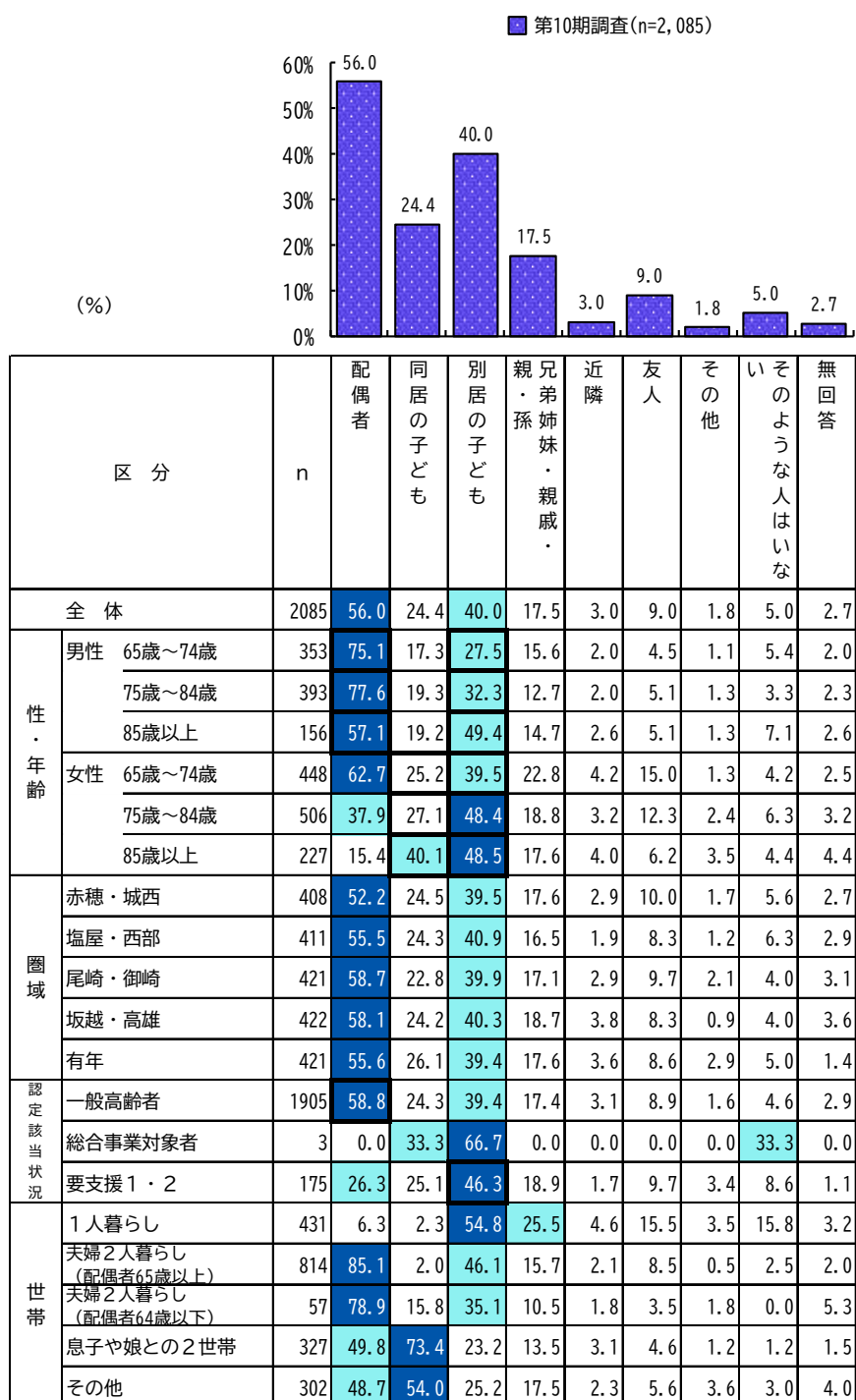
問 48 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が 56.0%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 40.0%、「同居の子ども」が 24.4%となっています。

性・年齢別にみると、男性ではどの年齢でも「配偶者」の割合が高く、また、年齢が上がるほど「別居の子ども」の割合が高くなっています。女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」の割合が高く、一般高齢者に比べ、要支援１・２で「別居の子ども」の割合が高くなっています。



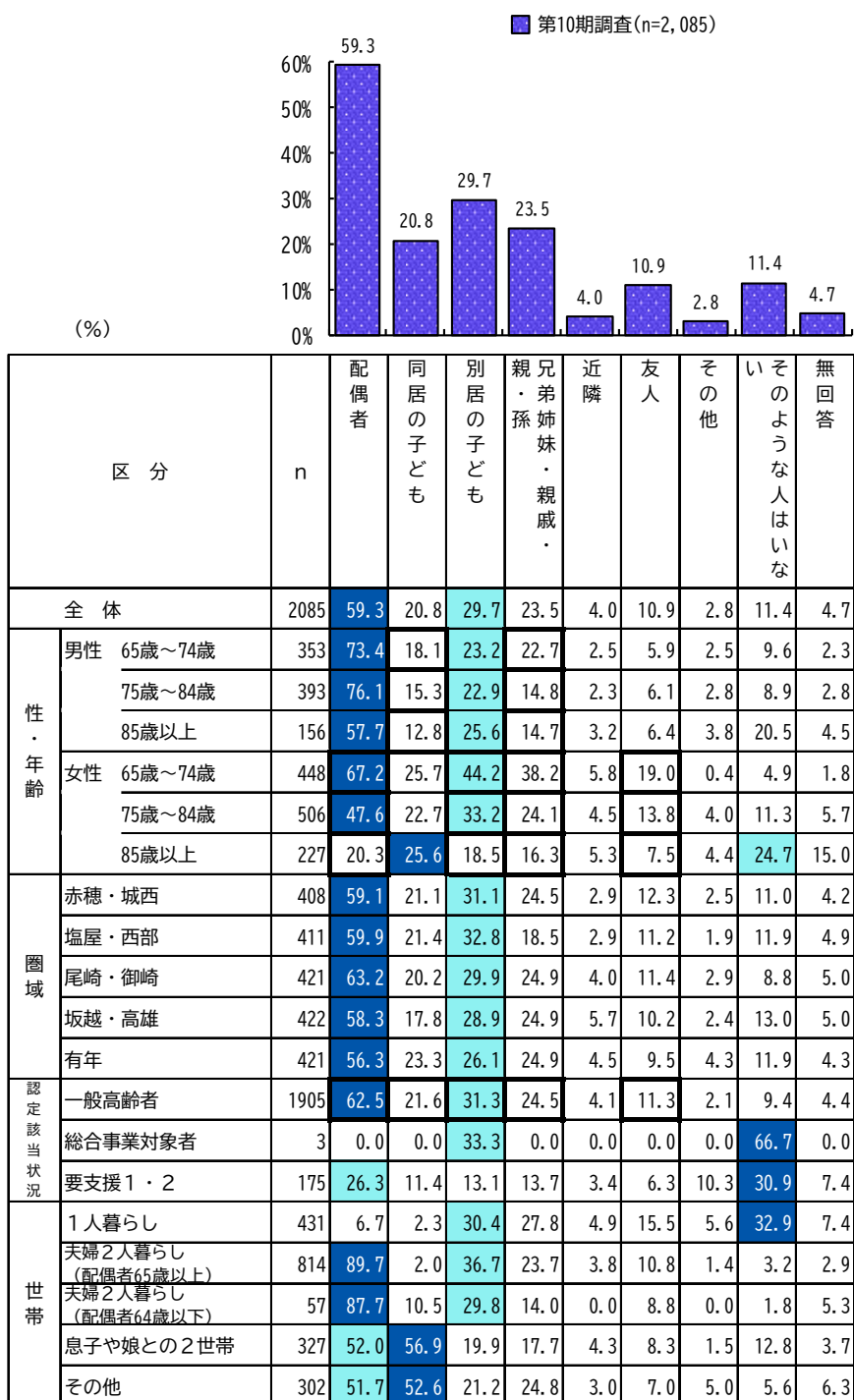
問 49 反対に、看病や世話をしあえる人（いくつでも）

「配偶者」が 59.3%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 29.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 23.5%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高く、女性では「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。



8 健康について

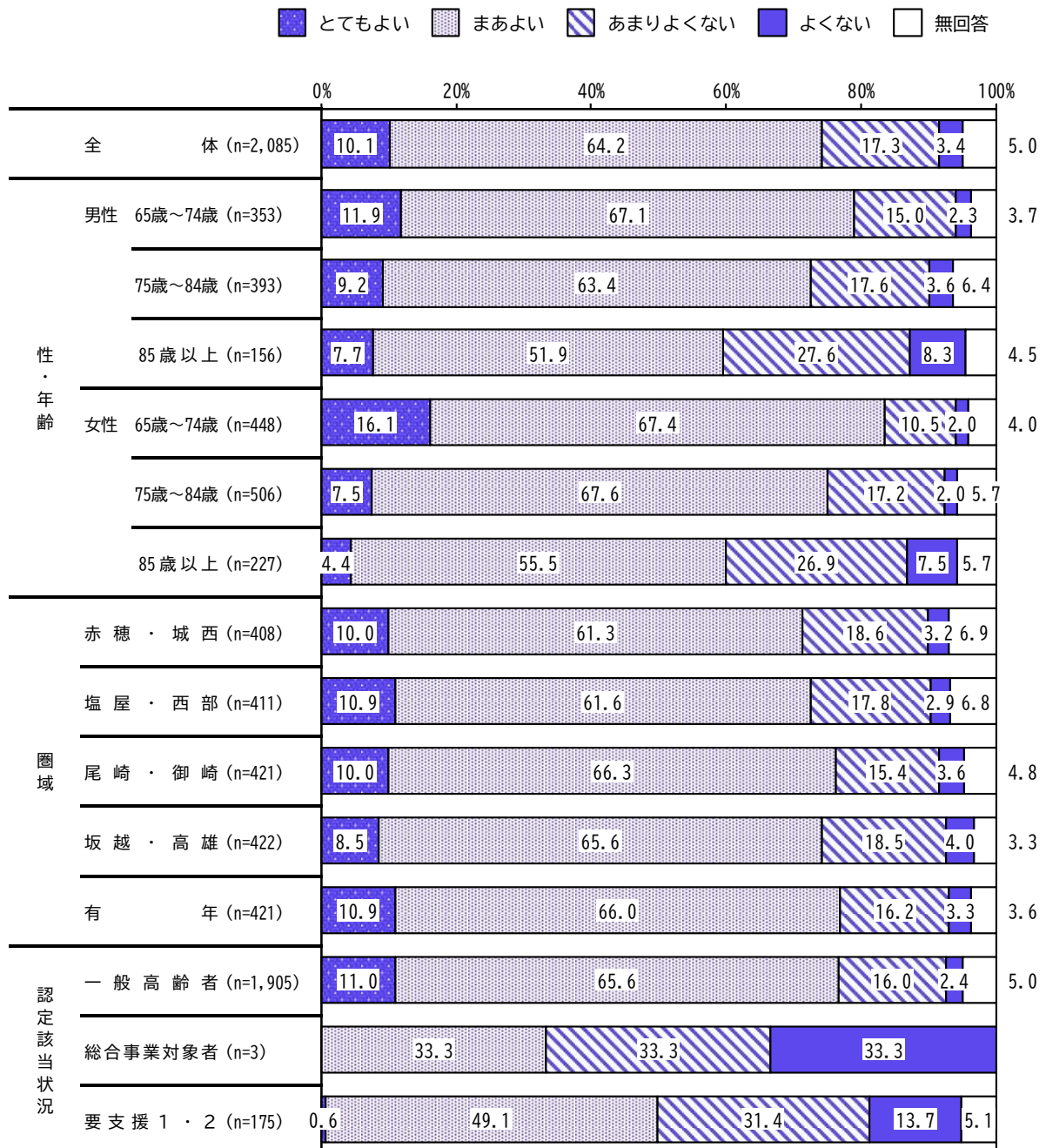
問 50 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”が74.3%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”が20.7%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“よくない”の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で“よい”の割合が高くなっています。



問 51 あなたは、現在どの程度幸せですか（1 つだけ○）

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした時、「8点」が21.3%と最も多く、次いで「5点」が18.4%、「7点」が15.1%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「7点」「9点」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「6点」の割合が高く、「9点」の割合が低くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

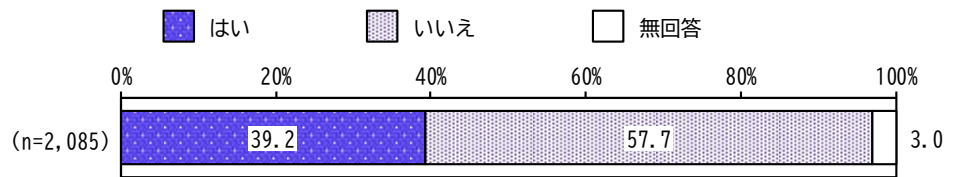
認定該当状況別にみると、一般高齢者で「8点」「9点」「10点」の割合が高く、要支援1・2で「5点」の割合が高くなっています。

(%)

区 分		n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全 体		2085	1.1	0.6	0.8	2.8	2.9	18.4	10.5	15.1	21.3	11.4	12.6	2.6
性・年齢	男性 65歳～74歳	353	1.1	0.6	0.6	3.7	3.1	19.3	10.8	16.1	16.7	12.5	12.2	3.4
	75歳～84歳	393	0.5	0.8	2.0	2.0	3.6	19.1	10.4	13.7	24.4	9.9	10.2	3.3
	85歳以上	156	0.0	0.0	1.3	3.2	2.6	25.0	16.0	10.9	21.8	6.4	12.2	0.6
	女性 65歳～74歳	448	0.4	0.2	0.2	3.1	2.7	16.5	7.6	15.8	22.1	15.2	14.1	2.0
	75歳～84歳	506	1.8	0.6	0.4	2.8	2.6	17.0	10.3	17.0	22.7	10.9	11.5	2.6
	85歳以上	227	2.2	1.8	0.4	1.8	3.1	18.5	12.3	12.3	18.5	8.8	17.2	3.1
圏域	赤穂・城西	408	1.5	0.5	1.2	2.7	2.7	19.4	13.0	14.2	21.6	8.8	12.0	2.5
	塩屋・西部	411	0.7	0.5	0.7	3.9	3.4	20.4	10.9	13.9	22.4	9.7	10.9	2.4
	尾崎・御崎	421	1.0	0.2	0.2	3.8	2.6	17.1	8.3	14.3	22.1	11.9	15.2	3.3
	坂越・高雄	422	1.4	0.2	0.7	1.4	2.4	15.9	11.8	17.5	19.4	14.0	12.6	2.6
	有年	421	0.7	1.7	1.0	2.1	3.6	19.5	8.3	15.2	21.4	12.1	12.1	2.4
認定該当状況	一般高齢者	1905	1.0	0.6	0.5	2.4	2.9	17.7	10.1	15.1	21.8	12.0	13.2	2.7
	総合事業対象者	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2	175	1.7	1.1	3.4	6.9	3.4	25.7	14.3	14.3	16.0	4.6	6.3	2.3

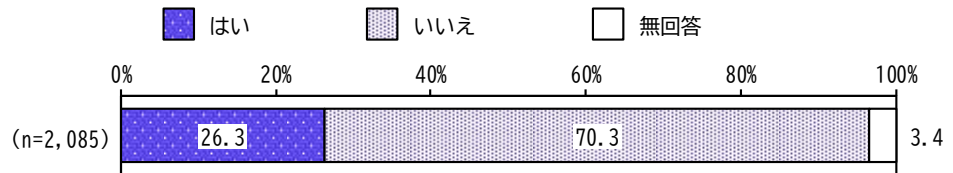
問 52 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」が39.2%、「いいえ」が57.7%となっています。



問 53 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」が26.3%、「いいえ」が70.3%となっています。



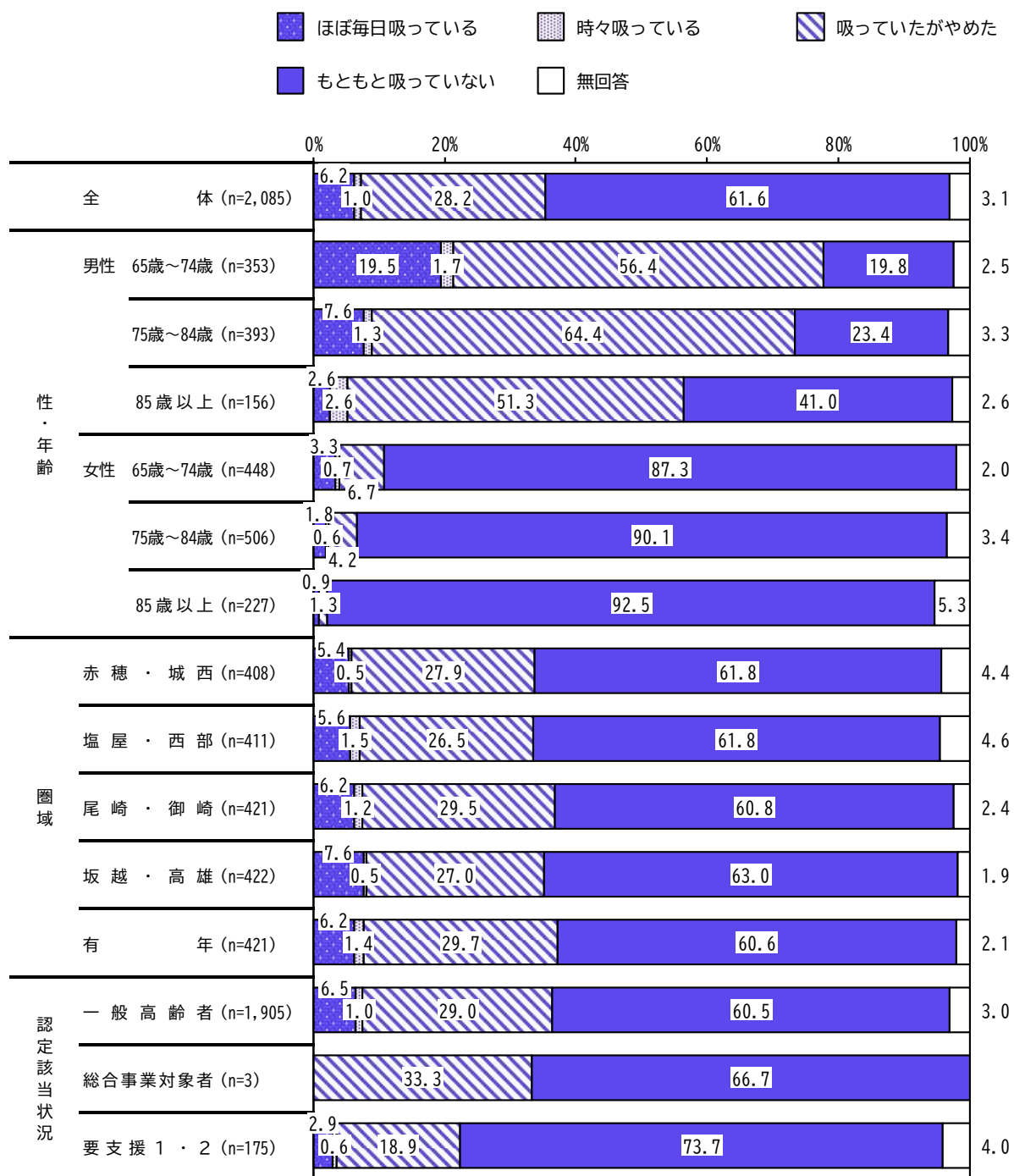
問 54 タバコは吸っていますか（1つだけ○）

「もともと吸っていない」が61.6%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が28.2%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。また、他の性・年齢に比べ、男性 75歳～84歳で「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「吸っていたがやめた」の割合が高く、要支援1・2で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



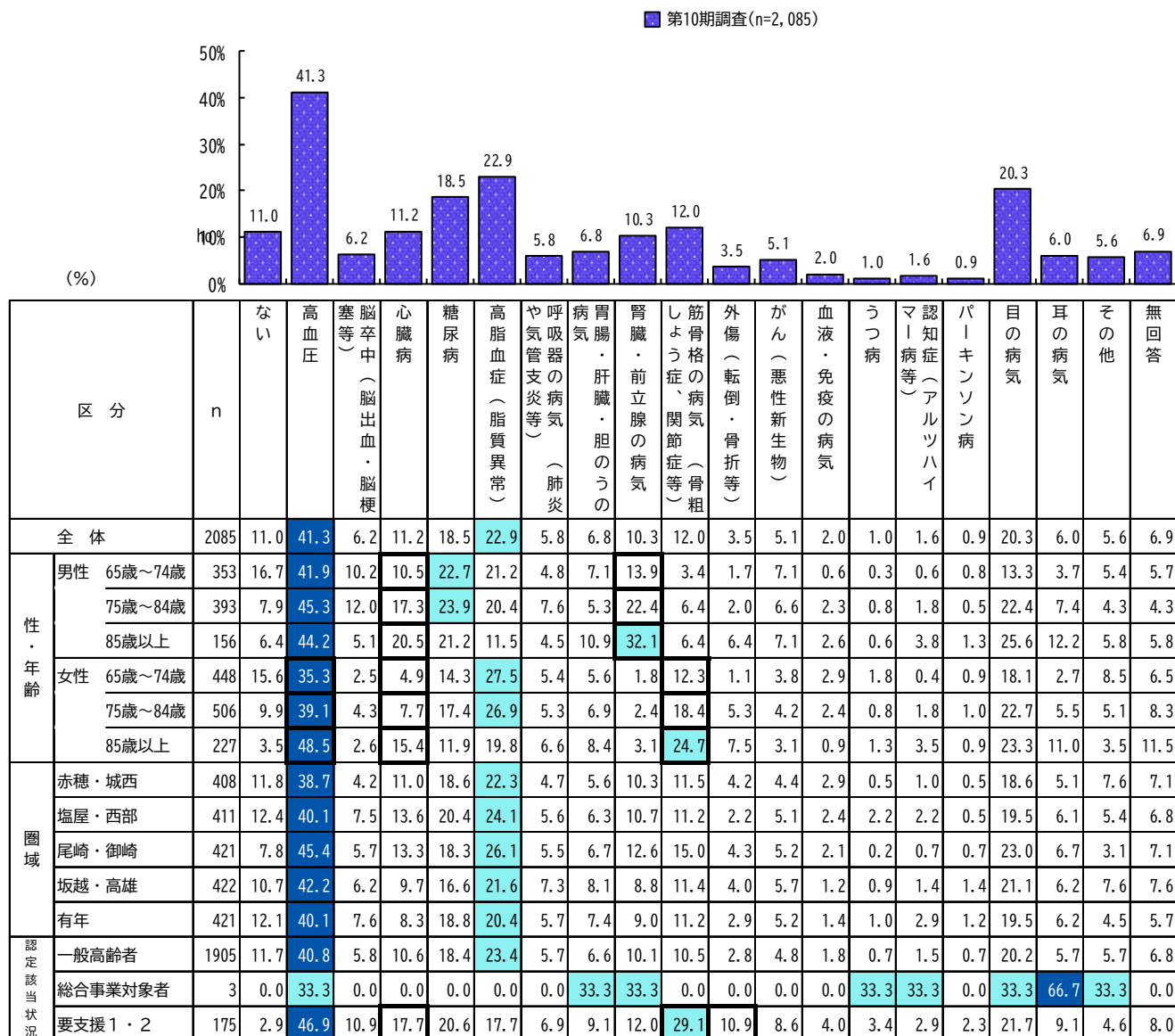
問 55 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」が41.3%と最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が22.9%、「目の病気」が20.3%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど男性では「心臓病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が、女性では「高血圧」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援1・2で「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」の割合が高くなっています。



9 認知症について

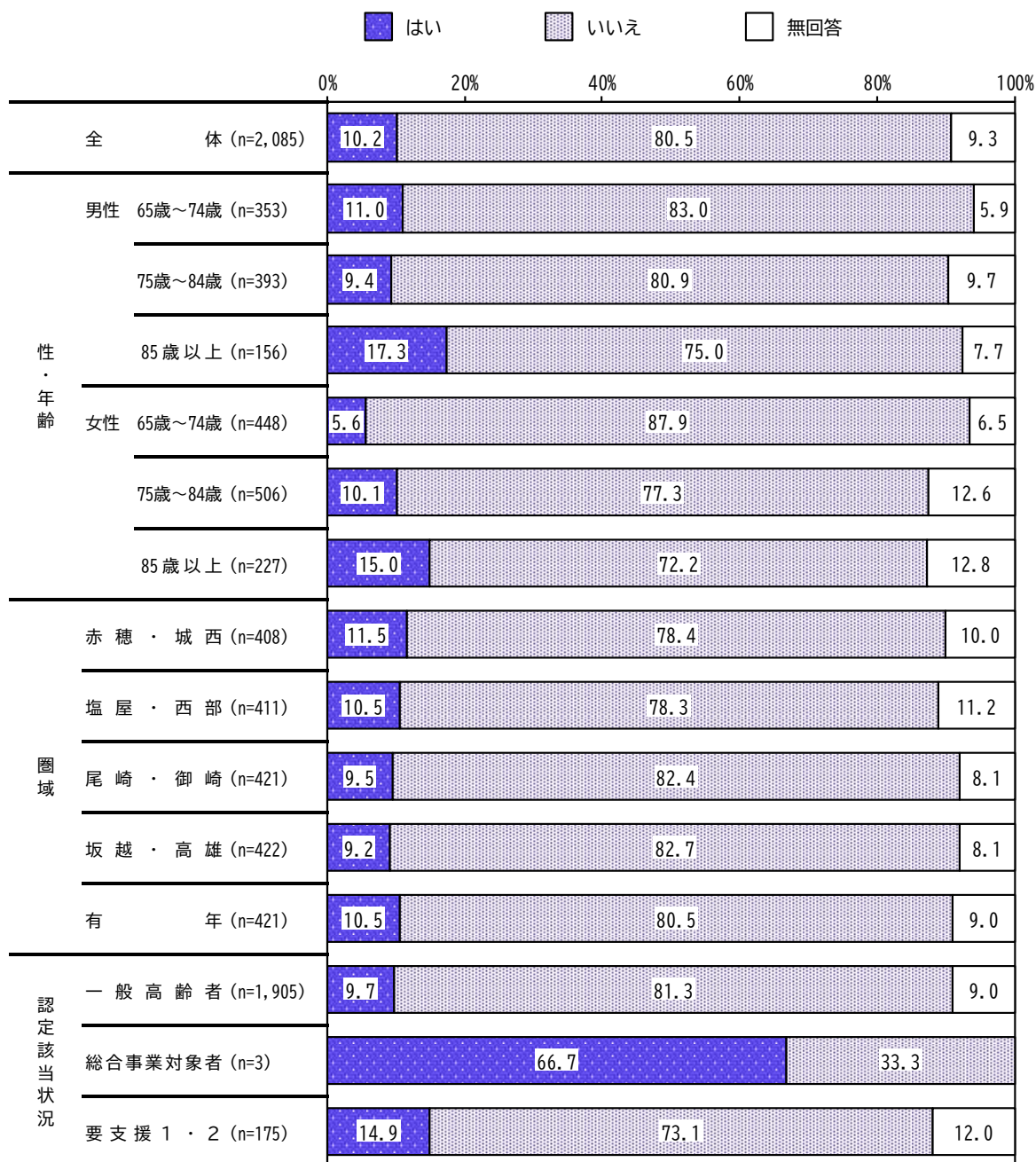
問 56 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」が10.2%、「いいえ」が80.5%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



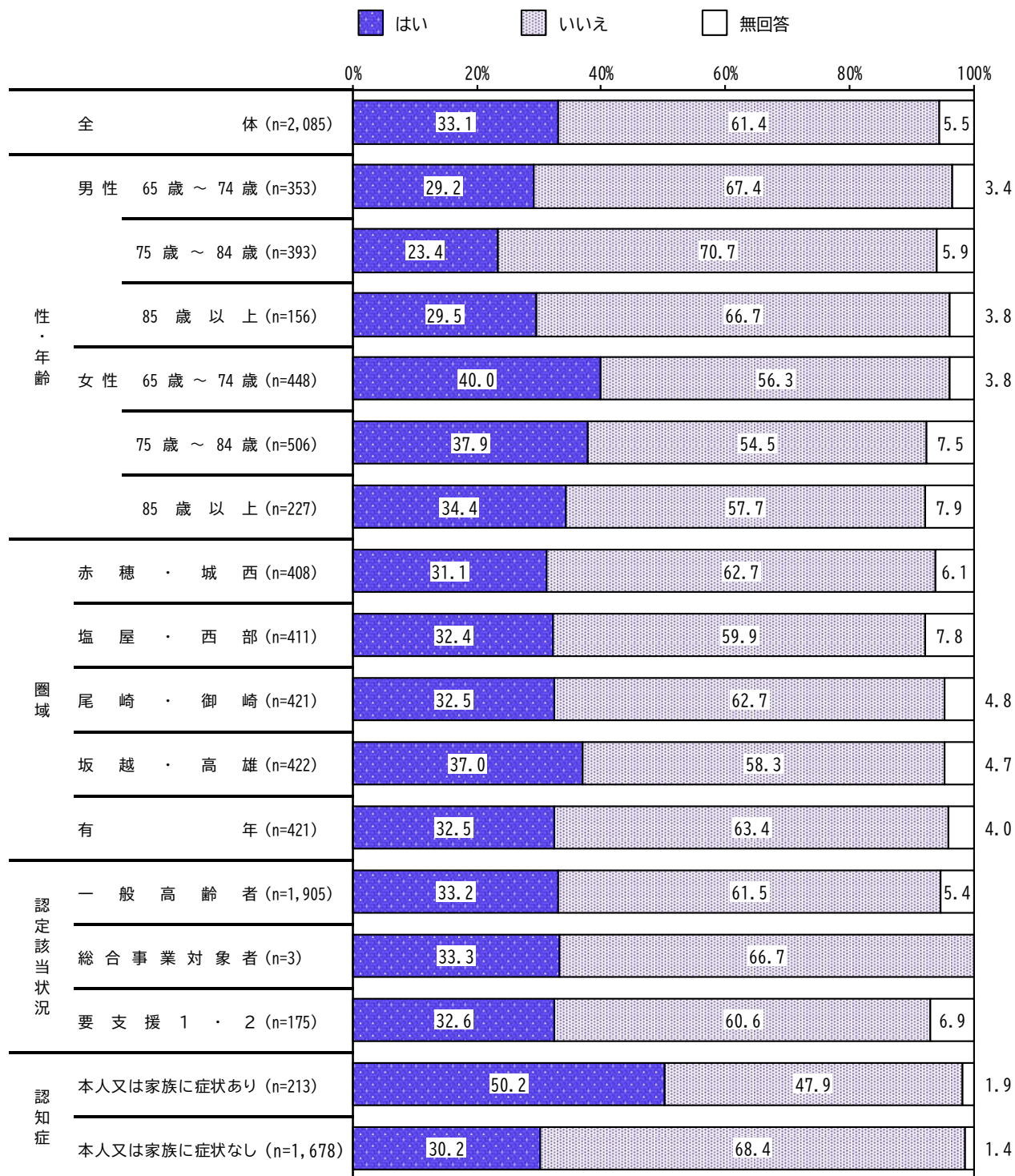
問 57 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」が33.1%、「いいえ」が61.4%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。

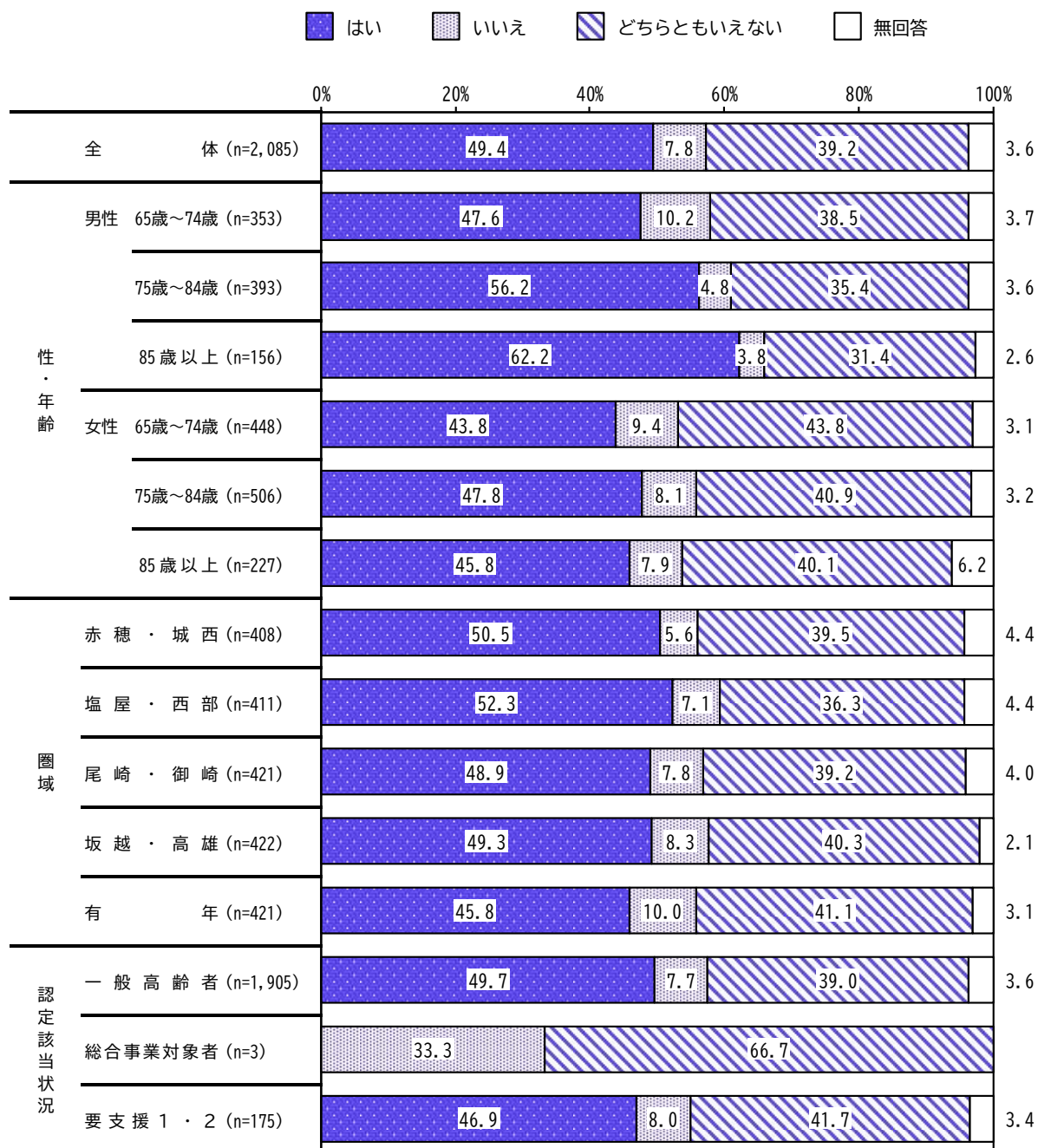
圏域別、認定該当状況別では、大きな差はみられません。

認知症症状の有無別にみると、本人又は家族に症状なしで「いいえ」の割合が高くなっています。



問 58 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいですか（１つだけ○）

「はい」が49.4%、「いいえ」が7.8%、「どちらともいえない」が39.2%となっています。
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。
圏域別、認定該当状況別では、大きな差はみられません。



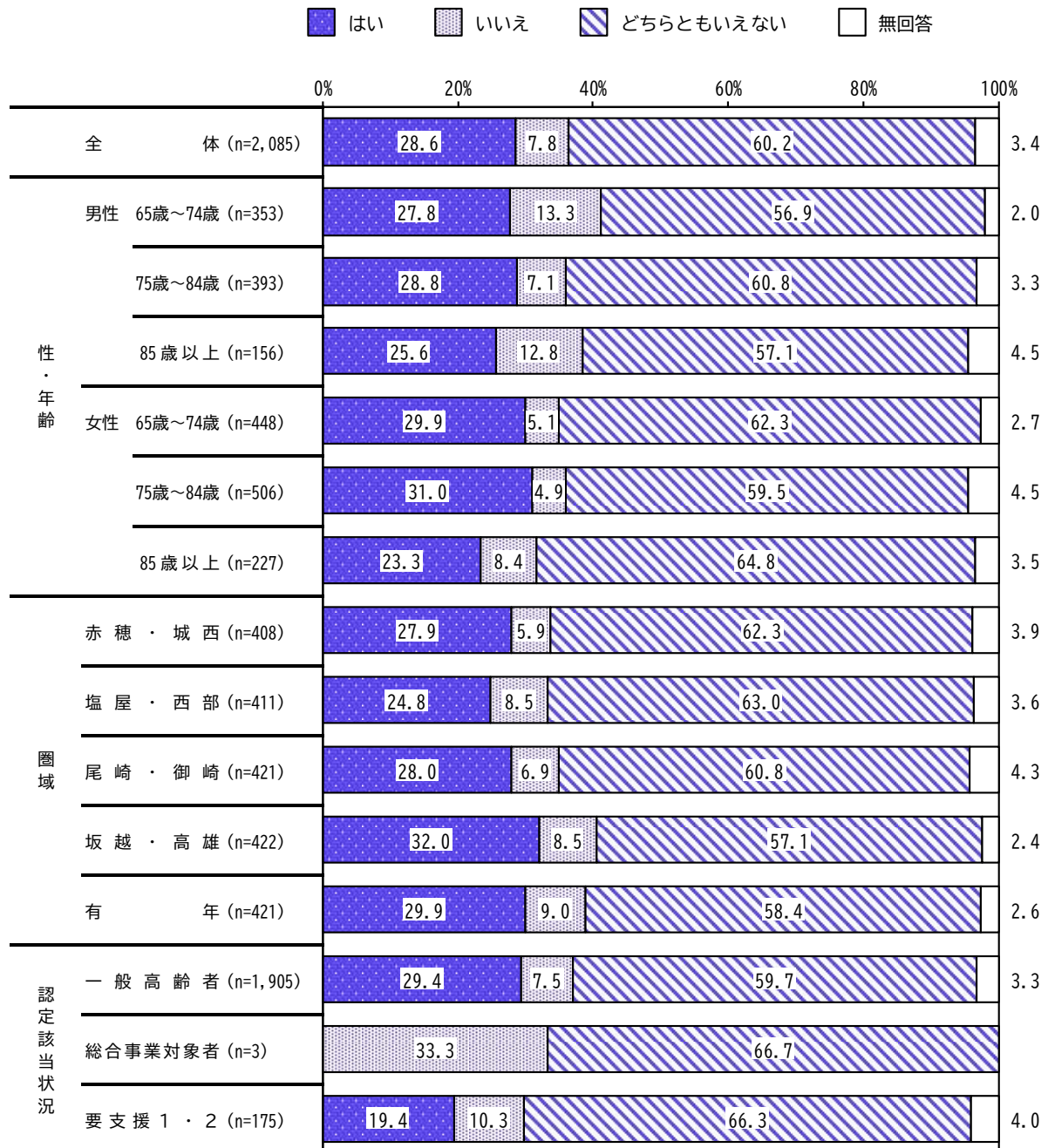
問 59 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方がよいと思いますか（1つだけ○）

「はい」が28.6%、「いいえ」が7.8%、「どちらともいえない」が60.2%となっています。

性・年齢別にみると、他の性・年齢に比べ、男性 65歳～74歳、男性 85歳以上で「いいえ」の割合が高く、女性 85歳以上で「はい」の割合が低くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「はい」の割合が高く、要支援1・2で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



問 60 あなた、又は家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか（1つだけ○）

「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が 41.2%と最も多く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が 34.3%、「知っておいてほしいが、あえて支援は望まない」が 8.3%となっています。

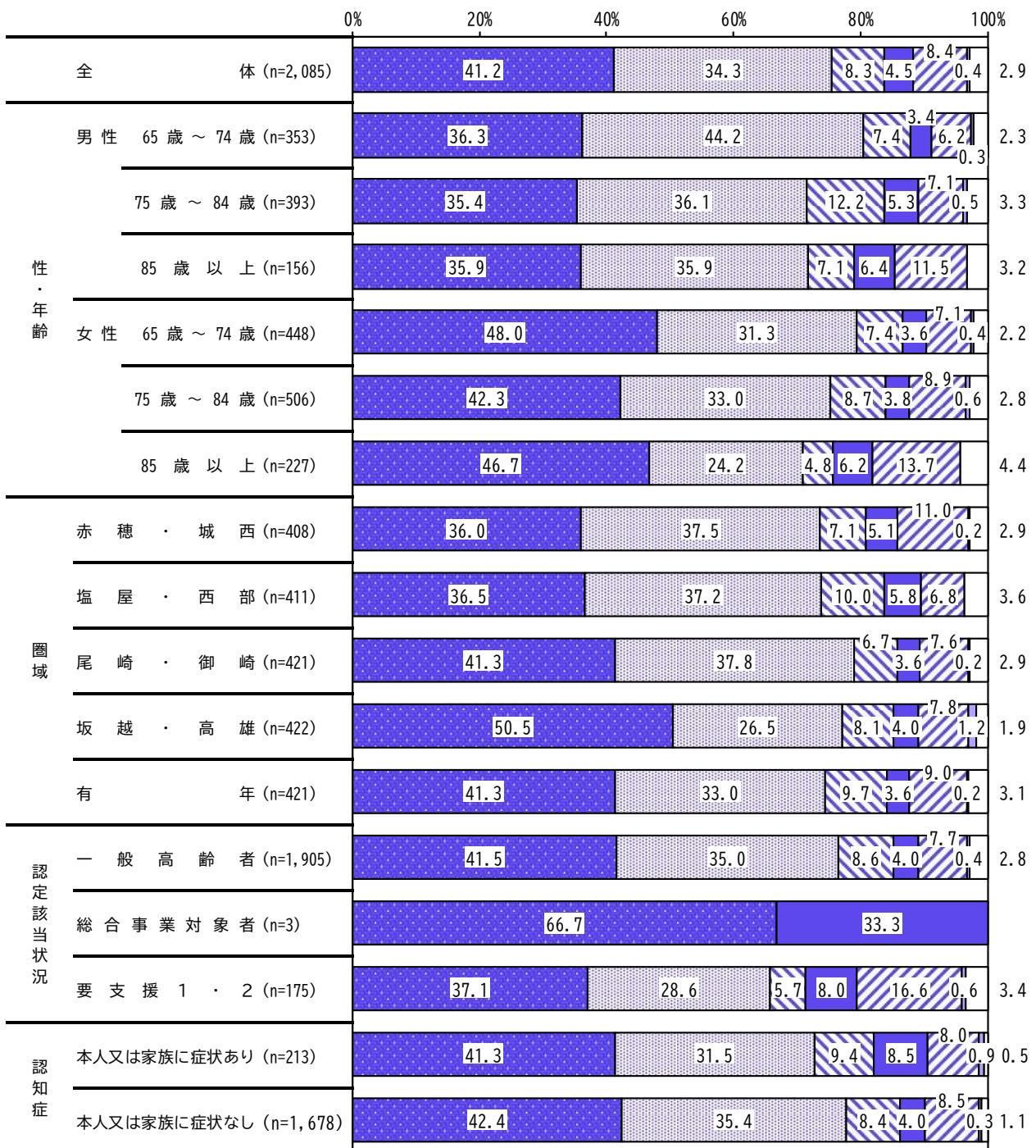
性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄で「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、要支援 1・2 に比べ、一般高齢者で「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」の割合が高くなっています。

認知症症状の有無別にみると、大きな差はみられません。

-  知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい
-  隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない
-  知っておいてほしいが、あえて支援は望まない
-  できればあまり知られたくないので隠したい
-  わからない
-  その他
-  無回答



問 61 あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要になると思いますか（いくつでも）

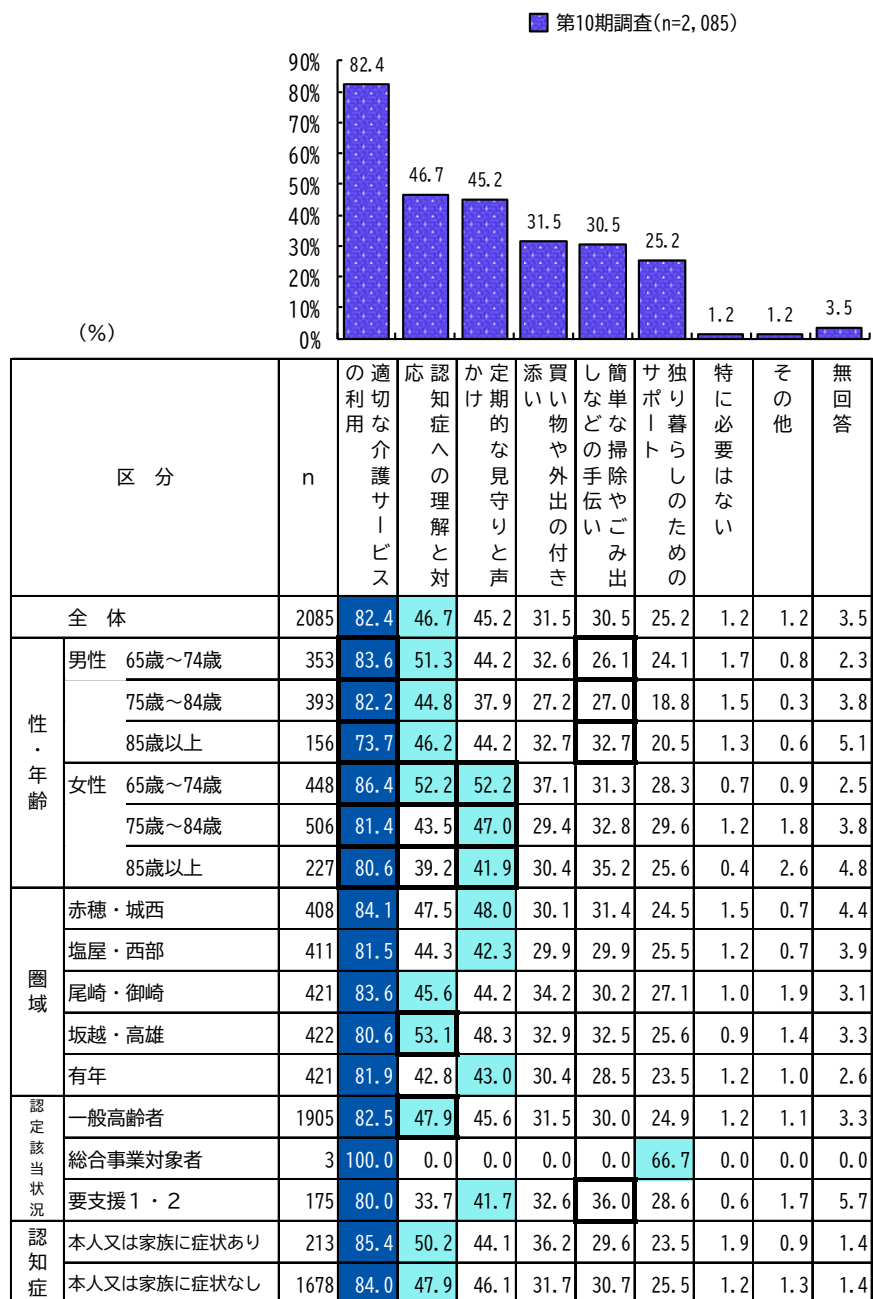
「適切な介護サービスの利用」が 82.4%と最も多く、次いで「認知症への理解と対応」が 46.7%、「定期的な見守りと声かけ」が 45.2%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い」の割合が高く、「適切な介護サービスの利用」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「適切な介護サービスの利用」「認知症への理解と対応」「定期的な見守りと声かけ」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄で「認知症への理解と対応」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「認知症への理解と対応」の割合が高く、要支援１・２で「簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い」の割合が高くなっています。

認知症症状の有無別にみると、大きな差はみられません。



問 62 あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか（いくつでも）

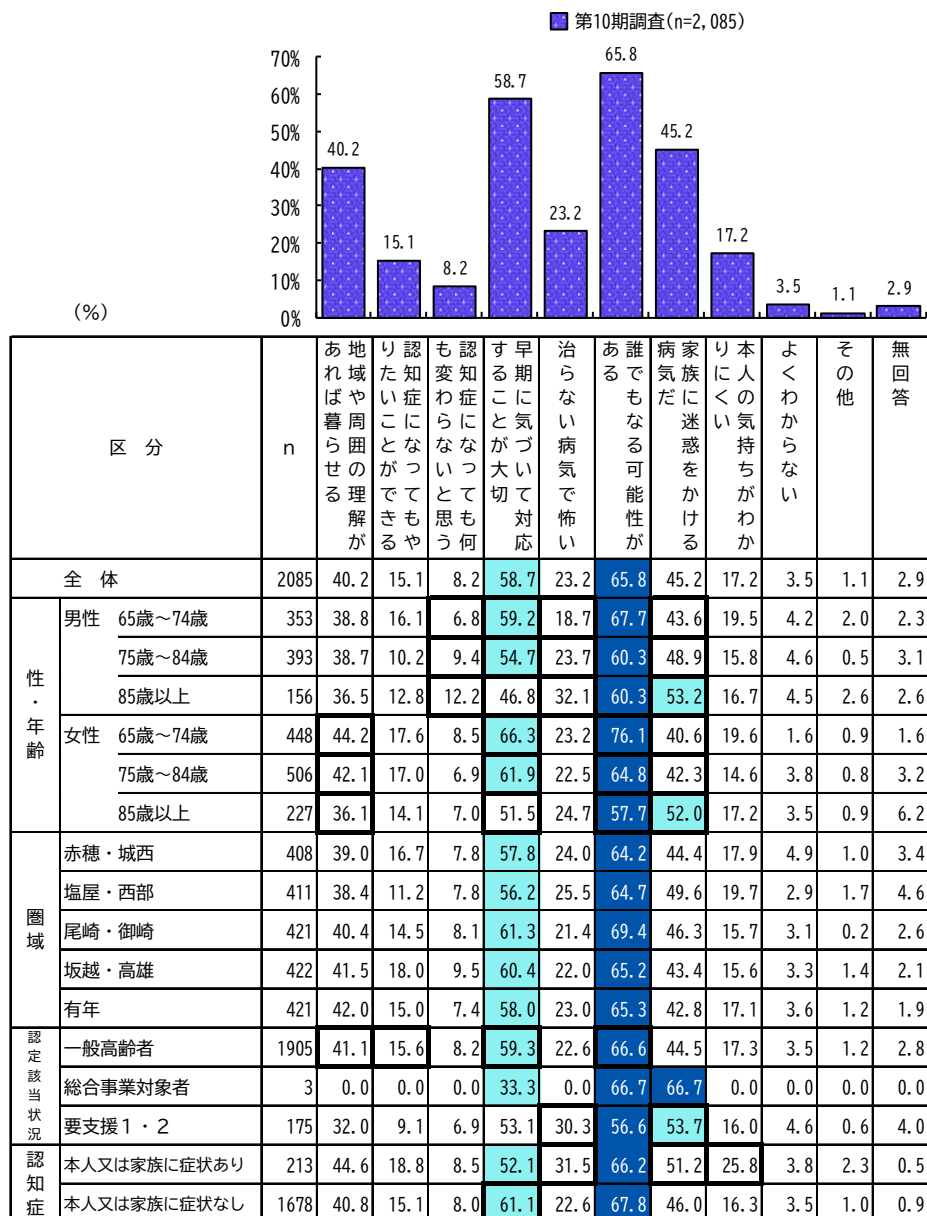
「誰でもなる可能性がある」が 65.8%と最も多く、次いで「早期に気づいて対応することが大切」が 58.7%、「家族に迷惑をかける病気だ」が 45.2%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「認知症になっても何も変わらないと思う」「治らない病気で怖い」「家族に迷惑をかける病気だ」の割合が高く、「早期に気づいて対応することが大切」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「地域や周囲の理解があれば暮らせる」「早期に気づいて対応することが大切」「誰でもなる可能性がある」の割合が高く、「家族に迷惑をかける病気だ」の割合が低くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「地域や周囲の理解があれば暮らせる」「認知症になってもやりたいことができる」「早期に気づいて対応することが大切」「誰でもなる可能性がある」の割合が高く、要支援1・2で「治らない病気で怖い」「家族に迷惑をかける病気だ」の割合が高くなっています。

認知症症状の有無別にみると、症状ありで「治らない病気で怖い」「家族に迷惑をかける病気だ」「本人の気持ちがわかりにくい」の割合が高く、症状なしで「早期に気づいて対応することが大切」の割合が高くなっています。



問 63 今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか（いくつでも）

「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」が 62.6%と最も高く、次いで「認知症の人が利用できる介護施設・人材の確保」が 56.2%、「認知症の人が安心して暮らせる体制整備の充実（一人歩きた時に、位置情報が検索できる機器など）」が 46.9%となっています。

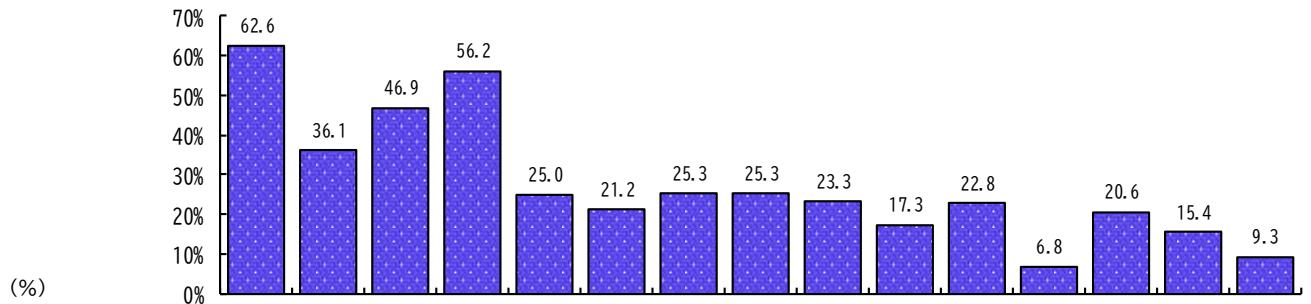
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」「かかりつけ医が認知症の治療もできる」「認知症の人が安心して暮らせる体制整備の充実（一人歩きた時に、位置情報が検索できる機器など）」「病院受診や介護などの相談体制の充実（インターネットによる相談など）」「認知症の予防や重症化予防のための教室」「認知症への正しい理解を広める啓発活動」「認知症の人の権利や財産を守るための相談体制の充実」の割合が高く、女性では「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」「認知症の人が安心して暮らせる体制整備の充実（一人歩きた時に、位置情報が検索できる機器など）」「認知症の人が利用できる介護施設・人材の確保」「認知症への正しい理解を広める啓発活動」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」「認知症の人が安心して暮らせる体制整備の充実（一人歩きた時に、位置情報が検索できる機器など）」「認知症への正しい理解を広める啓発活動」「介護者同士が気軽に話をしたり情報交換をしたりする場所や、家族の交流会、認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援」の割合が高く、要支援1・2で「若年（65歳未満）で発症する認知症に対する支援の充実」の割合が高くなっています。

認知症症状の有無別にみると、症状ありで「かかりつけ医が認知症の治療もできる」「専門医が近くにいる」の割合が高く、症状なしで「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」の割合が高くなっています。

■ 第10期調査(n=2,085)



区 分			n	早期発見・早期診断のための仕組みづくり	かかりつけ医が認知症の治療もできる	認知症の人が安心して暮らせる体制整備 の充実（一人歩きした時に、位置情報が 検索できる機器など）	認知症の人が利用できる介護施設・人材の 確保	専門医が近くににいる	病院受診や介護などの相談体制の充実 （インターネットによる相談など）	場所の整備	地域の人たちとお茶を飲んだり、体操をし たりするなど、身近で定期的に交流できる	認知症の予防や重症化予防のための教室	認知症への正しい理解を広める啓発活動	認知症の人の権利や財産を守るための相談 体制の充実	介護者同士が気軽に話をしたり情報交換を したりする場所や、家族の交流会、認知症 の人が活動する場づくり、社会参加の支援	これまでの経験を活かした就労や作業の場 の提供	認知症の人を支援するボランティアの養成	若年（65歳未満）で発症する認知症に対 する支援の充実	無回答
全 体			2085	62.6	36.1	46.9	56.2	25.0	21.2	25.3	25.3	23.3	17.3	22.8	6.8	20.6	15.4	9.3	
性・年齢	男性	65歳～74歳	353	72.0	36.0	55.5	62.3	29.2	28.3	25.5	26.6	30.0	23.2	20.7	9.3	20.1	14.2	3.4	
		75歳～84歳	393	60.6	32.1	51.4	52.2	19.6	22.6	20.4	25.2	22.4	17.6	16.8	3.8	22.4	13.0	9.4	
		85歳以上	156	57.7	30.8	47.4	55.1	23.7	19.9	22.4	17.3	21.2	17.3	25.0	5.1	17.9	12.2	11.5	
	女性	65歳～74歳	448	64.7	35.3	46.0	62.3	27.5	25.9	26.1	29.5	23.9	17.0	30.4	9.2	21.9	19.9	7.1	
		75歳～84歳	506	61.5	39.3	41.3	53.4	24.7	13.4	28.5	23.5	22.5	14.0	21.7	5.7	18.4	15.4	11.5	
		85歳以上	227	54.2	41.4	39.6	48.5	25.1	16.3	26.4	24.7	16.3	15.9	22.5	6.6	22.5	15.4	15.9	
圏域	赤穂・城西		408	61.0	40.2	49.5	58.6	25.5	24.0	26.5	25.2	25.7	18.6	24.5	7.8	23.5	15.4	8.8	
	塩屋・西部		411	62.0	35.3	43.6	53.3	24.3	20.9	22.9	25.3	20.0	16.5	17.5	4.1	16.1	13.6	10.2	
	尾崎・御崎		421	65.1	37.1	48.7	60.8	26.8	20.9	22.8	21.9	21.1	15.7	24.9	6.2	22.6	14.3	8.1	
	坂越・高雄		422	60.4	37.4	46.7	54.7	24.2	18.7	26.8	27.3	23.5	19.7	24.4	8.5	21.6	17.8	10.0	
	有年		421	64.8	30.6	46.1	53.4	24.5	21.4	27.3	26.8	26.1	16.2	22.6	7.1	19.2	16.2	9.3	
認定該当状況	一般高齢者		1905	63.1	35.7	47.6	56.2	25.0	21.3	25.1	25.4	23.9	17.7	23.3	6.6	20.3	15.0	8.9	
	総合事業対象者		3	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	
	要支援1・2		175	57.7	40.6	40.0	56.0	25.7	19.4	26.9	25.1	17.1	13.7	17.1	8.6	23.4	20.0	13.7	
認知症	本人又は家族に症状あり		213	58.2	41.8	49.3	59.6	30.0	18.8	26.3	27.7	27.7	19.7	23.9	6.6	22.1	12.7	8.0	
	本人又は家族に症状なし		1678	64.0	35.9	47.3	56.9	24.7	21.3	25.3	25.1	23.2	17.3	22.8	6.7	20.5	15.5	8.3	

10 相談先や希望する暮らしについて

問 64 介護を受ける場合、どのような場所で介護を受けたいと思いますか（1つだけ○）

「自宅」が44.7%と最も多く、次いで「高齢者向けのケア付き住宅」が10.7%、「大規模で専門スタッフの多い施設（特別養護老人ホームなど）」が10.4%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「大規模で専門スタッフの多い施設（特別養護老人ホームなど）」の割合が高く、女性では「自宅近くの少人数で過ごす施設（グループホームなど）」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、有年で「自宅」の割合が低くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「自宅」の割合が高く、要支援1・2で「高齢者向けのケア付き住宅」の割合が高くなっています。

(%)

区 分		n	自 宅	子 ど も ・ 兄 弟 姉 妹 な ど の 親 族 の 家	住 高 齢 者 向 け の ケ ア 付 き	ご す 施 設 （ グ ル ー プ ホ ー ム な ど ）	大 規 模 で 専 門 ス タ フ の 多 い 施 設 （ 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど ）	病 院 な ど の 医 療 施 設	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		2085	44.7	0.4	10.7	8.9	10.4	5.3	0.6	8.1	10.9
性・年 齢	男性 65歳～74歳	353	47.9	0.3	8.5	8.2	13.9	4.2	0.8	6.8	9.3
	75歳～84歳	393	53.7	0.5	6.6	6.9	10.4	4.1	0.3	6.6	10.9
	85歳以上	156	51.3	0.0	10.3	7.7	6.4	7.1	0.6	6.4	10.3
	女性 65歳～74歳	448	41.1	0.2	17.0	11.2	8.9	2.7	1.3	9.8	7.8
	75歳～84歳	506	38.7	0.8	10.3	10.5	10.1	7.7	0.2	8.1	13.6
	85歳以上	227	40.1	0.4	10.6	6.6	11.0	7.0	0.4	10.1	13.7
圏 域	赤穂・城西	408	45.3	0.2	10.8	6.4	9.8	7.1	0.2	9.6	10.5
	塩屋・西部	411	46.0	0.7	9.7	8.0	10.2	5.6	0.7	7.3	11.7
	尾崎・御崎	421	44.4	0.2	10.7	10.0	11.9	4.5	0.7	8.6	9.0
	坂越・高雄	422	49.1	0.5	10.4	9.5	10.0	3.3	0.9	7.1	9.2
	有年	421	38.7	0.5	12.1	10.7	10.0	5.7	0.5	7.8	14.0
認 定 該 当 状 況	一般高齢者	1905	45.2	0.5	10.2	9.2	10.2	4.9	0.7	8.2	10.9
	総合事業対象者	3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2	175	40.0	0.0	16.6	5.7	11.4	8.6	0.0	6.9	10.9
世 帯	1人暮らし	431	33.9	1.4	15.1	7.9	11.4	6.3	0.5	10.2	13.5
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	814	49.5	0.1	10.2	8.7	9.8	4.9	0.4	6.4	10.0
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	57	40.4	0.0	3.5	12.3	15.8	5.3	1.8	14.0	7.0
	息子や娘との2世帯	327	46.2	0.6	10.4	10.4	9.5	6.1	1.5	3.7	11.6
	その他	302	47.0	0.0	8.3	8.9	10.9	3.6	0.7	11.9	8.6

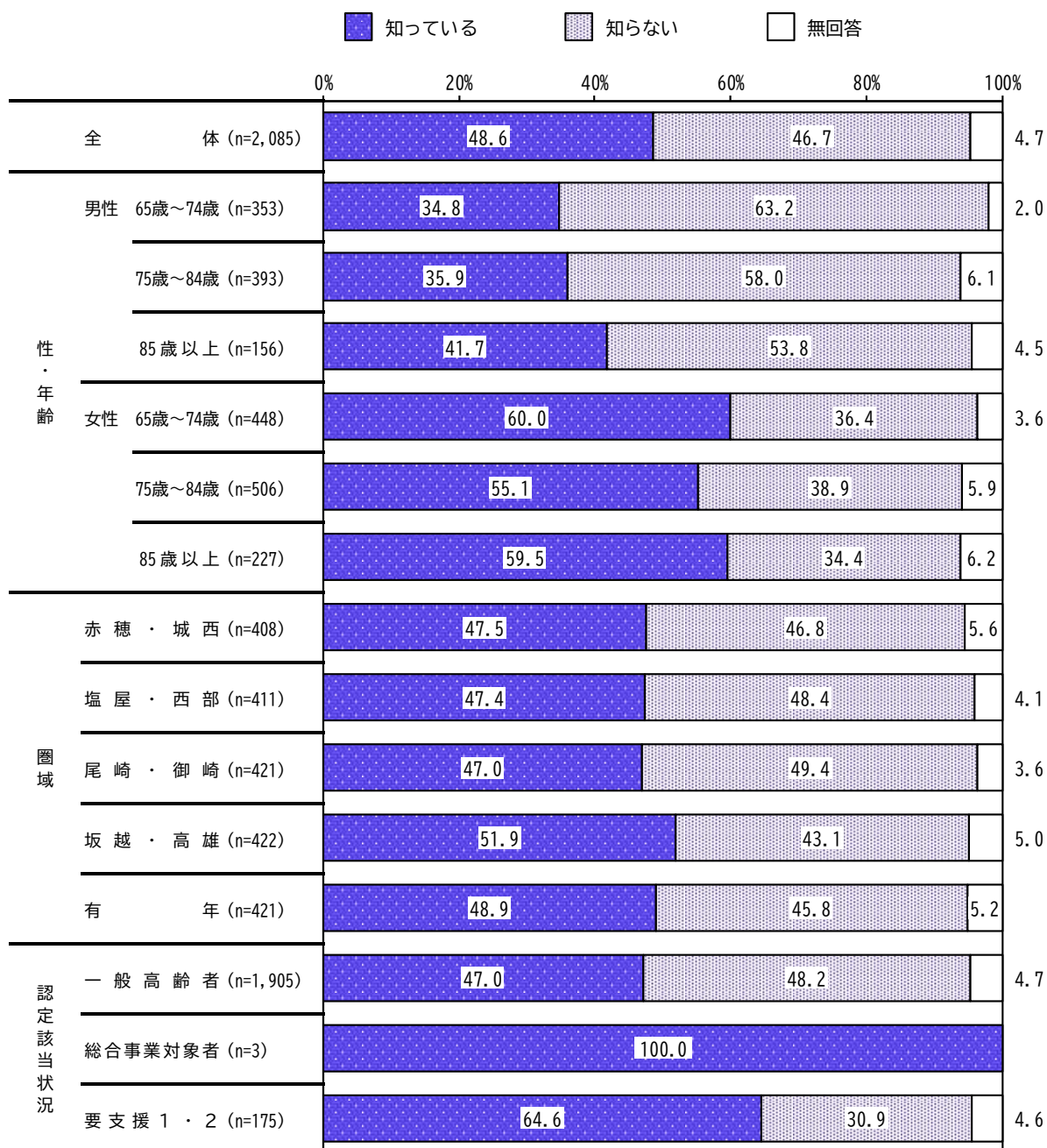
問 65 高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らしていくために、必要な援助や支援をする総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存じですか

「知っている」が48.6%、「知らない」が46.7%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、要支援1・2で「知っている」の割合が高くなっています。



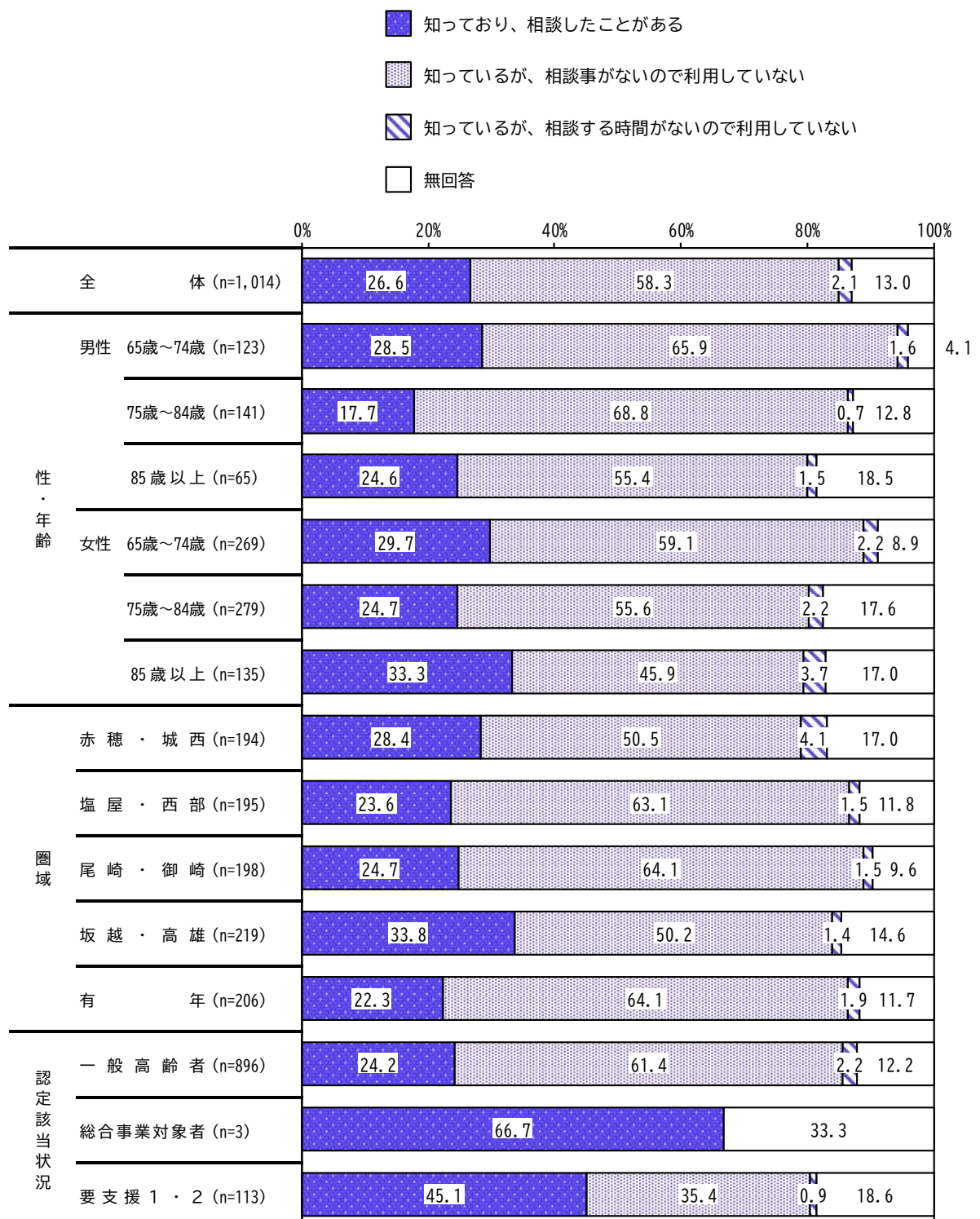
問 66 〔問 65 で「知っている」と答えた方のみ〕地域包括センターで相談したことがありますか（１つだけ○）

「知っており、相談したことがある」が 26.6%、「知っているが、相談事がないので利用していない」が 58.3%、「知っているが、相談する時間がないので利用していない」が 2.1%となっています。

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「知っているが、相談事がないので利用していない」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄で「知っており、相談したことがある」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「知っているが、相談事がないので利用していない」の割合が高くなっています。



問 67 日常生活の中で、以前と比べてしづらくなってきたことは何ですか（いくつでも）

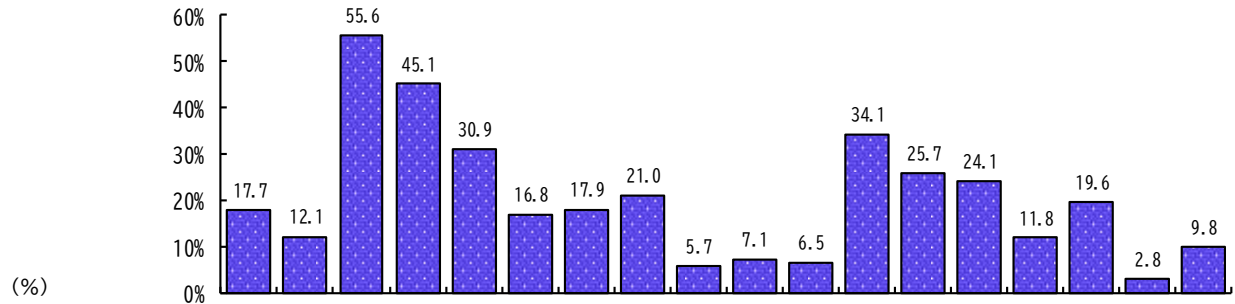
「高いところの作業（電球の交換等）」が 55.6%と最も多く、次いで「重い物の扱いや運搬」が 45.1%、「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」が 34.1%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「日常の外出（買い物・通院等）」「高いところの作業（電球の交換等）」「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」「電化製品やスマホ等の操作」の割合が高く、女性では「日常の外出（買い物・通院等）」「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」「事務手続き・マイナンバーカードの申請等申し込み手続き（役所・契約等）」「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」「電化製品やスマホ等の操作」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、塩屋・西部で「高いところの作業（電球の交換等）」「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、要支援 1・2 で「日常の外出（買い物・通院等）」「食事のしたく（調理、献立を考える事）」「高いところの作業（電球の交換等）」「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」の割合が高くなっています。

■ 第10期調査(n=2,085)



区 分			n	日常の外 出 （買い物・通院等）	食 事 の し た く（調理、献立を考える事）	高 い と こ ろ の 作 業（電球の交換等）	重 い 物 の 扱 い や 運 搬	か が む 作 業（風呂掃除、雑巾がけ等）	手 先 や 腕 を 使 う 作 業（フタの開閉等）	事 務 手 続 き・マイナンバーカードの申請等 申し込み手続き（役所・契約等）	文 字 が 読 み づ ら い（回覧板・新聞等）	金 銭 管 理（預金の出し入れ、支払い等）	予 定 を 立 て 実 行 す る（スケジュール管理等）	ゴ ミ の 分 別 や ゴ ミ 出 し	屋 外 作 業（草刈・庭木の手入れ等）	電 化 製 品 や ス マ ホ 等 の 操 作	家 の 設 備 や 家 電 等 の 故 障 な ど ト ラ ブ ル 対 応	人 づ き あ い（友人、隣人等とのつきあい）	説 明 の 内 容 を 理 解 す る こ と（説明書・店員の説明等）	そ の 他	無 回 答
全 体			2085	17.7	12.1	55.6	45.1	30.9	16.8	17.9	21.0	5.7	7.1	6.5	34.1	25.7	24.1	11.8	19.6	2.8	9.8
性・年齢	男性	65歳～74歳	353	7.1	6.5	40.2	41.4	27.8	7.9	14.2	24.6	3.7	7.1	4.2	25.5	21.2	13.6	12.2	18.4	5.4	8.2
		75歳～84歳	393	14.5	10.7	52.7	45.0	27.7	10.4	18.1	24.7	7.9	6.1	6.6	38.9	25.4	21.9	12.0	17.3	2.5	9.7
		85歳以上	156	37.2	21.8	69.9	45.5	44.2	18.6	21.8	28.8	10.3	16.0	16.7	53.2	37.2	35.9	19.9	27.6	3.8	6.4
	女性	65歳～74歳	448	5.8	6.5	50.9	47.8	24.1	16.7	11.8	17.4	1.1	1.6	1.8	25.2	17.6	19.2	7.6	14.5	2.0	11.6
		75歳～84歳	506	17.4	12.6	60.9	43.3	28.5	21.1	15.8	13.8	3.8	5.3	4.0	31.8	27.1	27.9	9.9	19.8	1.8	11.9
		85歳以上	227	50.2	26.4	72.7	49.3	50.7	31.3	37.0	26.9	15.0	17.6	17.6	48.9	38.3	37.4	18.1	29.5	2.6	6.6
圏 域	赤穂・城西		408	18.1	13.0	54.2	46.6	32.1	18.9	17.6	22.8	6.6	6.9	8.1	31.9	26.2	24.5	12.3	21.1	3.7	9.8
	塩屋・西部		411	20.4	14.4	60.6	43.1	36.5	18.2	20.0	23.8	7.5	9.5	7.1	35.0	23.8	25.3	14.8	20.7	4.1	10.0
	尾崎・御崎		421	15.7	11.6	54.9	44.4	31.4	15.2	20.0	21.1	5.0	6.7	5.7	32.8	27.3	21.9	10.7	19.2	1.7	7.6
	坂越・高雄		422	19.9	11.1	56.4	47.2	29.4	18.2	18.2	17.5	5.0	7.3	5.9	32.9	27.0	25.4	11.4	19.4	1.7	9.7
	有年		421	14.3	10.5	52.3	44.2	25.2	13.8	13.5	20.0	4.3	5.2	5.7	38.0	24.2	23.5	10.0	17.6	3.1	11.9
認定該当状況	一般高齢者		1905	14.0	9.9	53.8	44.5	27.9	15.4	16.1	20.5	4.7	5.8	4.7	31.5	24.9	22.7	11.0	18.4	2.8	10.0
	総合事業対象者		3	66.7	66.7	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0
	要支援1・2		175	56.6	34.9	75.4	50.9	61.7	31.4	36.6	26.3	15.4	20.6	24.6	61.1	34.3	38.9	20.0	31.4	3.4	7.4

問 68 ちょっとした困りごとを助けてくれる人はいますか（いくつでも）

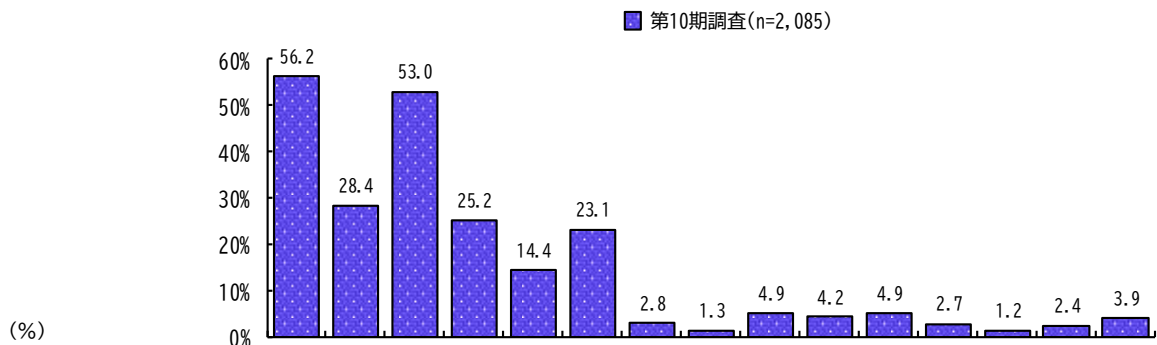
「配偶者」が 56.2%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 53.0%、「同居の子ども」が 28.4%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「別居の子ども」「民生委員」「ケアマネジャー」の割合が高くなり、「友人」の割合が低くなっています。

女性では年齢が上がるほど「同居の子ども」「民生委員」「ケアマネジャー」の割合が高くなり、「友人」の割合が低くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高く、要支援1・2で「民生委員」「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」「地域包括支援センター・市役所」の割合が高くなっています。



区 分		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・近隣住民	友人	自治会・老人クラブ	社会福祉協議会	民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	いそがしい人	そのような人はいない	無回答
全 体		2085	56.2	28.4	53.0	25.2	14.4	23.1	2.8	1.3	4.9	4.2	4.9	2.7	1.2	2.4	3.9
性・年齢	男性 65歳～74歳	353	74.8	22.7	45.9	23.5	9.3	21.0	3.1	0.8	1.4	0.8	2.5	1.1	0.8	4.2	2.3
	75歳～84歳	393	71.5	24.9	45.5	18.1	14.2	18.8	4.3	2.0	5.1	2.8	6.1	3.3	0.8	2.0	4.6
	85歳以上	156	57.1	24.4	59.0	21.8	14.7	15.4	7.1	3.2	12.2	11.5	7.1	6.4	0.6	2.6	4.5
	女性 65歳～74歳	448	64.3	29.5	58.3	35.3	14.1	34.6	0.9	0.0	1.3	1.6	3.1	1.1	0.9	1.3	2.2
	75歳～84歳	506	41.1	29.2	56.1	25.3	15.2	23.5	1.4	0.6	6.1	5.1	4.9	2.8	1.4	3.2	5.5
	85歳以上	227	18.1	42.3	55.9	22.5	21.6	15.4	4.0	3.5	9.3	9.7	8.8	4.8	2.6	0.9	4.4
圏域	赤穂・城西	408	52.0	27.9	55.1	25.5	9.6	25.5	3.7	1.0	3.9	5.1	6.4	4.2	1.5	2.2	4.7
	塩屋・西部	411	56.4	29.7	53.8	23.6	13.4	21.2	1.9	1.5	4.9	2.9	3.4	2.7	1.2	2.2	3.9
	尾崎・御崎	421	60.6	28.0	53.4	23.5	12.4	24.2	1.2	1.0	5.9	3.3	4.0	1.4	0.7	1.4	2.6
	坂越・高雄	422	58.3	25.8	53.1	27.5	18.0	22.7	4.0	2.4	6.6	5.7	5.0	3.1	1.4	2.6	3.3
	有年	421	53.7	30.6	49.9	25.9	18.8	21.9	3.3	0.7	3.1	3.8	5.9	2.4	1.0	3.8	5.0
認定該当状況	一般高齢者	1905	59.1	28.4	52.8	25.2	14.4	23.7	2.7	1.1	4.3	1.8	4.4	1.9	1.1	2.6	3.9
	総合事業対象者	3	0.0	33.3	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2	175	25.7	28.6	54.9	24.6	15.4	16.6	4.6	3.4	12.0	30.3	10.9	11.4	1.7	0.6	3.4
世帯	1人暮らし	431	5.8	3.7	55.5	34.6	20.4	29.5	4.4	1.4	11.1	5.1	4.6	2.1	1.9	7.4	6.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	814	85.3	2.7	64.7	22.5	13.9	22.7	1.7	1.0	3.8	3.3	4.3	2.5	0.7	1.6	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	57	91.2	19.3	49.1	15.8	17.5	22.8	7.0	3.5	5.3	7.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	息子や娘との2世帯	327	49.5	85.6	38.2	22.3	12.2	20.5	2.8	1.5	1.8	4.3	5.2	3.7	1.2	0.3	4.0
	その他	302	51.7	63.2	38.4	27.2	10.3	20.2	1.0	0.7	2.0	3.6	5.0	1.3	1.3	0.7	3.0

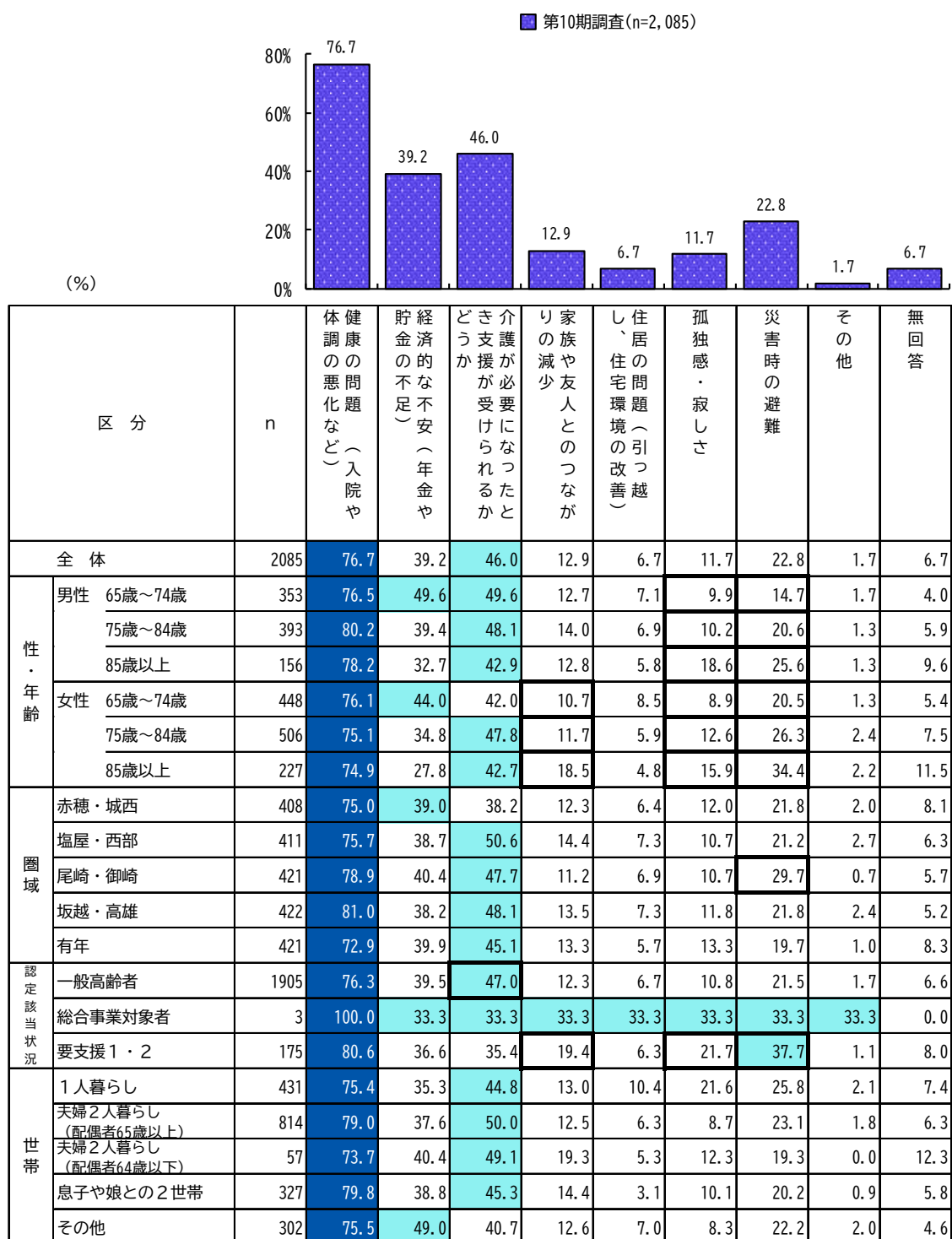
問 69 これからの生活で不安に感じていることは何ですか（いくつでも）

「健康の問題（入院や体調の悪化など）」が 76.7%と最も多く、次いで「介護が必要になったとき支援が受けられるかどうか」が 46.0%、「経済的な不安（年金や貯金の不足）」が 39.2%となっています。

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「孤独感・寂しさ」「災害時の避難」の割合が高く、女性では「家族や友人とのつながりの減少」「孤独感・寂しさ」「災害時の避難」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、尾崎・御崎で「災害時の避難」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「介護が必要になったとき支援が受けられるかどうか」の割合が高く、要支援１・２で「家族や友人とのつながりの減少」「孤独感・寂しさ」「災害時の避難」の割合が高くなっています。



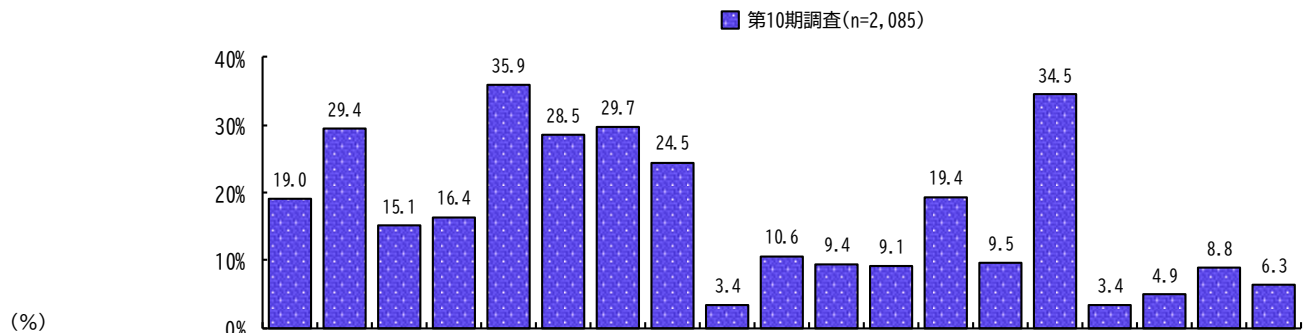
問 70 今後、あなたの日常生活に支障をきたす恐れのある症状は何ですか（いくつでも）

「腰痛」が 35.9%と最も多く、次いで「物忘れ・認知機能の低下」が 34.5%、「視力低下」が 29.7%となっています。

性・年齢別にみると、男性では女性に比べて、いずれの年齢でも「排尿障害（頻尿・尿漏れ）」の割合が高くなっています。また女性の 85 歳以上で「関節痛・しびれ」の割合が高くなっています。

圏域別にみると、他の圏域に比べ、坂越・高雄で「腰痛」の割合が高くなっています。

認定該当状況別にみると、要支援 1・2 で「腰痛」「関節痛・しびれ」「物忘れ・認知機能の低下」の割合が高くなっています。



区 分		n	めまい・ふらつき	排尿障害（頻尿・尿漏れ）	排便障害（便秘・下痢）	不眠・睡眠障害	腰痛	関節痛・しびれ	視力低下	聴力低下	食欲不振	咳・たん	息切れ・動悸	むせ・飲み込みづらさ	疲れやすさ	気分の落ち込み	物忘れ・認知機能の低下	頭痛	むくみ	特にない	無回答
全 体		2085	19.0	29.4	15.1	16.4	35.9	28.5	29.7	24.5	3.4	10.6	9.4	9.1	19.4	9.5	34.5	3.4	4.9	8.8	6.3
性・年齢	男性 65歳～74歳	353	13.3	36.8	17.0	13.9	40.8	24.6	36.3	24.4	2.5	9.3	9.9	9.1	17.6	9.3	31.7	2.0	2.3	10.8	4.0
	75歳～84歳	393	16.0	38.4	13.2	16.3	33.8	25.4	32.8	30.8	3.3	13.2	12.2	9.2	16.5	6.9	33.1	2.0	4.6	5.9	6.4
	85歳以上	156	25.6	43.6	28.8	18.6	32.7	23.7	31.4	35.9	7.1	16.7	10.9	14.1	25.0	10.3	42.9	4.5	5.8	7.1	9.6
	女性 65歳～74歳	448	19.0	19.2	10.3	15.6	34.8	27.9	27.9	15.0	2.2	7.8	6.7	5.1	19.4	8.9	29.0	4.5	4.5	12.7	3.8
	75歳～84歳	506	18.4	22.3	12.1	17.2	35.8	30.8	25.3	20.2	3.4	8.1	5.9	6.5	19.6	9.7	36.6	3.2	4.0	8.9	7.7
	85歳以上	227	30.0	28.6	21.6	18.9	37.0	39.6	26.4	34.4	4.8	14.5	15.4	18.9	23.3	14.5	41.9	5.3	11.9	3.5	9.3
圏域	赤穂・城西	408	20.8	30.1	15.2	17.6	31.6	26.0	28.4	26.5	3.4	14.5	10.3	9.8	16.9	11.8	33.3	3.2	7.6	9.1	7.1
	塩屋・西部	411	18.7	31.9	14.8	18.0	38.2	30.7	30.2	23.8	3.4	10.5	9.7	10.0	19.5	9.5	36.3	3.2	4.1	6.8	5.8
	尾崎・御崎	421	17.8	24.7	12.8	16.9	36.1	31.1	29.9	23.0	3.1	8.3	6.7	9.0	19.7	9.7	33.0	2.4	4.3	10.9	5.0
	坂越・高雄	422	18.2	28.0	17.1	16.4	41.9	28.4	31.3	23.7	4.0	11.1	12.3	8.8	22.5	7.8	34.1	3.8	4.7	5.9	5.9
	有年	421	19.5	32.5	15.2	13.3	31.8	26.6	28.7	25.4	3.1	8.6	7.8	7.8	18.5	8.8	35.9	4.3	3.8	10.9	7.6
認定該当状況	一般高齢者	1905	18.2	28.7	14.2	16.1	34.8	26.7	29.8	23.8	3.1	10.2	8.9	8.3	18.6	8.8	33.5	3.1	4.3	9.4	6.3
	総合事業対象者	3	66.7	100.0	33.3	33.3	66.7	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	要支援 1・2	175	26.9	36.6	24.0	19.4	48.6	47.4	29.1	30.9	5.7	14.3	13.7	16.6	27.4	16.0	45.1	5.1	10.9	1.7	6.3

問 71 今後、どのような状況になったら要介護認定を申請しようと思いますか
(すでに申請したことがある方は、その時の状況をお答えください)

「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき」が 29.0%と最も多く、次いで「主治医から勧められたとき」が 20.6%、「家族に勧められたとき」が 16.5%となっています。

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「家族に勧められたとき」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき」の割合が高くなっています。

圏域別では、大きな差はみられません。

認定該当状況別にみると、一般高齢者で「主治医から勧められたとき」「家族に勧められたとき」「困っているため早めに」の割合が高く、要支援1・2で「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき」の割合が高くなっています。

(%)

区 分		n	骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき	主治医から勧められたとき	入院中に勧められたとき	家族に勧められたとき	友人に勧められたとき	デイサービスを利用したとき	ヘルパーを利用したとき	住宅改修をしたとき	困っているため早めにはない	その他	無回答
全 体		2085	29.0	20.6	3.8	16.5	0.2	5.0	3.6	0.7	7.0	2.2	11.3
性・年齢	男性 65歳～74歳	353	28.6	17.6	4.2	24.6	0.6	2.3	2.8	0.6	9.1	2.3	7.4
	75歳～84歳	393	20.9	26.0	3.3	20.9	0.0	5.3	2.8	0.5	6.4	2.3	11.7
	85歳以上	156	31.4	17.3	2.6	17.3	0.6	4.5	3.8	0.0	5.8	1.9	14.7
	女性 65歳～74歳	448	26.1	21.2	4.5	13.8	0.0	8.5	6.7	0.7	7.4	2.5	8.7
	75歳～84歳	506	32.6	19.8	4.2	10.5	0.4	5.7	3.4	1.4	7.3	2.0	12.8
	85歳以上	227	39.6	19.4	3.1	15.0	0.0	0.4	0.4	0.0	4.4	1.8	15.9
圏域	赤穂・城西	408	30.4	20.1	3.7	17.4	0.2	4.9	4.4	0.5	6.1	1.7	10.5
	塩屋・西部	411	30.9	20.4	4.9	15.6	0.5	3.2	2.4	1.7	7.1	2.7	10.7
	尾崎・御崎	421	27.1	22.3	4.8	15.7	0.0	4.0	5.7	0.5	8.1	1.0	10.9
	坂越・高雄	422	29.4	19.2	3.6	16.4	0.2	7.3	3.6	0.5	5.9	3.3	10.7
	有年	421	27.3	21.1	2.4	17.8	0.2	5.5	1.9	0.2	7.8	2.1	13.5
認定該当状況	一般高齢者	1905	27.7	21.4	3.9	17.1	0.2	5.0	3.8	0.7	7.5	2.0	10.8
	総合事業対象者	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1・2	175	42.9	12.6	3.4	11.4	1.1	4.0	1.7	0.0	1.7	4.0	17.1
世帯	1人暮らし	431	35.5	16.0	3.5	11.1	0.7	4.9	5.6	0.2	9.0	2.3	11.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	814	26.7	23.2	3.4	16.8	0.1	5.8	2.9	0.7	7.1	2.0	11.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	57	35.1	14.0	7.0	15.8	0.0	5.3	1.8	1.8	5.3	1.8	12.3
	息子や娘との2世帯	327	25.4	25.4	5.2	18.7	0.3	4.6	2.1	0.3	5.8	2.1	10.1
	その他	302	28.5	17.5	3.6	18.9	0.0	4.6	4.6	1.7	5.6	3.0	11.9

IV 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

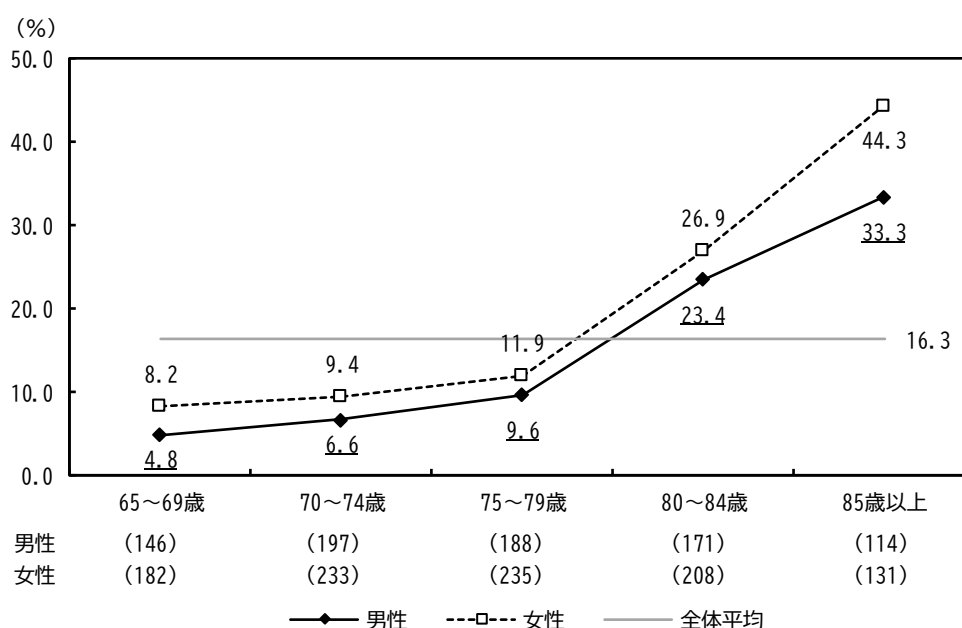
問番号	設問	該当する選択肢
問2	からだを動かすことについて 日常生活の運動について、以下の問にお答えください。(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問8	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問9	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問10	過去1年間に転んだ経験はありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問11	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 16.3%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 44.3%と 80～84 歳に比べ 17.4 ポイント上昇しています。一方、男性では、80～84 歳で 23.4%と 75～79 歳に比べ 13.8 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

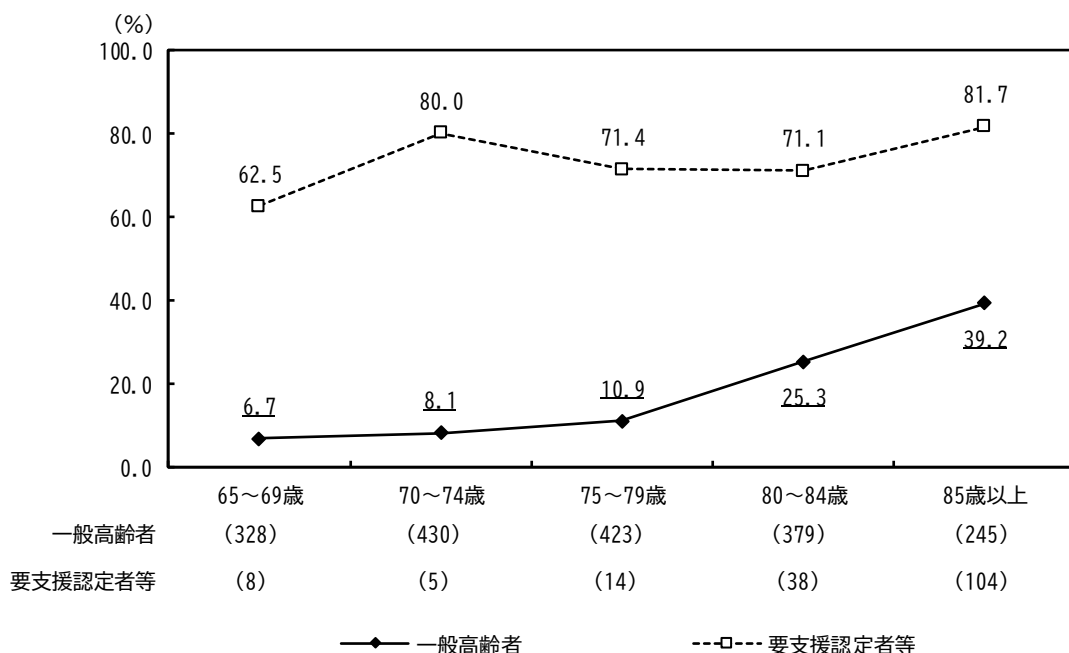


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で81.7%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

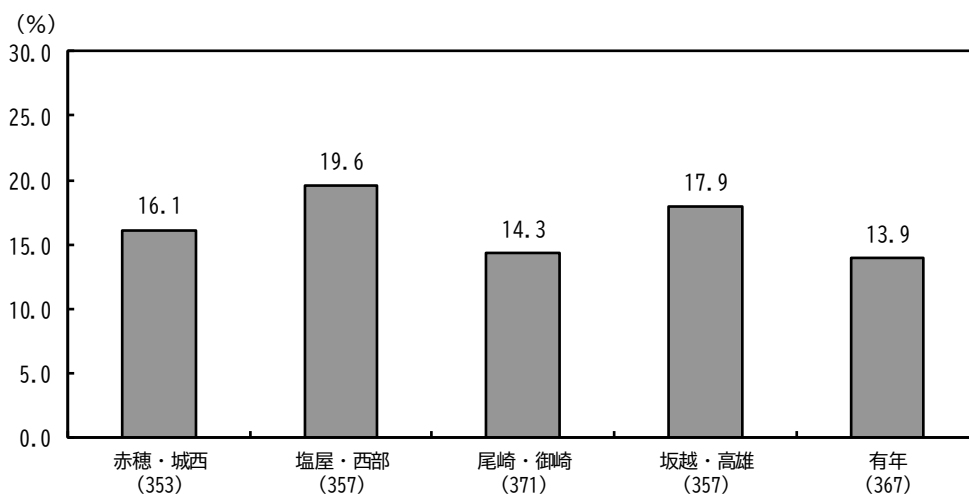
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、塩屋・西部、坂越・高雄で該当者割合が全体平均の16.3%を超えています。

また、最も高い圏域は塩屋・西部で19.6%、最も低い圏域は有年で13.9%となっており、5.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(2) 閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

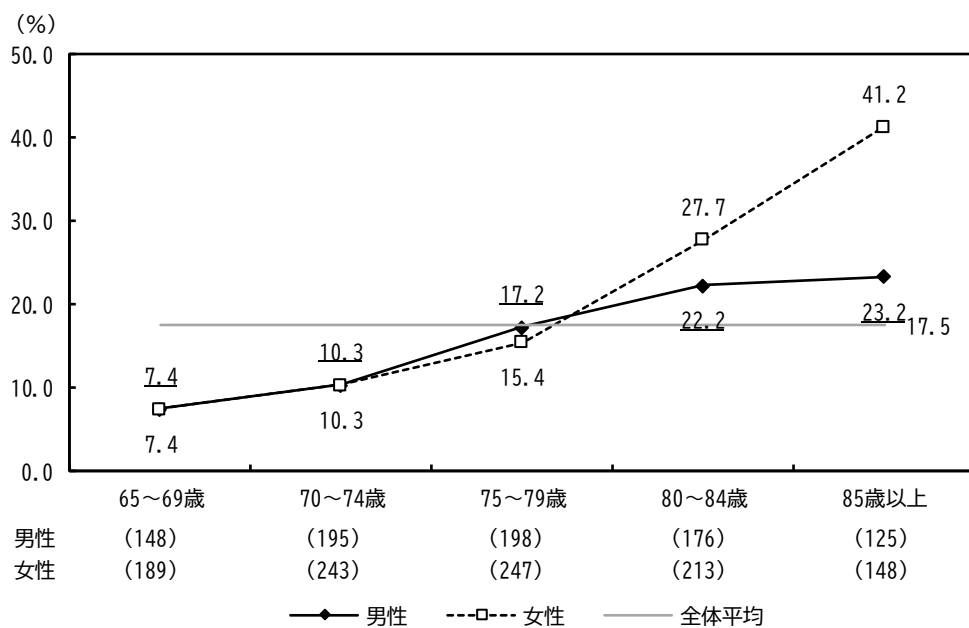
問番号	設問	該当する選択肢
問12	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 17.5%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

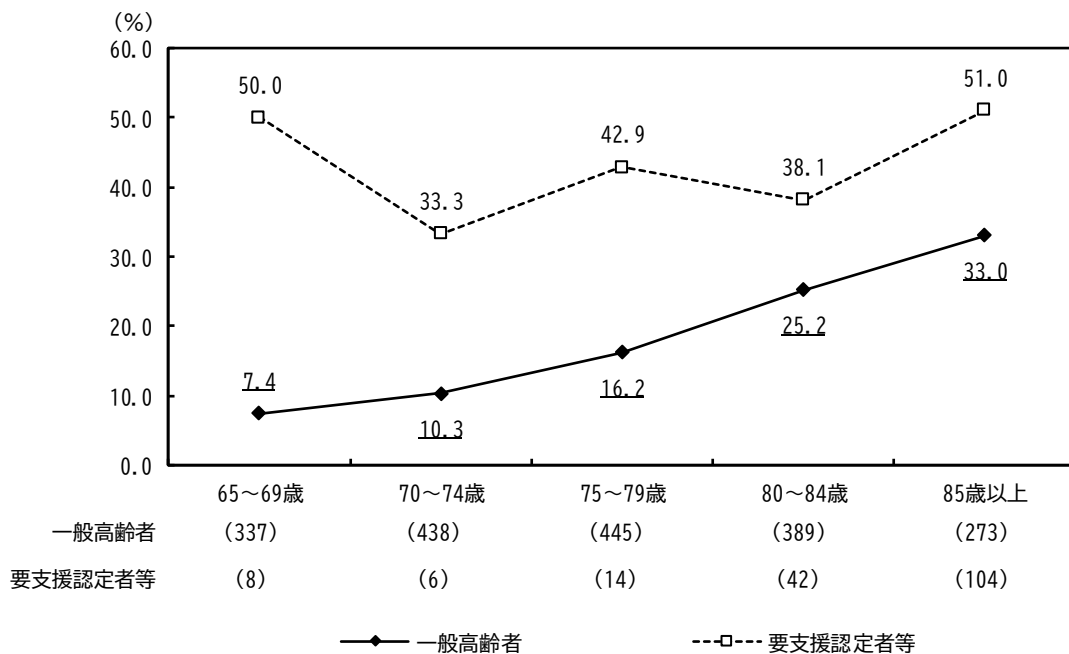
性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 41.2%と 80～84 歳に比べ 13.5 ポイント上昇しています。一方、男性では、75～79 歳で 17.2%と 70～74 歳に比べ 6.9 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で51.0%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

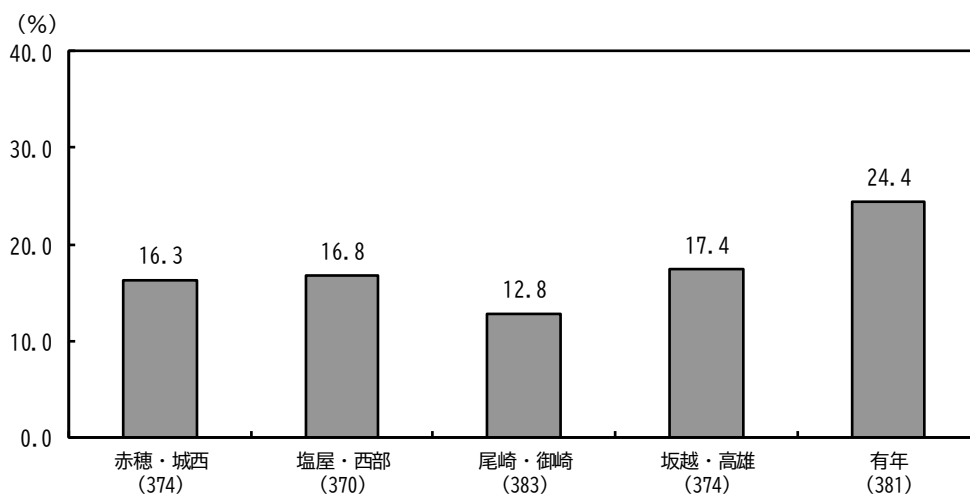
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、有年で該当者割合が全体平均の17.5%を超えています。

また、最も高い圏域は有年で24.4%、最も低い圏域は尾崎・御崎で12.8%となっており、11.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(3) 転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

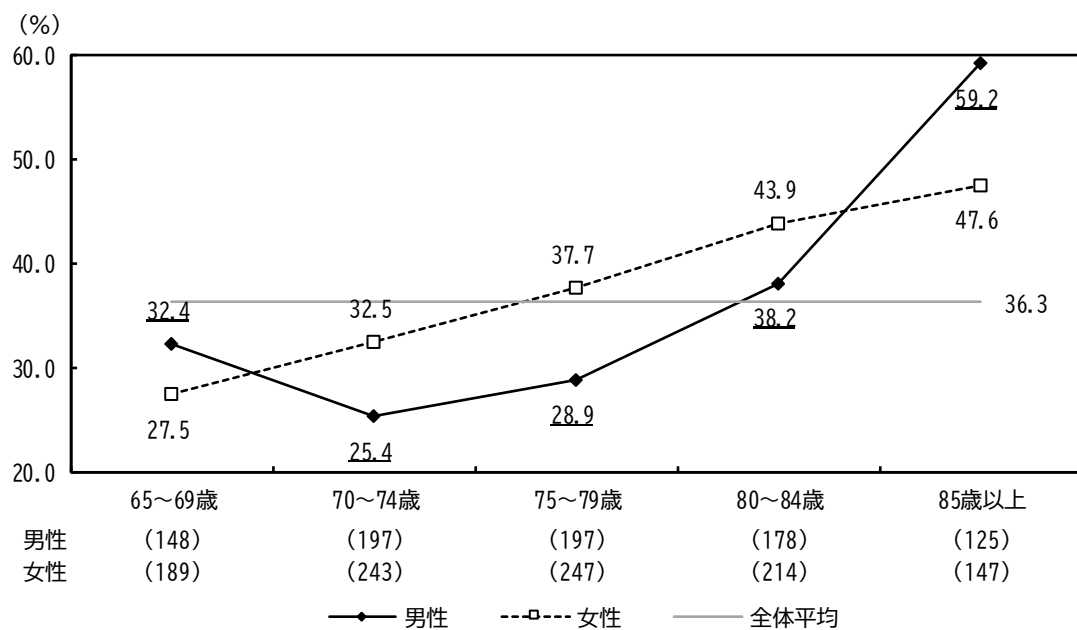
問番号	設問	該当する選択肢
問10	過去1年間に転んだ経験はありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で 36.3%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74 歳、75～79 歳、80～84 歳で男性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 43.9%と 75～79 歳に比べ 6.2 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上で 59.2%と 80～84 歳に比べ 21.0 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

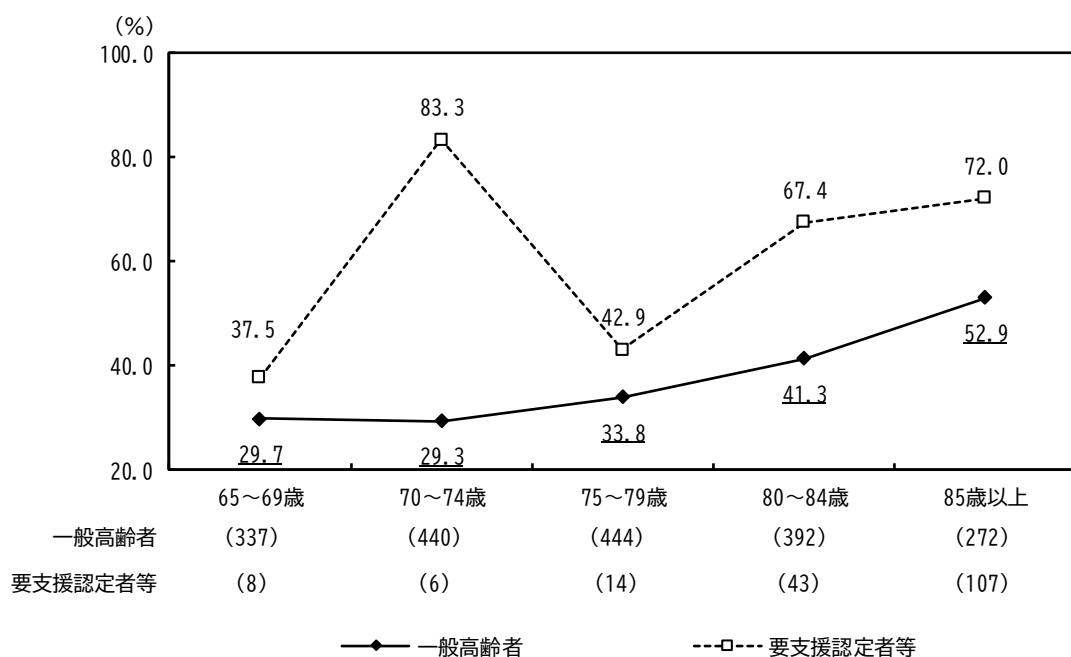


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、70～74歳で83.3%と最も高くなっています。

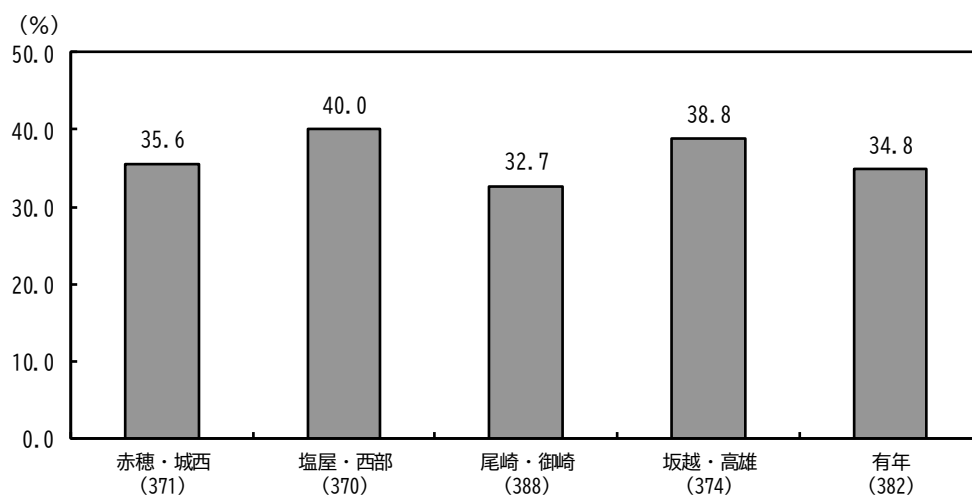
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、塩屋・西部、坂越・高雄で該当者割合が全体平均の36.3%を超えています。

また、最も高い圏域は塩屋・西部で40.0%、最も低い圏域は尾崎・御崎で32.7%となっており、7.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(4) 口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

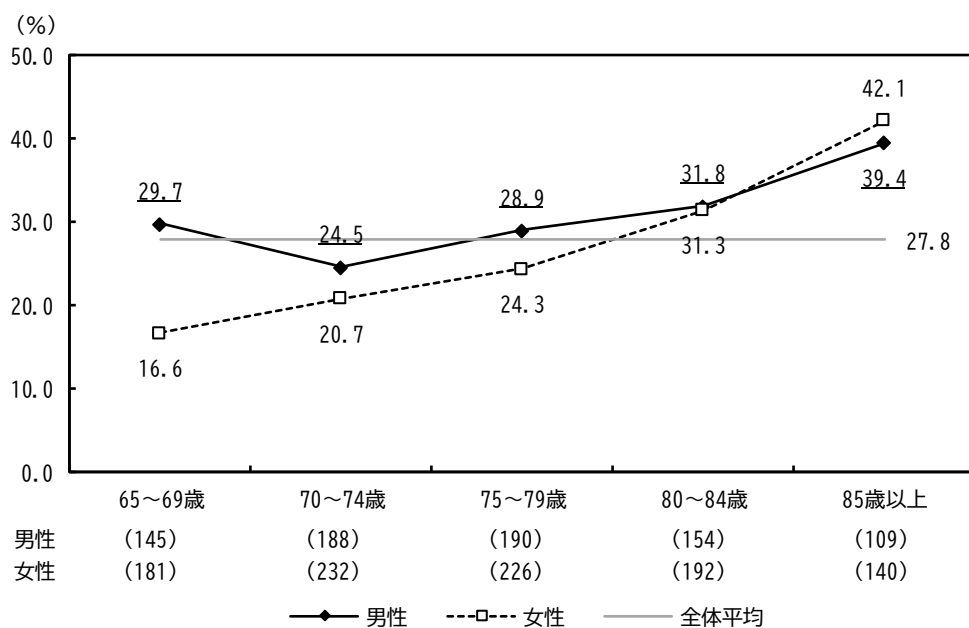
問番号	設問	該当する選択肢
問20	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問21	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問22	口の渇きが気になりますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 27.8%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で 42.1%と 80～84歳に比べ 10.8 ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上以外の年代で女性に比べ該当者割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】

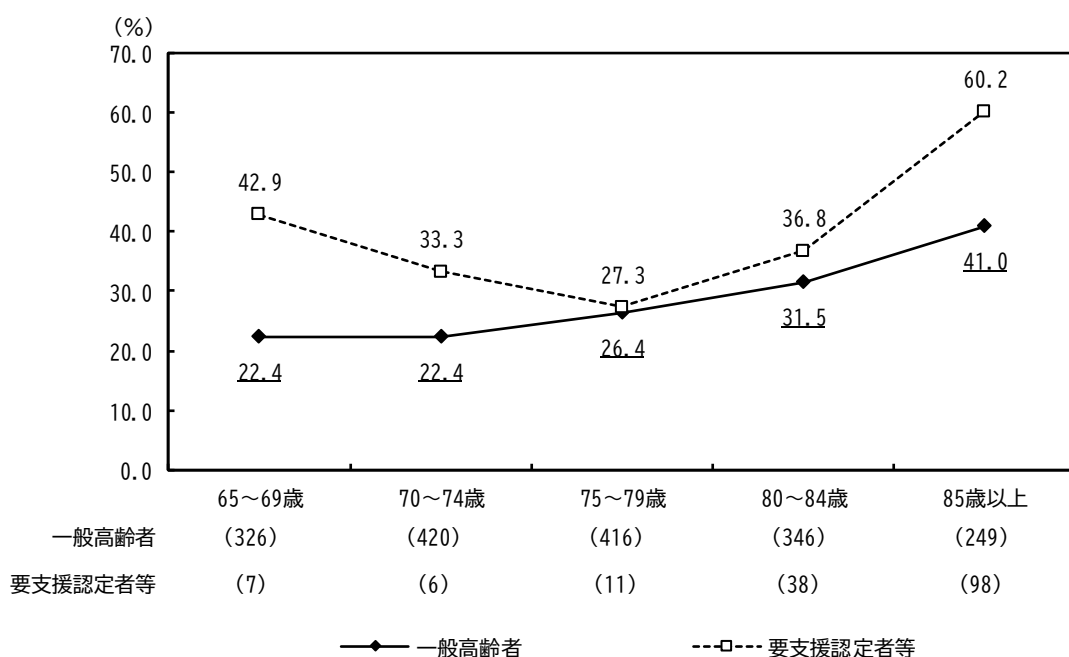


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で60.2%と最も高くなっています。

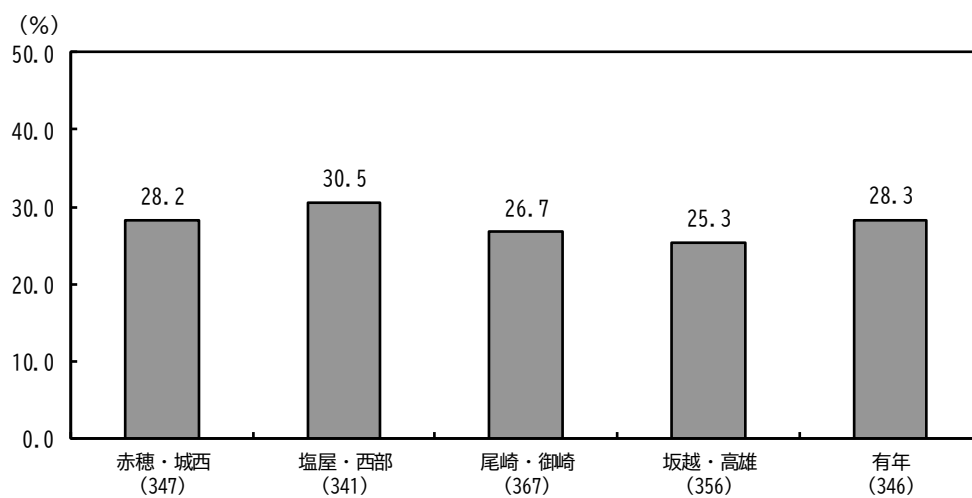
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、赤穂・城西、塩屋・西部、有年で該当者割合が全体平均の27.8%を超えています。

また、最も高い圏域は塩屋・西部で30.5%、最も低い圏域は坂越・高雄で25.3%となっており、5.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(5) 認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

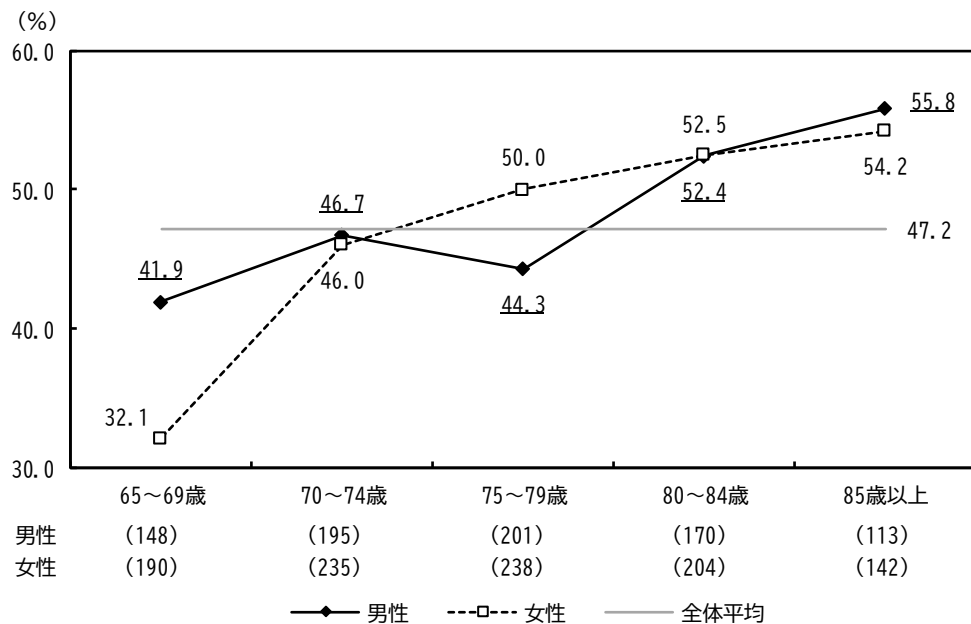
問番号	設問	該当する選択肢
問28	物忘れが多いと感じますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 47.2%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74 歳で 46.0%と 65～69 歳に比べ 13.9 ポイント上昇しています。一方、男性では、65～69 歳、70～74 歳、85 歳以上で女性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 52.4%と 75～79 歳に比べ 8.1 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

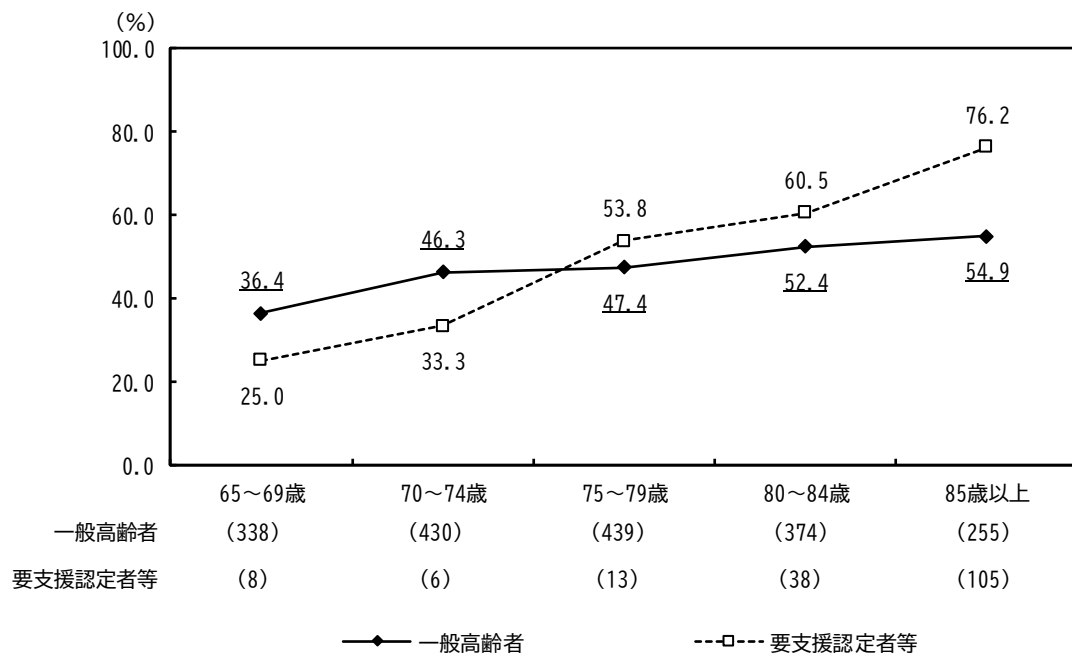


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援認定者等ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

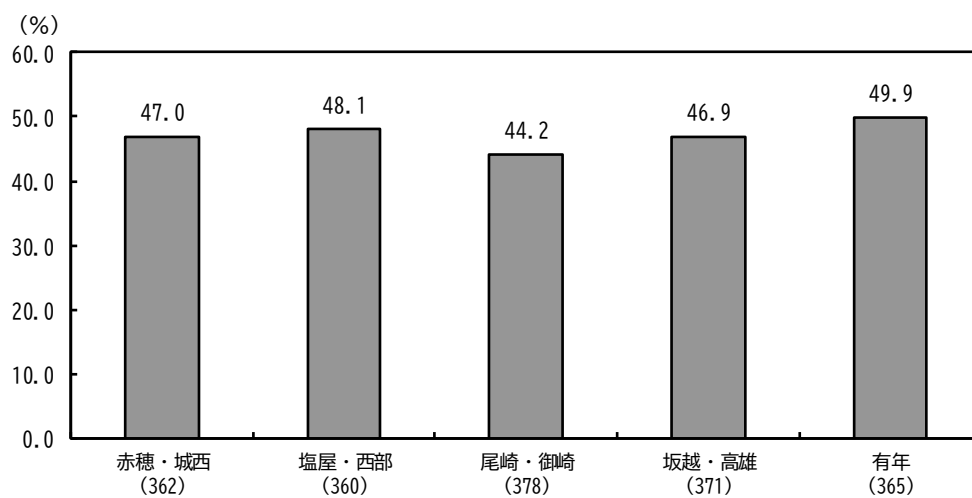
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、塩屋・西部、有年で該当者割合が全体平均の47.2%を超えています。

また、最も高い圏域は有年で49.9%、最も低い圏域は尾崎・御崎で44.2%となっており、5.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(6) うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

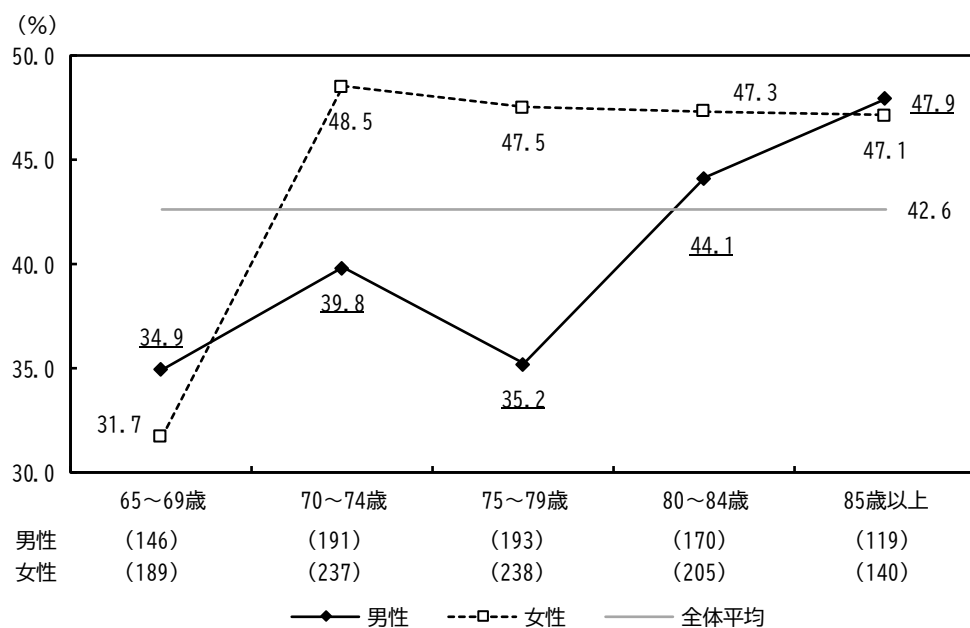
問番号	設問	該当する選択肢
問52	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問53	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で42.6%が該当者となっています。

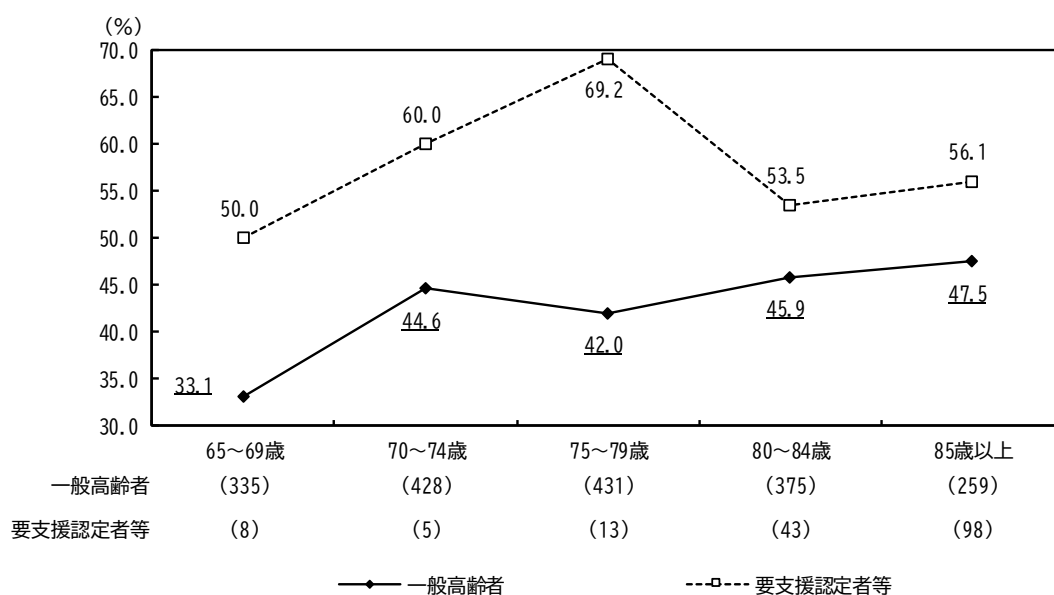
性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74歳、75～79歳、80～84歳で男性に比べ該当者割合が高く、70～74歳で48.5%と65～69歳に比べ16.8ポイント上昇しています。一方、男性では、80～84歳で44.1%と75～79歳に比べ8.9ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で69.2%と最も高くなっています。

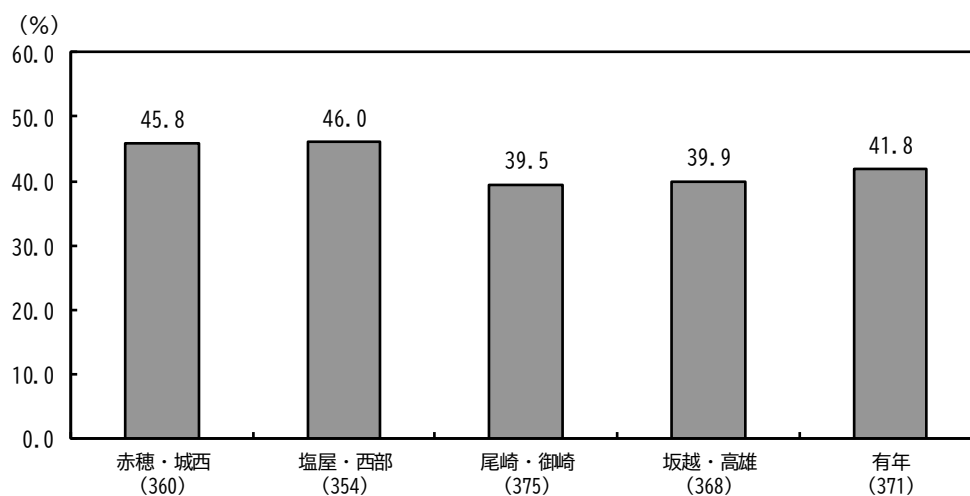
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、赤穂・城西、塩屋・西部で該当者割合が全体平均の42.6%を超えています。

また、最も高い圏域は塩屋・西部で46.0%、最も低い圏域は尾崎・御崎で39.5%となっており、6.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(7) IADL（手段的自立度）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

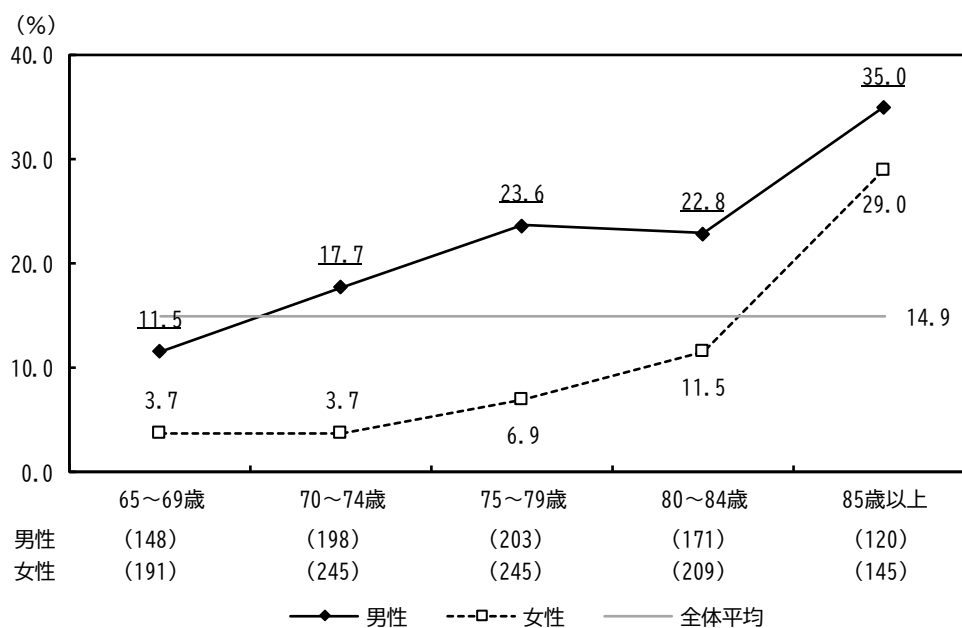
問番号	設問	該当する選択肢
問31	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問32	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問33	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問34	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問35	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【リスク該当状況】

全体平均では14.9%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で29.0%と80～84歳に比べ17.5ポイント上昇しています。一方、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で35.0%と80～84歳に比べ12.2ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

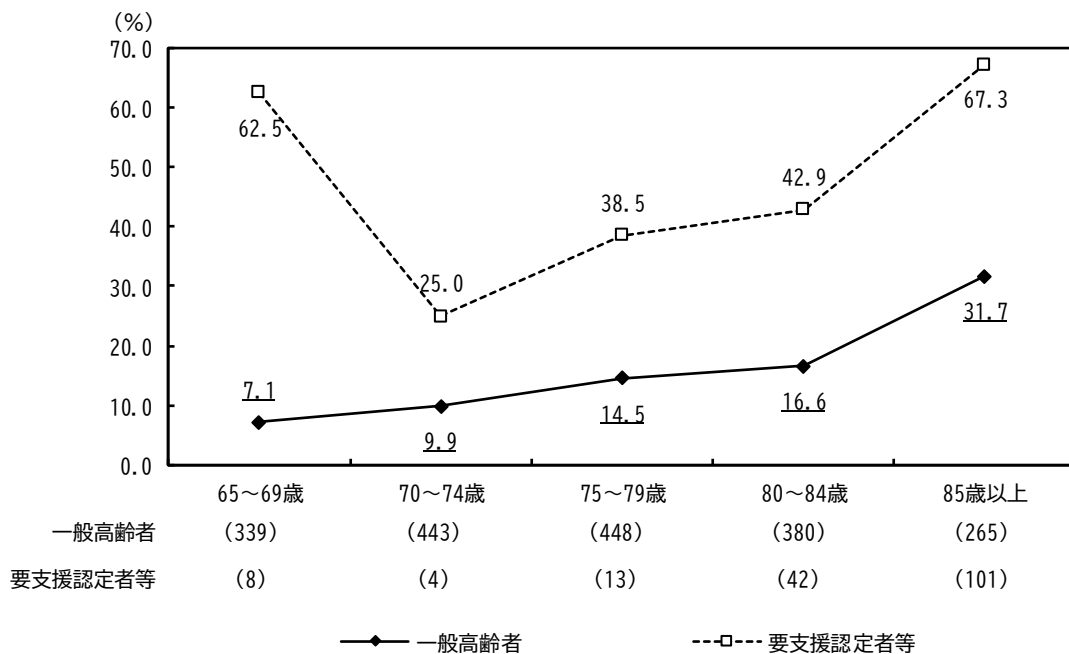


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で67.3%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

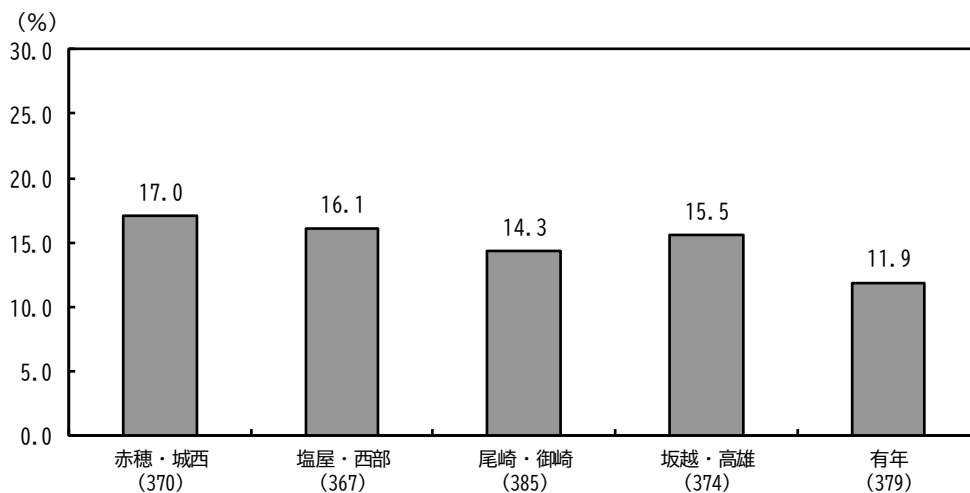
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、赤穂・城西、塩屋・西部、坂越・高雄で該当者割合が全体平均の14.9%を超えています。

また、最も高い圏域は赤穂・城西で17.0%、最も低い圏域は有年で11.9%となっており、5.1ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く